

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第10集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 9

MATSUYAMA SITE

松山遺跡第54地点

HIGASHIKUBO SITE

東久保遺跡第68地点

SHINMEIUSHIRO SITE

神明後遺跡第41地点

2013年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第10集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 9

MATSUYAMA SITE

松山遺跡第54地点

HIGASHIKUBO SITE

東久保遺跡第68地点

SHINMEIUSHIRO SITE

神明後遺跡第41地点

2013年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりがや関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本書は、民間の開発事業者からの委託を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財課・市関係各課・調査関係者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 矢島 秀一

例言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の、発掘調査3件の報告書である。
2. 民間開発を原因として行なった3ヶ所の本調査は、開発原因者から委託を受け、ふじみ野市教育委員会が主体となって行なった。開発原因者・委託者は次のとおりで、各発掘調査及び整理作業、報告書刊行に伴う費用は各開発原因者の委託費により行なった。

| 遺跡名・地点名 | 委託者 | 協定期間 |
|------------|----------|------------------------|
| 松山遺跡第54地点 | 柳川俊雄 | 平成22年10月4日～平成24年3月31日 |
| 東久保遺跡第68地点 | 近藤不動産(株) | 平成22年11月29日～平成24年3月31日 |
| 神明後遺跡第41地点 | 梶君江 | 平成22年6月14日～平成24年3月31日 |

4. 調査組織

| | | | |
|-----------|---------------------------|---------|------------------------|
| 調査主体者 | ふじみ野市教育委員会 | 調査担当者 | 鍋島直久 |
| 担当課 | 生涯学習課文化財保護係 | 庶務担当 | 国分英良 |
| 教育長 | 矢島秀一(2010.3.19～) | | 柳澤健司 |
| 生涯学習部長 | 高梨真太郎(2010.4.1～2012.3.31) | 発掘調査員補 | 越村 篤 |
| | 綾部 誠(2012.4.1～) | 嘱託員 | 藤牧守絵(2003.4～2012.3.31) |
| 生涯学習課長兼参事 | 綾部 誠(2010.4.1～2012.3.31) | | 配島結華(2012.4.1～) |
| 生涯学習課長兼参事 | 板井信枝(2012.4.1～) | 臨時的任用職員 | 高橋京子 |
| 文化財保護係長 | 坪田幹男(2007.4.1～2011.3.31) | | |
| | 橋本鶴人(2011.4.1～) | | |
| | 文化財保護係調査担当者 高崎直成 | | |

5. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
本文執筆及び遺構・遺物観察表：高崎直成
石器実測の一部を(株)東京航業研究所に委託した。放射性炭素年代測定に関しては興古環境研究所に委託した。ローム層層対比については、バリノ・サーヴェイ(株)に委託した。
6. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
会田明、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井潔、酒井智晴、板井信枝、笹森健一、佐藤啓子、佐藤良博、塩野敏和、堀木清、高木文夫、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓吾、坂善之、松尾鉄城、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、和田晋治
埼玉県教育委員会市町村支援部生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館、(株)東京航業研究所
7. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
〈発掘調査参加者〉(敬称略) 明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、壺岐久子、井上晴江、井上麻美子、白井孝、大久保明子、金子君子、川中ひろみ、菊川繁子、小林こずい、西城満朗子、坂本民子、佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高員しづ子、沼澤岩男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、山内康代、米田昇三、若林紀美代
〈整理作業参加者〉(敬称略) 青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子

凡例

1. 本書の遺構・遺物挿入の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 印などの詳細図 1:30
土器実測図 1:4 土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4、2:3 銭 1:1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高と同じ。
 - (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。
視乱 地山(ローム) 焼土 木炭 粘土 砂利
 - 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 土器 ○
 - (4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する調文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群9目次

| | |
|--------------------|-----|
| はじめに | i |
| 例言 | ii |
| 凡例 | ii |
| 目次 | iii |
| 挿図目次 | iv |
| 表目次 | iv |
| 写真図版目次 | iv |
| 第1章 ふじみ野市の遺跡 | 1 |
| I ふじみ野市の立地と環境 | 1 |
| II 市内の遺跡 | 2 |
| 第2章 松山遺跡第54地点の本調査 | 5 |
| I 遺跡の立地と環境 | 5 |
| II 本調査にいたる経過と調査の概要 | 8 |
| III 遺構と遺物 | 9 |
| 第3章 東久保遺跡第68地点の本調査 | 20 |
| I 遺跡の立地と環境 | 20 |
| II 本調査にいたる経過と調査の概要 | 20 |
| III 遺構と遺物 | 23 |
| 第4章 神明後遺跡第41地点の本調査 | 27 |
| I 遺跡の立地と環境 | 27 |
| II 本調査にいたる経過と調査の概要 | 27 |
| III 遺構と遺物 | 30 |
| 附編 自然化学分析 | 53 |
| 写真図版 | 61 |
| 抄録 | 76 |

挿 図 目 次

| | | | | | |
|------|------------------------------------|----|----------|-----------------------------------|----|
| 第1図 | ふじみ野市の位置と周辺の地形 | 1 | 土坑(1/60) | 24 | |
| 第2図 | ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000) | 3 | 第19図 | 東久保遺跡第68地点溝・柵列(1/100) | 25 |
| 第3図 | 松山遺跡の地形と調査区(1/4,000) | 5 | 第20図 | 東久保遺跡第68地点出土遺物(1/4) | 26 |
| 第4図 | 松山遺跡遺構分布図(1/3,000) | 7 | 第21図 | 神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000) | 27 |
| 第5図 | 松山遺跡第54地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) | 9 | 第22図 | 神明後遺跡遺構分布図(1/1,500) | 29 |
| 第6図 | 松山遺跡第54地点H37号住居跡(1/60) | 10 | 第23図 | 神明後遺跡第41地点遺構配置図(1/300) | 30 |
| 第7図 | 松山遺跡第54地点H37号住居跡掘方・遺物出土状況図(1/60) | 11 | 第24図 | 神明後遺跡第41地点調査区東・南・西壁土層図(1/60) | 31 |
| 第8図 | 松山遺跡第54地点H37号住居跡竈・掘方・遺物出土状況図(1/30) | 12 | 第25図 | 神明後遺跡第41地点石器集中1(1/60)・集石土坑1(1/30) | 32 |
| 第9図 | 松山遺跡第54地点H38号住居跡・遺物出土状況図(1/60) | 13 | 第26図 | 神明後遺跡第41地点木炭窯1(1/60) | 35 |
| 第10図 | 松山遺跡第54地点H39号住居跡(1/60) | 14 | 第27図 | 神明後遺跡第41地点木炭窯2・掘立柱建物跡1(1/60) | 36 |
| 第11図 | 松山遺跡第54地点H39号住居跡掘方・遺物出土状況図(1/60) | 15 | 第28図 | 神明後遺跡第41地点竪穴建物跡1(1/60)、焼土跡(1/30) | 37 |
| 第12図 | 松山遺跡第54地点H39号住居跡竈・掘方・遺物出土状況図(1/30) | 16 | 第29図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット①(1/60) | 38 |
| 第13図 | 松山遺跡第54地点H37・H38・H39号住居跡出土遺物(1/4) | 18 | 第30図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット①土層説明 | 39 |
| 第14図 | 松山遺跡第54地点H39号住居跡・遺構外出土遺物(1/4・1/1) | 19 | 第31図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット②(1/60) | 40 |
| 第15図 | 東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000) | 20 | 第32図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット②土層図(1/60) | 41 |
| 第16図 | 東久保遺跡遺構分布図(1/2,000) | 22 | 第33図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット③土層図(1/60) | 42 |
| 第17図 | 東久保遺跡第68地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) | 23 | 第34図 | 神明後遺跡第41地点土坑・ビット④土層図(1/60) | 43 |
| 第18図 | 東久保遺跡第68地点集石土坑(1/30)、溝状 | | 第35図 | 神明後遺跡第41地点ビット(1/60) | 44 |
| | | | 第36図 | 神明後遺跡第41地点ビット土層説明 | 45 |
| | | | 第37図 | 神明後遺跡第41地点溝1・土坑・ビット(1/80) | 46 |
| | | | 第38図 | 神明後遺跡第41地点溝2～5(1/80) | 47 |
| | | | 第39図 | 神明後遺跡第41地点溝6・7・溝状土坑1～5(1/80) | 48 |
| | | | 第40図 | 神明後遺跡第41地点出土遺物(1/1・2/3・1/4・1/6) | 52 |

表 目 次

| | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|-------------------|----|
| 第1表 | ふじみ野市遺跡一覧表 | 2 | 第8表 | 東久保遺跡第68地点遺構一覧表 | 26 |
| 第2表 | 松山遺跡調査一覧表 | 6 | 第9表 | 東久保遺跡第68地点出土遺物観察表 | 26 |
| 第3表 | 松山遺跡古代住居跡一覧表 | 8 | 第10表 | 神明後遺跡調査一覧表 | 28 |
| 第4表 | 松山遺跡H37号住居跡ビット一覧表 | 13 | 第11表 | 神明後遺跡住居跡一覧表 | 29 |
| 第5表 | 松山遺跡第54地点出土遺物観察表 | 17 | 第12表 | 神明後遺跡第41地点集石一覧表 | 32 |
| 第6表 | 東久保遺跡調査一覧表 | 21 | 第13表 | 神明後遺跡第41地点遺構一覧表 | 49 |
| 第7表 | 東久保遺跡第68地点集石一覧表 | 26 | 第14表 | 神明後遺跡第41地点出土遺物観察表 | 51 |

写真図版目次

| | | | | | |
|-------|----------------------------|----|--------|---------------|----|
| 写真図版1 | 松山遺跡第54地点(1) | 61 | 写真図版8 | 神明後遺跡第41地点(2) | 68 |
| 写真図版2 | 松山遺跡第54地点(2) | 62 | 写真図版9 | 神明後遺跡第41地点(3) | 69 |
| 写真図版3 | 松山遺跡第54地点(3) | 63 | 写真図版10 | 神明後遺跡第41地点(4) | 70 |
| 写真図版4 | 松山遺跡第54地点(4) | 64 | 写真図版11 | 神明後遺跡第41地点(5) | 71 |
| 写真図版5 | 松山遺跡第54地点(5)、東久保遺跡第68地点(1) | 65 | 写真図版12 | 神明後遺跡第41地点(6) | 72 |
| 写真図版6 | 東久保遺跡第68地点(2) | 66 | 写真図版13 | 神明後遺跡第41地点(7) | 73 |
| 写真図版7 | 神明後遺跡第41地点(1) | 67 | 写真図版14 | 神明後遺跡第41地点(8) | 74 |
| | | | 写真図版15 | 神明後遺跡第41地点(9) | 75 |

第1章 ふじみ野市の遺跡

1 ふじみ野市の立地と環境

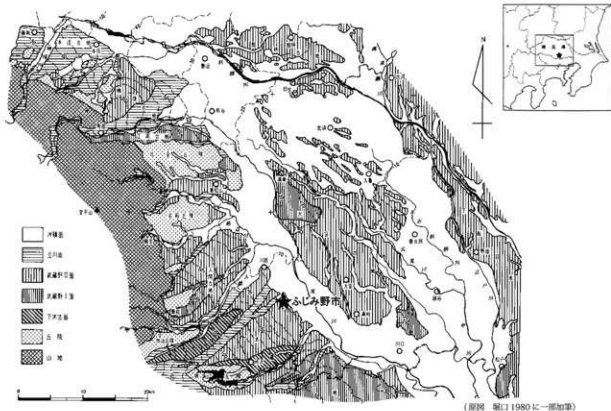
ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道（国道254号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地縁辺部と荒川低地の沖積地に大きく分かれる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15～20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していることがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地

（大井台）がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禪寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦にみえるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

II 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤岡江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が

丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に對峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

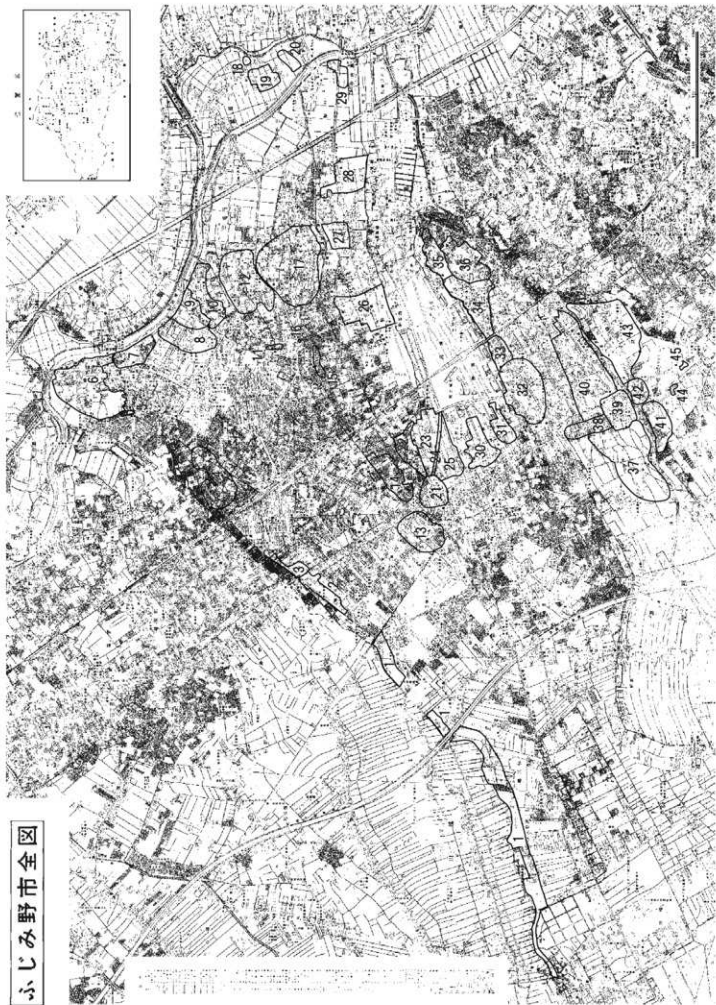
川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代立川ローム第四層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10

第1表 ふじみ野市遺跡一覧表

| No | 遺跡名 | 主な時代 | 遺跡番号 |
|----|-------------|-------------------------------|--------|
| 1 | 鶴ヶ岡外遺跡 | 旧石器、縄文早期の集落跡 | 30-036 |
| 2 | 鶴ヶ岡遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期の集落跡 | 30-047 |
| 3 | 西遺跡 | 縄文中期の集落跡 | 25-001 |
| 4 | 北野遺跡 | 縄文中期、奈良・平安の集落 | 25-002 |
| 5 | 川崎横穴墓群 | 古墳後期の横穴墓 | 25-004 |
| 6 | 川崎遺跡 | 旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡 | 25-003 |
| 7 | ハケ遺跡 | 縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡 | 25-005 |
| 8 | 上福岡貝塚 | 縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡 | 25-006 |
| 9 | 権現山遺跡群（古墳群） | 古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落 | 25-007 |
| 10 | 滝遺跡 | 縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡 | 25-008 |
| 11 | 西原遺跡 | 縄文の散布地 | 25-025 |
| 12 | 長宮遺跡 | 縄文前期、中・近世の集落跡 | 25-009 |
| 13 | 亀居遺跡 | 旧石器、縄文前期・中期の集落跡 | 30-030 |
| 14 | 鶴ヶ岡舞遺跡 | 旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡 | 30-046 |
| 15 | 富士見台横穴墓群 | 古墳後期の横穴墓 | 25-011 |
| 16 | 福遺跡 | 古墳後期の横穴墓 | 25-023 |
| 17 | 松山遺跡 | 奈良・平安、中・近世の集落跡 | 25-010 |
| 18 | 天神廻遺跡 | 古墳中期の散布地 | 25-018 |
| 19 | 城山遺跡 | 中・近世の館跡 | 25-019 |
| 20 | 川袋遺跡 | 奈良・平安の散布地 | 25-020 |
| 21 | 江川南遺跡 | 旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡 | 30-007 |
| 22 | 江川東遺跡 | 奈良・平安、近世の集落跡 | 30-045 |
| 23 | 東久保遺跡 | 旧石器、縄文中期、近世の集落跡 | 30-009 |
| 24 | 亀久保跡遺跡 | 中世の館跡 | 30-006 |

| No | 遺跡名 | 主な時代 | 遺跡番号 |
|----|---------------|-------------------------------|--------|
| 25 | 東久保西遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡 | 30-042 |
| 26 | 駒林遺跡 | 近世の館跡・中世の墳墓 | 25-013 |
| 27 | 福岡新田遺跡 | 縄文時代の散布地、中・近世寺院 | 25-015 |
| 28 | 鷺森遺跡 | 縄文前期の集落跡 | 25-017 |
| 29 | 伊佐島遺跡 | 古墳前期、平安の集落跡 | 25-021 |
| 30 | 東中学校西遺跡 | 縄文早期・中期、近世の集落跡 | 30-008 |
| 31 | 東久保南遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡 | 30-032 |
| 32 | 西ノ原遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡 | 30-001 |
| 33 | 中沢前遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡 | 30-044 |
| 34 | 神明後遺跡 | 旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡 | 30-041 |
| 35 | 苗圃東久保遺跡 | 旧石器、縄文早期～後期 | 30-020 |
| 36 | 浄輝寺跡遺跡 | 旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡 | 30-022 |
| 37 | 小田久保遺跡 | 旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡 | 30-040 |
| 38 | 大井宿遺跡 | 近世～近代の宿場跡 | 30-010 |
| 39 | 大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡 | 旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡 | 30-037 |
| 40 | 本村遺跡 | 旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡 | 30-034 |
| 41 | 西台遺跡 | 旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡 | 30-039 |
| 42 | 大井戸上遺跡 | 旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡 | 30-014 |
| 43 | 東台遺跡 | 旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡 | 30-024 |
| 44 | 大井宿木戸跡 | 近世～近代の宿場跡 | 30-048 |
| 45 | 石塔畑 | 中世の散布地 | 30-027 |



ふじみ野市全図

第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炬穴、落し穴が散在するのみである。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐高遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現わ

れ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐高遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。

またハケ遺跡からは区帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、鐵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄輝寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ぼせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地藏院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄輝寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷺森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である造兵廠東京工廠福岡工場（通称火工廠）の跡地で、防壁土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枘などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。

第2章 松山遺跡第54地点の本調査

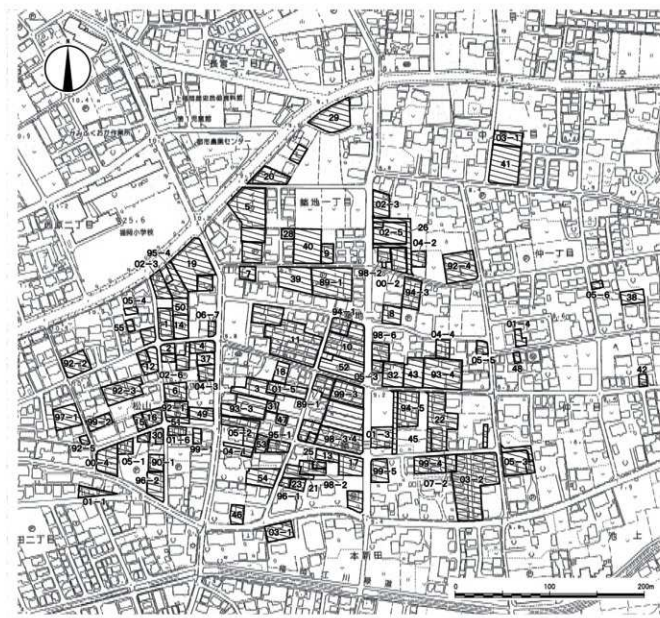
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧き水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上ある。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

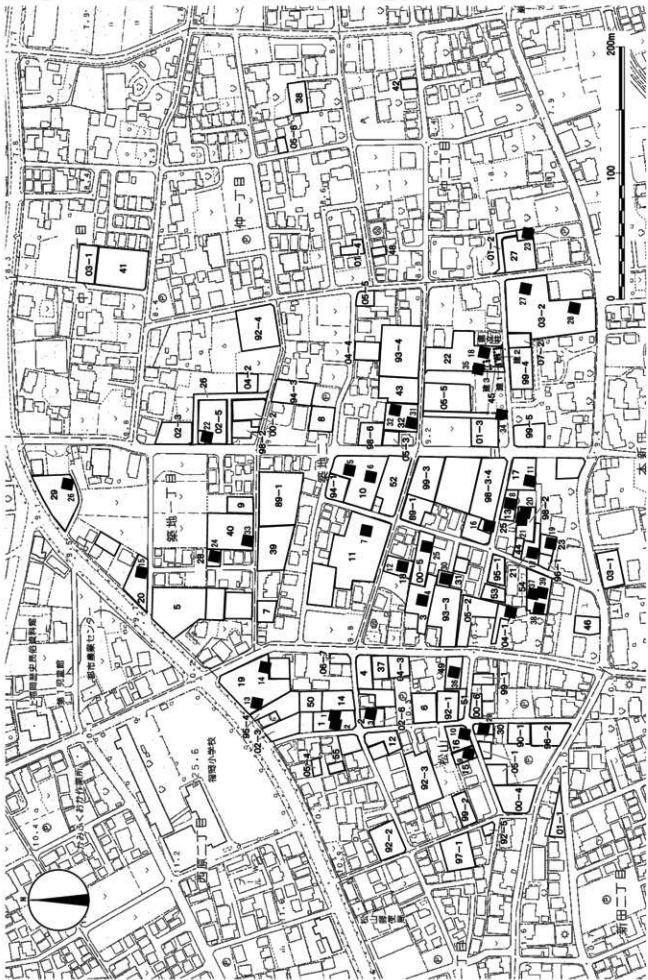
周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、

西方350m前後に比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより105ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第3図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第4図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

第3表 松山遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

| 住居番号 | 調査年度 | 調査名 | 調査率 | 平面形 (1/1は推定) | 規模 | 方位 (上は推定) | 設置 方向 | カマド 規模 cm | 西測 | 主軸方位 | 時期 | 備考 | 文献 |
|------|------|-------------|-----|-----------------|---------------------------------|--------------|----------|--------------|-----|---------|------------------|------------------|----------------------|
| 1 | 1978 | 第1次1号住 | 完掘 | 正方形 | 390×380 | K | 東 | 110×75 | ○ | | Ⅷ分前半 | | 『松山遺跡の調査(1)』 |
| 2 | 〃 | 第1次2号住 | 完掘 | 台形 | 360×320 | K | 東 | 120×85 | ○ | | Ⅷ分前半 | | 『松山遺跡の調査(1)』 |
| 3 | 1979 | 第2次3号住 | 2/3 | (方形) | 350×110 | K | 東 | | 一部 | | | | 『松山遺跡の調査(1)』 |
| 4 | 〃 | 第3次4号住 | 完掘 | 方形 | 530×475 | K | 北 | 200×100 | ○ | N-14-E | Ⅷ分後半 | | 『松山遺跡の調査(1)』 |
| 5 | 1991 | 第10次5号住 | 完掘 | 長方形 | 230×350 | K | 北→東 | | ○ | | B C Ⅱ西半部 | | 『松山遺跡の調査(14)』 |
| 6 | 〃 | 第10次6号住 | 2/3 | 方形 | 340×300 | K | 東 | | ○ | | B C Ⅱ西半部 | | 『松山遺跡の調査(14)』 |
| 7 | 〃 | 第11次7号住 | 完掘 | 正方形 | 400×400 | | | | ○ | | B C Ⅳ西半部 | | 〃 |
| 8 | 1992 | 第13次8号住 | 3/4 | (方形) | 400× | | | | | N-10-E | B C Ⅲ西半部 | | 『松山遺跡の調査(15)』 |
| 9 | 1993 | 第15次9号住 | 完掘 | 長方形 長方形 | 260×300→ 420×310→ 440×350 | | 東→北 | | ○ | | B C Ⅰ西半部 | 鉄炉型須恵 器出土 | 『松山遺跡の調査(16)』 |
| 10 | 〃 | 第16次10号住 | 1/3 | 正方形 | 560×560 | K | 北 | 130×80 | ○ | | B C Ⅳ西半部 | | 〃 |
| 11 | 〃 | 第17次11号住 | 完掘 | 方形 | 600×600 | K | 北 | | ○ | 最大住居 | | 黒色土師器 出土 | 〃 |
| 12 | 〃 | 第18次12号住 | 完掘 | 方形 | 400×320 | K | 北 | | (C) | | | | 〃 土師器 |
| 13 | 1994 | 第19次13号住 | 完掘 | 長方形 | 450×300 | K | 北 | | ○ | N-5-E | B C Ⅰ西半部 | 松山遺跡第19次調査 結果 | 〃 |
| 14 | 〃 | 第19次14号住 | 完掘 | 長方形 | 450×500 | K | 東→北 | | ○ | N-5-E | B C Ⅰ西半部 | 土師器出土 | 〃 |
| 15 | 〃 | 第20次15号住 | 完掘 | 長方形 | 370×470 | K | 北西 | 70×70 | ○ | | B C Ⅳ西半部 | | 『松山遺跡の調査(20)』 本報告 |
| 16 | 1995 | 7号試掘(21)6号住 | | | | | | | | N-20-W | B C Ⅱ | | 『松山遺跡の調査(18)』 本報告 |
| 17 | 〃 | 第21次17号住 | 完掘 | 長方形 | 480×400 | K | 北 | | ○ | | B C Ⅳ西半部 | | 『松山遺跡の調査(18)』 本報告 |
| 18 | 1997 | 第22次18号住 | 完掘 | 長方形 | 240×460 | K | 東 | 90×60 | ○ | N-50-E | B C Ⅱ末 | | 『松山遺跡の調査(20)』 |
| 〃 | 〃 | 第22次1号竪立部分 | | 長方形 | 東西5間 南北3間 | | | | | | B C Ⅱ末 B C Ⅲ初 | | 〃 |
| 〃 | 〃 | 第22次2号竪立部分 | | 長方形 | 東西2間 南北2間 | | | | | | B C Ⅱ末 B C Ⅲ初 | | 〃 |
| 〃 | 〃 | 第22次3号竪立部分 | | 長方形 | (東西2間) 南北3間 | | | | | | B C Ⅱ末 B C Ⅲ初 | | 〃 |
| 19 | 1998 | 第23次19号住 | 4/5 | 長方形 | 260×290 | | | | ○ | N-30-W | B C Ⅱ後半 | 1箇名古土 積紋土師器 | 『松山遺跡の調査(21)』 本報告 |
| 20 | 1999 | 第25次20号住 | | | | | | | | | B C Ⅲ初頭 | | 〃 |
| 21 | 〃 | 第25次21号住 | | | | | | | | | B C Ⅲ初頭 | | 〃 |
| 22 | 2000 | 第26次22号住 | 完掘 | | 360× | K | 北 | | ○ | | 7 C 後半 | 14年定置 焼土住居 | 『松山遺跡の調査(23)』 |
| 23 | 〃 | 第27次23号住 | 完掘 | 台形 | 600×720 | K | 北 | | ○ | | B C Ⅱ半ば | | 『松山遺跡の調査(24)』 |
| 24 | 2001 | 第28次24号住 | 1/2 | | 340× | K | 北西 | | | | B C Ⅱ中葉 | | 『松山遺跡の調査(24)』 |
| 25 | 2000 | 12年度試掘5 | 2/3 | | | | | | | | | | 『松山遺跡の調査(25)』 |
| 26 | 2002 | 第29次26号住 | 完掘 | 長方形 | 420×360 | K | 北 | | ○ | | 7 C 後半 | | 『松山遺跡の調査(25)』 |
| 27 | 2003 | 15年度試掘27号住 | 一部 | | (盛土保存) | | | | | | | | 『松山遺跡の調査(26)』 |
| 28 | 〃 | 15年度試掘28号住 | 1/2 | | (盛土保存) | | | | | | | | 『松山遺跡の調査(26)』 |
| 29 | 〃 | 第30次29号住 | 完掘 | 長方形 | 360×420 | K | 東 | | ○ | | 9 C 前半 | | 〃 |
| 30 | 2005 | 第31次30号住 | 完掘 | 長方形 | 360×600 | K | 北 | | ○ | | | | 市内遺跡群 1 |
| 31 | 〃 | 第32次31号住 | 完掘 | 長方形 | 380×330 | K | 東 | | ○ | S-65-E | B C Ⅱ中葉 | | 〃 |
| 32 | 〃 | 第32次32号住 | 1/2 | 長方形 | 東西4 m×南 北3 m以上 | K | 東 | | ○ | S-85-E | | | 〃 |
| 33 | 2006 | 40地点H33号住 | 完掘 | 方形 | 455×420 | K | 北 | 98×154 | ○ | N-5-E | B C 後半 | | 市内遺跡群 3 |
| 34 | 2008 | 45地点H34号住 | 完掘 | 方形 | 364×361 | K | 東 | 122×125 | ○ | N-96-E | | | 市内遺跡群 6 |
| 35 | 2008 | 45地点H35号住 | 1/2 | (方形) | 504×(222) | | | | | | | | 市内遺跡群 7 |
| 36 | 2009 | 49地点H36号住 | 完掘 | 方形 | 280×290 | K | 東 | 105×100 | ○ | N-92-E | B C 後半 | 遺土住居 1 | 市内遺跡群 7 |
| 37 | 2010 | 54地点H37号住 | 完掘 | 方形 | 434×524 | K | 北 | 70×86 | ○ | N-13-E | B C Ⅰ西半部 | | 市内遺跡群 9 |
| 38 | 2010 | 54地点H38号住 | 一部 | 方形 | (440)×468 | K | 東 | 95 | ○ | N-107-E | B C Ⅰ西半部 | | 市内遺跡群 9 |
| 39 | 2010 | 54地点H39号住 | 完掘 | 方形 | 336×459 | K | 北 | 79×101 | ○ | N-4-E | B C Ⅰ西半部 | | 市内遺跡群 9 |

II 本調査にいたる経過と調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2010年9月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央のやや南側に立地し、調査区西側隣接地で奈良・平安時代の住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年9月21日から10月1日まで行った。幅約1～2mのトレンチ5本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、奈良・平安の竪穴住居跡3軒を検出したため遺構の取り扱いについて事業者と再協議した。その結果、西側で検出した1軒(H38号住居跡)については盛土保存の措置をとったが、残り2軒(H37・H39号住居跡)

住居)については原因者負担による本調査を実施することとなった。市教育委員会は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で、2010年10月4日から同年11月5日まで本調査を行った。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

調査は遺構を確認した範囲の表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、土層図・遺物出土状況図・遺構平面図・調査区域図の測量と写真撮影を行った。測量は遺構毎に測量用の方眼杭を打ち、遺り方測量を行い、調査区域図は平板測量で実測した。検出した遺構は奈良時代の竪穴住居跡3軒である。

III 遺構と遺物

(1) 住居跡

奈良時代の竪穴住居跡 3軒を検出した。

① H37号住居跡

調査区の中央に位置し、遺跡全体の分布では南部に位置する。溝状遺構（イモビツ）と擾乱（ゴミ穴）に南西部分を壊されている。

主軸方位はN-13°-E、北壁中央に竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の南北で4.34m、東西5.24m、確認面から床面までの深さ0.43mである。

竈は、壁から外への引出が0.35m、住居内側へは粘土を用いた袖が0.35m残る。主軸方向の奥行き0.7m、幅0.86m、袖部の厚さ0.16mを測る。竈は左右両壁と奥壁が焼けて赤化する。

竈の堀方は主軸方向1.06m、幅0.81m、床面からの深さ0.08mである。竈覆土からは土師器製の破片が出土した。

ビツは9ヶ所確認した。P1～P4が支柱穴と思われる。規模は別表のとおりで、柱穴の芯間距離はP1-P2、P2-P3、P3-P4が2.15m、P

4-P1が2.45mである。東西の壁からP1～P4までの距離は1.35～1.45mでほぼ一定である。

P6は南壁中央近くにあり、周辺の床面は硬化している。入口施設に関連する可能性がある。

P7とP8は竈の両側にあり、ともに焼土混じりの粘土が充填していた。竈構築土が崩れて埋ったと思われる。

周溝は四面全ての壁際に巡る。幅20～35cm、深さ15cm前後である。

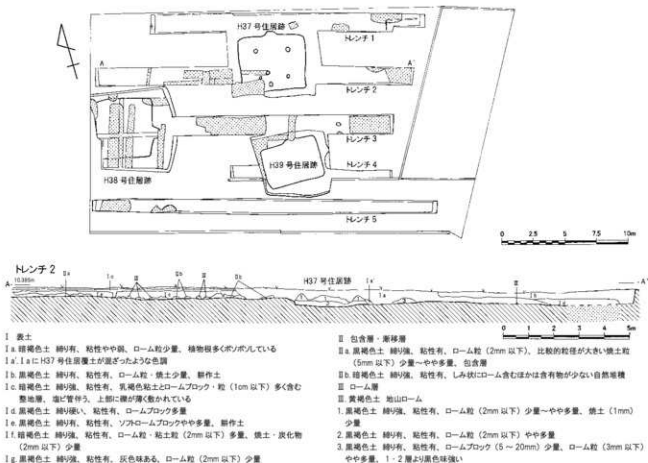
床面は全面平坦で、竈の前と南側壁際が特に硬化している。また、竈前の硬化面下、掘方面に0.6×0.4mの範囲で焼成面がある。

壁は垂直に立ち上がる。

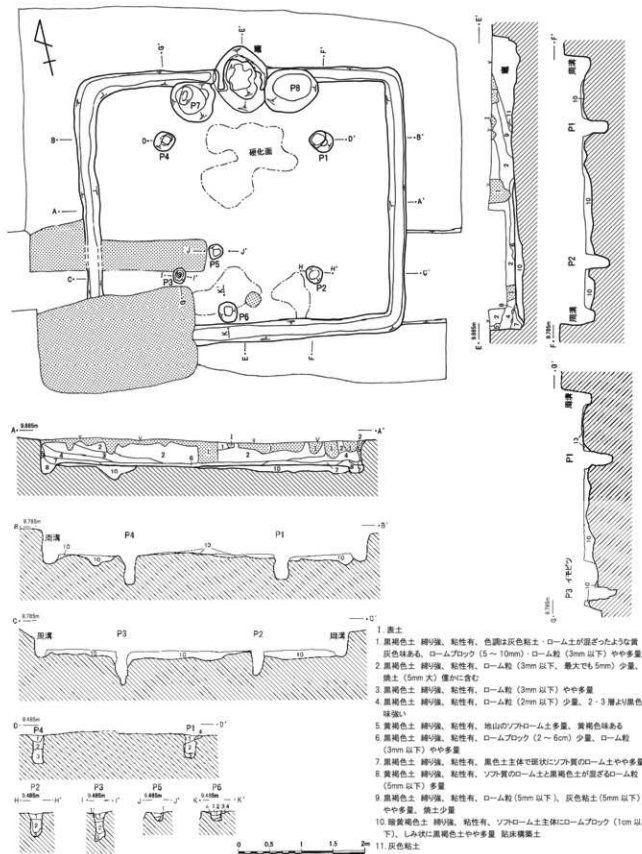
掘方は四隅が深くなる。また、住居中央のP1からP4にかけて円溝を描く溝状の掘り方がある。

遺物出土状況は北東隅や竈内に若干多く出土し、全体としては東側にやや偏在している。また、南壁際に礫が出土する。土師器片99、須恵器片3、石器2、縄文土器片4、礫2が出土した。

時期は出土遺物から8世紀第1四半期。



第5図 松山遺跡第54地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



P1~5

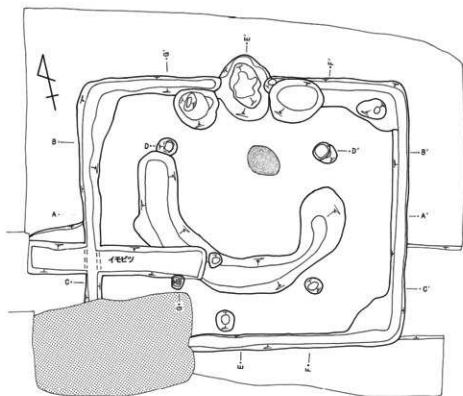
1. 黒色土 粘り有、粘性有、ローム粒(1~5mm以下)多量
- 1'. 黄褐色土 粘り有、粘性有、ローム土主体
2. 暗黄褐色土 粘り有、粘性やや弱、ローム粒・ローム質土主体、しみ状に黒色土少量
3. 暗黄褐色土 粘り有、粘性やや弱、ローム粒・ローム質土主体
4. 黒色土 粘り有、粘性有、ロームブロック(20m以下)多量

P6

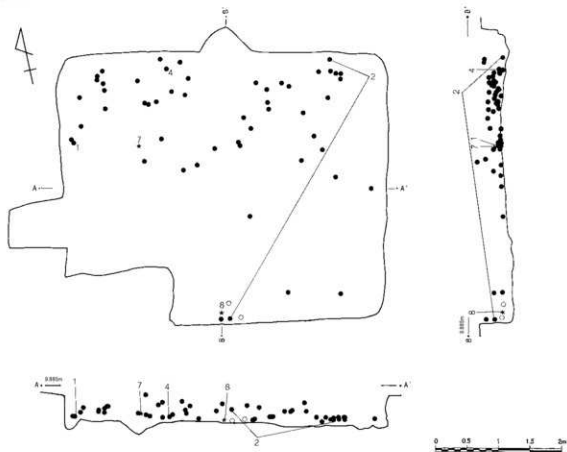
1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)多量
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム土含み色調は黄灰色味ある
3. 暗黄褐色土 粘り強、粘性有、ローム土主体
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少量

第6図 松山遺跡第54地点H37号住居跡(1/60)

掘方

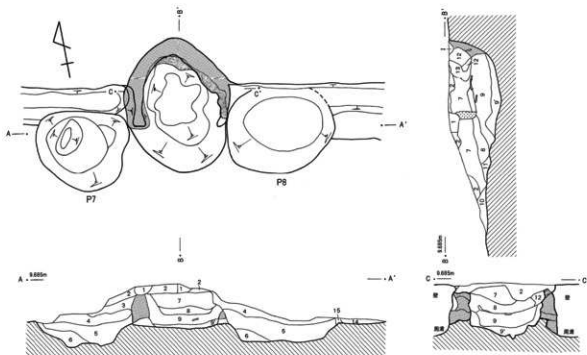


遺物出土状況図

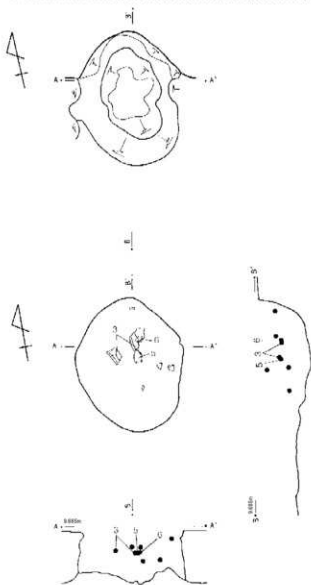


第7図 松山遺跡第54地点 H37号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)

窟



掘方



1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)・焼土(1mm以下)少量
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、粘土を含み灰色味ある、ローム粒・灰色粘土(5mm以下)やや多量、焼土(5mm以下)少量
3. 黒灰色土 粘り強、粘性有、黒褐色土と灰色粘土・粘土粒(5mm以下)が混ざる、焼土少量
4. 黒・灰色土 粘り強、粘性有、灰色粘土ベースに黒色土多量、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(3mm)・焼土(2mm以下)少量
5. 赤褐色土 粘り強、粘性有、灰色粘土主体で焼土粒(5mm以下)多量、大型のロームブロック(9cm以下)やや多量、炭化物(5mm)少量
6. 暗黄褐色土 粘り強、粘性有、ソフト質のローム土ベースにロームブロック(5cm以下)主体
7. 暗灰色土 粘り強、粘性有、シルト質の灰色粘土主体、ローム粒・焼土(3mm以下)少量
8. 暗灰色土 粘り強、粘性有、シルト質の灰色粘土主体、焼土ブロック(5~20mm)やや多量
9. 暗灰色土 粘り強、粘性有、シルト質の灰色粘土主体、色調若干赤褐色味ある、焼土(1cm以下)多量、下部にロームブロック(1cm大)集中して含む
- 9' 黒褐色土 粘り強、粘性有、焼土・ローム粒(2mm以下)少量
10. 暗灰色土 粘り強、粘性有、シルト質の灰色粘土主体、ローム分を含み、色調は黄色味ある、ローム粒(5mm以下)やや多量、焼土(3mm大)少量
11. 暗灰色土 粘り強、粘性有、シルト質の灰色粘土主体、ローム粒やや多量、焼土はない
12. 赤褐色土主体 粘り強、粘性有、しみ状に粘土含む
13. 赤褐色土 粘り強、粘性有、赤褐色のシルト質粘土、焼土ブロック含まない
14. 灰白色粘土 粘り強、粘性有、焼土・炭化物(2mm以下)少量
15. 結床の土 細かいローム粒を多く持つ暗褐色土にロームブロックが混ざる

第8図 松山遺跡第54地点H37号住居跡窟・掘方・遺物出土状況図(1/30)

0 0.5 1m

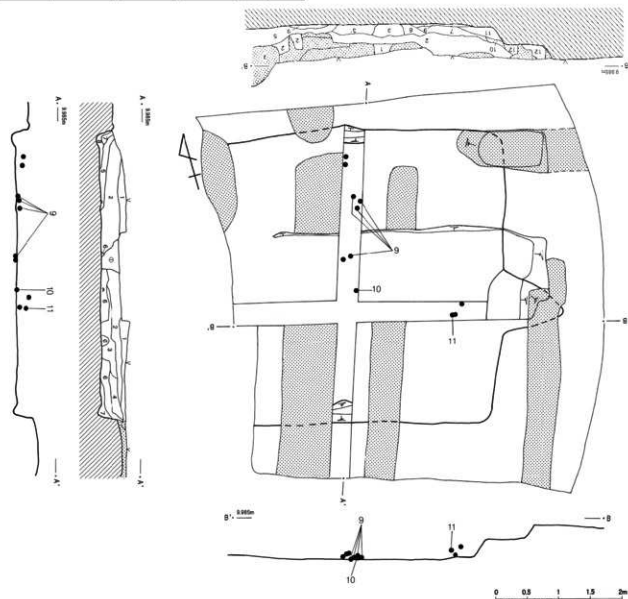
第4表 松山遺跡 H37号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|----|------|---------|---------|----|----|
| P1 | 方形 | 36 × 31 | 19 × 17 | 40 | |
| P2 | 方形 | 28 × 24 | 16 × 11 | 39 | |
| P3 | 方形 | 22 × 18 | 5 × 3 | 52 | |
| P4 | 円形 | 31 × 29 | 15 × 13 | 47 | |
| P5 | 方形 | 21 × 20 | 13 × 11 | 14 | |
| P6 | 円形 | 33 × 29 | 15 × 12 | 15 | |
| P7 | 楕円形 | 74 × 65 | 17 × 8 | 22 | |
| P8 | 楕円形 | 92 × 71 | 64 × 43 | 15 | |

② H38号住居跡

調査区の西側に位置し、遺跡全体の分布では南部に位置する。溝状遺構(イモビツ)に一部壊されている。なお、本住居は盛土保存の措置をとったため、サブトレンチを入れて深さと規模を確認したに留めた。また、住居西側は調査区域外へ延長しており、立ち上がりは確認していない。

主軸方位はN-107°-E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の東西で4.40m以上、南北4.68m、確認面から床面までの深さ



① 黒褐色土 粘り強、粘性有、2層より黒色味強い、ローム粒(2mm以下)均一にやや多量
別箇にのみ(住居の土に依る)

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)少量
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少量、ロームブロック(1~2cm大)少量
3. 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多量、ソフト質ロームブロック(10mm大)少量
3. 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)、ソフト質ロームブロックやや多量
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少量
5. 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)、ロームブロック(5~10mm)少量

6. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多量、色調明るい

7. 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多量
8. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム土主体にロームブロック(3cm以下)黒褐色土少量
9. 黒色土 粘り強、粘性有、ソフト質ロームブロック多量
10. シルト質灰色粘土主体 粘り強、粘性有、しみ状に黒褐色土含む
11. 黒色土 粘り強、粘性有、ローム粒、灰色粘土(2mm以下)少量
12. 黒褐色土主体 粘り強、粘性有、しみ状に粘土含む
13. シルト質灰色粘土 粘り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)・焼土(5mm以下)少量、
竈構築土、トレンチで南側を壁状

第9図 松山遺跡第54地点H38号住居跡・遺物出土状況図(1/60)

0.58mである。

竈は壁から外への張出で0.95mを測る。

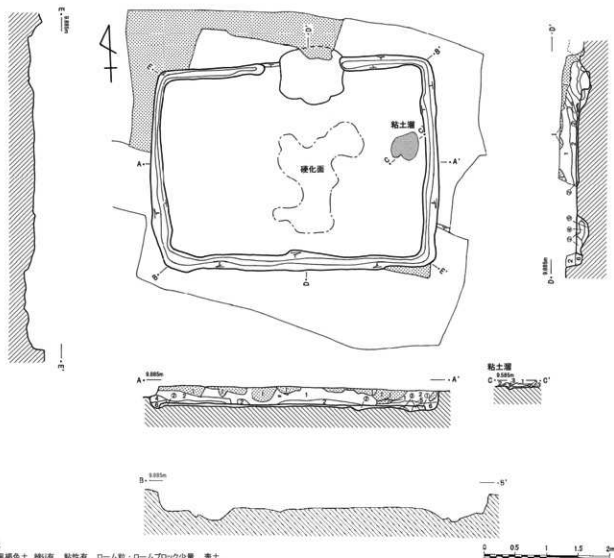
遺物出土状況は、床直に近い状態で検出した。土師器片16、須恵器片2、縄文土器片3が出土した。

時期は出土遺物から8世紀第1四半期。

③ H39号住居跡

調査区の中央南側に位置し、遺跡全体の分布では南部に位置する。溝状遺構（イモビツ）に竈の一部が壊されている。

主軸方位はN-4°-E、北壁中央に竈を備える。

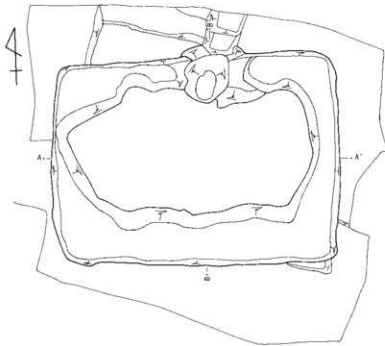


層土

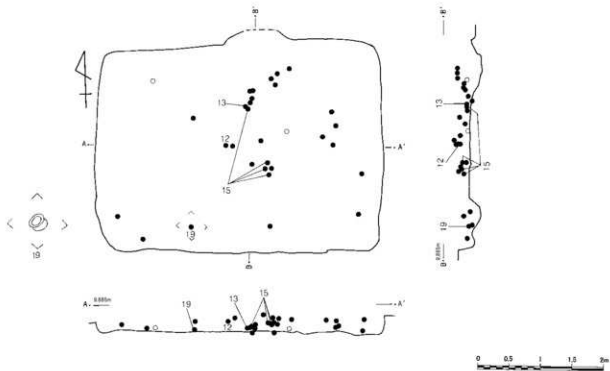
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒・ロームブロック少量、黄土
 1. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフ質のローム粒（3mm以下）やや多量
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・ローム粒（3mm以下）少量
 3. 黒色土 締り有、粘性有、ローム粒（1mm以下）少量
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含み色調暗い
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状にローム土やや多量、白色粘土多量
 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフローム土多量
 7. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・白灰色粘土粒（5mm以下）少量
- 粘土層 C-C'
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ソフローム土やや多量
 - ② 暗黄褐色土 締り強、粘性有、しみ状に黒色土含む、ローム粒（5mm以下）・黒色土粒（3mm以下）やや多量
 - ③ 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフローム土主体にロームブロック多量
 - ④ 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒（5mm以下）多量
 - ⑤ 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状に黒色土少量、ロームブロック多量
- 粘土層 C-C'
1. 黒褐色土 締り強、粘性強、白色粘土（5～40mm）多量
 2. 褐色土 締り強、粘性強、白色粘土（5～40mm）多量
 3. 褐色土 締り強、粘性有、ソフ質ローム質土

第10図 松山遺跡第54地点H39号住居跡（1/60）

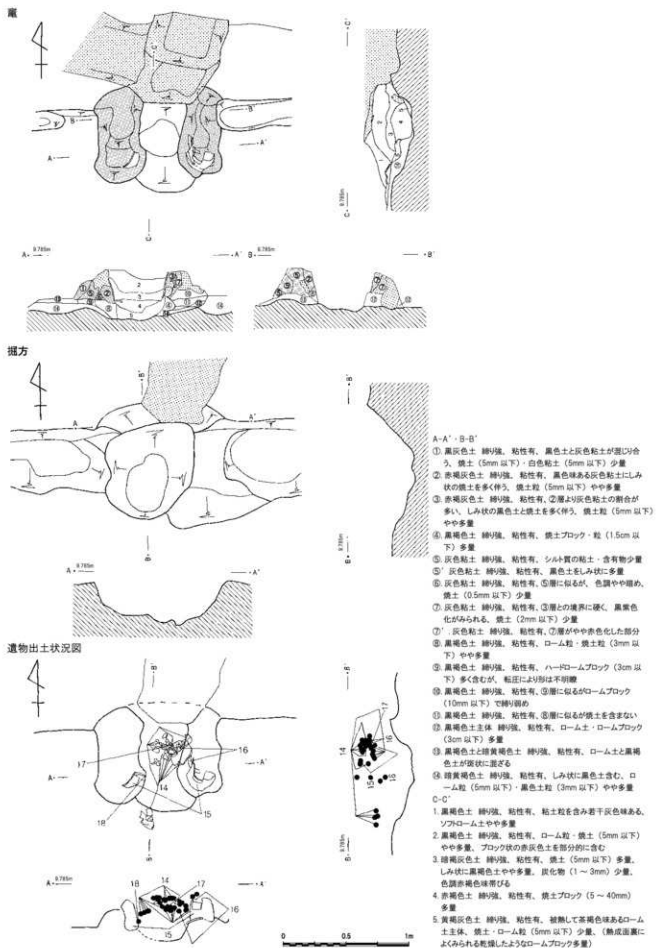
掘方



遺物出土状況図



第11図 松山遺跡第54地点H39号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)

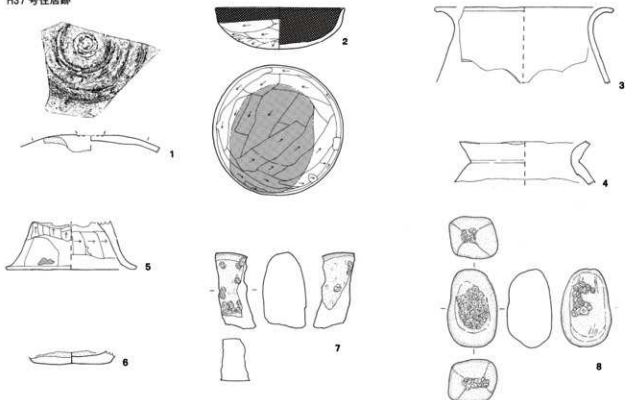


第12図 松山遺跡第54地点H39号住居跡竪・掘方・遺物出土状況図（1/30）

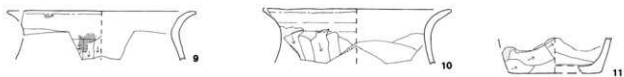
第5表 松山遺跡第54地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 図版 番号 | 掲載 番号 | 遺構名 | 種別・ 器種 | 口径・長 | 底径・ 幅 | 器高・ 厚 | 技法/文様/その他 | 石材/ 推定生産地 | 推定年代・ 時期 | 残存/ 備考 |
|----------------|----------|---------|-----------|--------|----------|----------|---|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 13・ 14 図 | 1 | H37号住居跡 | 須恵器・蓋 | — | — | — | 轆轤成形。天井部左回転調整。つまみ取り付け用の左回転沈線痕有り/灰色/砂粒(～5mm)、注No.1 | 南比企? | 8世紀第1 四半期 | 1/2以下残存 |
| | 2 | H37号住居跡 | 土師器・坏 | 13.9 | — | 4.5 | 粘土結核上。内面及び内外面口縁部は横線で。体部外面横方向のへら削り。口唇部内側に沈線あり。/内面から外面口縁部にかけて赤色塗彩/黄褐色・赤褐色/砂粒(～3mm)極多量含む/体部外面に黒斑/注No.39、45 | — | 8世紀第1 四半期 | 完形 |
| | 3 | H37号住居跡 | 土師器・費 | (19.0) | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部不明。頸部から口縁は外反する。/褐色/砂粒(～1mm)極多量含む。輝石、赤色粒子含む/注No.カマドNo.4 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 口縁部片 |
| | 4 | H37号住居跡 | 土師器・費 | — | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。頸部は「く」字。/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.56 | — | 8世紀第1 四半期 | 頸部片 |
| | 5 | H37号住居跡 | 土師器・台付費 | — | (14.0) | — | 粘土結核上。脚部室内外面横線で。外面縦方向の削り。内面横方向の削り/褐色/砂粒(～1mm)、輝石含む/注No.カマドNo.5 | — | 7世紀末～ 8世紀 | 脚部片 |
| | 6 | H37号住居跡 | 土師器・費 | — | (8.2) | — | 粘土板/にぶい黄褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.カマドNo.8 | — | 8世紀 | 底部片 |
| | 7 | H37号住居跡 | 石器・石皿 | — | — | 4.40 | 重量156.2g/注No.15 | 四稜岩 | — | 一部残 |
| | 8 | H37号住居跡 | 石器・磁石 | 8.27 | 5.33 | 4.81 | 重量303.5g/注No.54 | 砂岩 | — | 完形 |
| | 9 | H38号住居跡 | 土師器・費 | (20.0) | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。頸部は外反/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.5、6、7、8 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 口縁部1/4 以下 |
| | 10 | H38号住居跡 | 土師器・費 | (20.0) | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。頸部は外反/褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.10 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 口縁部1/4 以下 |
| | 11 | H38号住居跡 | 土師器・費 | — | (9.8) | — | 粘土結核上。外面斜め方向のへら削り。内面横で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.1 | — | 8世紀第1 四半期 | 底部1/4 以下 |
| | 12 | H39号住居跡 | 須恵器・蓋 | (15.0) | — | — | 轆轤成形/黄灰色/砂粒(～3mm)、海面骨針含む/注No.5 | 南比企 | 8世紀第1 四半期 | 口縁部1/4 以下残存 |
| | 13 | H39号住居跡 | 土師器・坏 | — | — | — | 粘土結核上。内面及び内外面口縁部は横線で。体部外面横方向のへら削り/褐色/砂粒(～1mm)多量、輝石含む/注No.20 | — | 8世紀第1 四半期 | 口縁部1/4 以下残存 |
| | 14 | H39号住居跡 | 土師器・甗 | (31.0) | 29.8 | (10.8) | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。内面斜め方向の削り。頸部は外反/にぶい褐色/砂粒(～3mm)多量含む/注No.カマドNo.1～4、8、9、15～18、22～28 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 1/4残存 |
| | 15 | H39号住居跡 | 土師器・費 | 26.0 | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。内面縦から斜め方向の削り。頸部は外反/にぶい褐色/砂粒(～3mm)多量含む/注No.8、9、19、28、カマドNo.31、32、33 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 外面一部 に黒斑。 2/3残存 |
| | 16 | H39号住居跡 | 土師器・費 | (23.8) | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。内面斜め方向の削り。頸部は外反/褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.カマドNo.30、34 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 外面一部 にスス付 着。口縁 部残存 |
| | 17 | H39号住居跡 | 土師器・費 | — | — | 10.5 | 粘土結核上。内外面削り後調整。底部へら削り/灰黄褐色/砂粒(～1mm)多量含む。輝石含む/注No.カマドNo.14 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 外面一部 にスス付 着。底部 2/3 |
| | 18 | H39号住居跡 | 土師器・費 | — | — | (7.4) | 粘土板/にぶい褐色/砂粒(～1mm)極多量含む/注No.カマドNo.29 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 底部1/2 |
| | 19 | H39号住居跡 | 土師器・小形壺 | 12.0 | 7.0 | 9.1 | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部から底部外面横方向のへら削り。内面横方向の削り。頸部は外反/褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.31 | — | 7世紀末～ 8世紀第1 四半期 | 外面一部 に黒斑。完 形 |
| | 20 | H39号住居跡 | 鉄製品・釘 | 4.2 | 0.8 | 0.6 | 重量5.26g/注No.D区2 | — | — | — |
| | 21 | 遺構外 | 土師器・小形壺 | (13.0) | — | — | 粘土結核上。口縁部横線で。胴部外面縦方向のへら削り。内面横で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.3トレ | — | 7世紀～8 世紀 | 1/4以下残存 |
| | 22 | 遺構外 | 土師器・費 | — | — | (7.6) | 粘土結核上。外面縦方向のへら削り。内面横で/にぶい黄褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.116 | — | 7世紀～8 世紀 | 底部1/4 以下残存 |
| | 23 | 遺構外 | 銭貨・銅貨 | 外径2.80 | — | 厚さ0.16 | 重量6.47g/鋳造/表面「一錢 以百枚 換一圓」裏面「ISEN・大日本・明治十七年・」(龍はいわゆる波ウロコ)/注No.H3 | — | 明治17年 (1894) | 完形 |

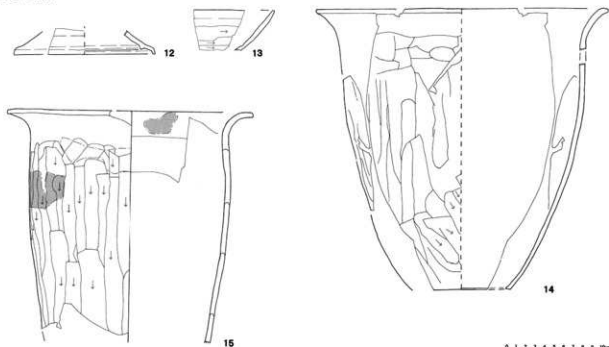
H37号住居跡



H38号住居跡



H39号住居跡



第13図 松山遺跡第54地点 H37・H38・H39号住居跡出土遺物 (1/4)

平面形態は長方形、規模は主軸方位の南北で 3.36 m、東西 4.59 m、確認面から床面までの深さ 0.23 m である。

竈は、壁から外への張出が 0.18 m、住居内側へは粘土を用いた袖が 0.6 m 残る。主軸方向の奥行き 0.79 m、幅 1.01 m、袖部の厚さ 0.40 m を測る。竈の袖部には 1 個体分の土師器裏を割り、破片を両袖に埋め込んでいた。

竈の堀方は主軸方向 0.75 m、幅 0.7 m、床面からの深さ 0.15 m である。

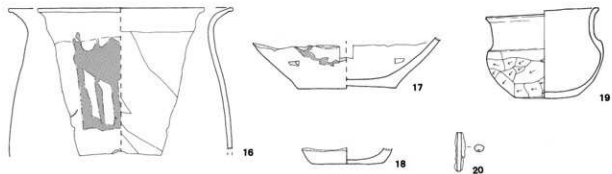
ピットはない。周溝は四面全ての壁際に巡る。幅 18 ~ 30 cm、深さ 10 cm 前後である。

壁はほぼ垂直に立ち上がる。

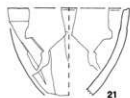
掘方は四隅が深くなる。

遺物出土状況は住居跡中央や竈内に若干多く出土している。また、南壁近くに土師器小形壺が完形で出土する。土師器片 87、須恵器片 3、鉄製品 1、礫 3 が出土した。

時期は出土遺物から 8 世紀第 1 四半期。



遺構外



第 14 図 松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡・遺構外出土遺物 (1/4・1/1)

第3章 東久保遺跡第68地点の本調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は約3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、町立亀久保小学校が建ち、現在は区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。

本遺跡の調査は1976年以来2010年3月現在まで、66地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

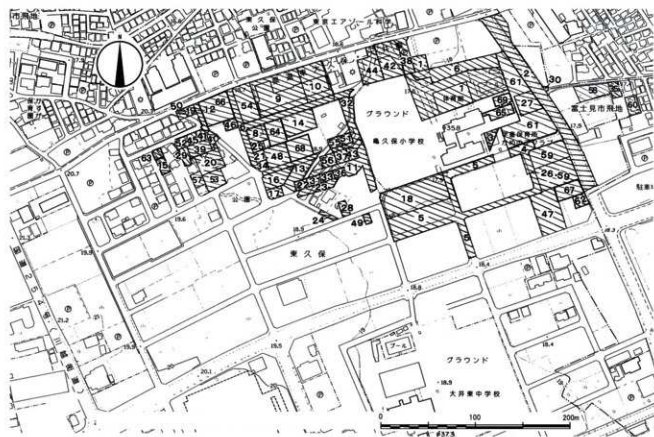
旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石・土坑等、中・近世は溝や欄跡が確認されている。

II 本調査にいたる経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2010年11月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央のやや西側に立地し、調査区北側隣接地で溝跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年11月22日から同26日まで行った。幅約1.5～2mのトレンチ6本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、縄文時代の集石と中世以降の溝跡を検出したため遺構の取り扱いについて事業者と再協議した。その結果、原因者負担による本調査を実施することとなった。市教育委員会は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で、2010年11月29日から同年12月8日まで本調査を行った。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

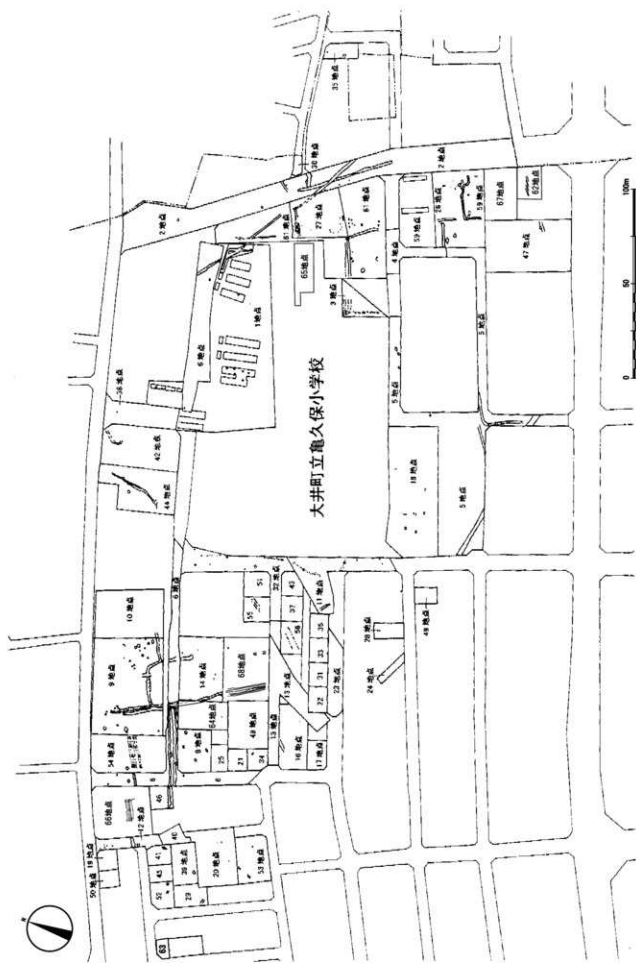
調査は遺構を確認した範囲の表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、土層



第15図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第6表 東久保遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間 (日付記載調査) | 面積(m ²) | 調査内容 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|----|-----------------------------|--|---------------------|-------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 1 | 丸久保字大字区 285-1 敷 | 11975.6.29 - 7.27 | 10,000 | 丸久保小学校建設 | 縄文・集石土坑6基、土坑3基、沟12基、溝2基、竪穴1基・石函 | 大塚町文化財報告書第7集 東久保遺跡 |
| 2 | 丸久保 260-1 敷 | 11994.12.19 - 1995.3.23 11995.5.18 - 5.29 | 2,472 | 区画整理道路 | 中・近世・溝4基、ピット4基、土坑2基 | 調査報告書第14集 |
| 3 | 丸久保 284-1 | 11996.5.20 - 5.29 | 275 | 本道管理用 | 溝1基 | 和內遺跡報告文 |
| 4 | 丸久保 364-1 | 11996.6.7 - 6.10 11996.9.2 - 9.4 | 300 | 学童保育所 | 溝2基、竪穴1基、遺物無し | 和內遺跡報告文1 調査報告書第11集 |
| 5 | 丸久保 366 | 11996.11.22 - 1997.3.5 | 3,314 | 区画整理道路 | 石函1個跡1基 | 調査報告書第11集 |
| 6 | 丸久保 271-1 | -A区 11997.1.20 - 2.13 -B区 11997.2.24 - 3.19 -C区 11997.7.24 - 7.25 -D区 11997.8.6 | 2,309 | 区画整理道路 | 土坑3基、中世1集石1基、土坑4基、ピット3基、溝8基 | 調査報告書第14集 |
| 7 | 丸久保(東経線跡) 他地点(変更) | | | | | 調査報告書第14集 |
| 8 | 丸久保 18 地区 12 敷地 | 11967.7.29 - 8.25 | 305 | 個人住宅 | 縄文 土坑2基、ピット2 | 和內遺跡報告文 |
| 9 | 丸久保 279、280 | 11997.8.18 - 8.20 11998.3.1 - 3.18 | 2,117 | 共同住宅 | 縄文 集石土坑5基、土坑13基、ピット3基、近世(以降)・溝3基 | 和內遺跡報告文・ 調査報告書第14集 |
| 10 | 丸久保 19 地区 | 11997.9.19 - 10.11 | 1,067 | 分譲住宅 | 縄文 竪穴土坑1基、近世(以降)・溝1基 | 和內遺跡報告文 |
| 11 | 丸久保 | 11997.7.13 - 8.4 11998.3.11 - 3.12 | 588 | 区画整理道路 | 中世(以降)・竪穴1基、ピット3基、溝1基 | 調査報告書第14集 |
| 12 | 丸久保 | 11996.1.19 - 1.21 | 282 | 区画整理道路 | 縄文 集石土坑1基、ピット10基、近世(以降)・溝2基 | 調査報告書第14集 |
| 13 | 丸久保 381-5 敷 | 11995.5.19 - 5.29 | 300 | 区画整理道路 | 遺構・遺物無し | 調査報告書第14集 |
| 14 | 丸久保 18 地区 3 敷地 | 11995.11.2 | 162 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 14 | 丸久保 18 地区 3 敷地 | 11999.6.29 - 7.30 1999.7.19 - 7.29 | 823 | 共同住宅 | 溝2基、竪穴1基 縄文土器片、瓦割片類 | 和內遺跡報告文・ 調査報告書第14集 |
| 15 | 丸久保 5 地区 14 - 16 敷地 | 11999.8.25 | 138 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 16 | 丸久保 15 地区 1 - 5-32 敷地 | 11999.10.1 - 10.6 | 374 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 17 | 丸久保 381-5 | 11999.6.14 - 6.15 | 168 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 18 | 丸久保 27 地区 2 敷地 | 11999.11.30 - 12.15 | 14,980 | 小学校7/8号 養育 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 19 | 丸久保 3 地区 9-10 敷地 | 11999.12.20 - 12.21 | 118 | 店舗併用住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 20 | 丸久保 4 地区 9 敷地 | 2000.2.28 - 3.31 | 478 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 21 | 丸久保 18 地区 14 敷地 | 2000.3.29 - 3.30 | 114 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 22 | 丸久保 15 地区 28 敷地 | 2000.3.22 - 3.29 | 150 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 23 | 丸久保 15 地区 28 敷地 | 2000.3.13 - 3.18 2000.3.27 - 4.6 | 290 | 区画整理道路 | 縄文 土坑1基、竪穴跡1基 | 調査報告書第14集 |
| 24 | 丸久保 14 地区 | 2000.1.19 | 300 | 区画整理道路 | 遺構・遺物無し | 調査報告書第14集 |
| 25 | 丸久保 18 地区 13 敷地 | 2000.4.13 - 4.18 | 175 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 26 | 丸久保 31 地区 9 敷地 | 2000.4.14 | 1,107 | 砂利敷石畳敷 溝、ピット | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 27 | 丸久保 26 地区 | 2000.5.17 - 6.8 | 560 | 区画整理道路 | 縄文 土坑1基、近世(以降)・溝1基、溝2基 | 調査報告書第13集 |
| 28 | 丸久保 14 地区 8 敷地 | 2000.6.29 - 7.6 | 130 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 29 | 丸久保 4 地区 18-20 敷地 | 2000.6.30 - 7.6 | 218 | 個人住宅 | 溝2基 | 和內遺跡報告文 |
| 30 | 丸久保 294 番 2 | 2000.7.4 | 48 | 区画整理道路 | 遺構・遺物無し | 調査報告書第14集 |
| 31 | 丸久保 15 地区 26 敷地 | 2000.6.25 | 126 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 31 | 丸久保 277・381 敷地 | 2000.7.12 - 8.4 2001.7.16 - 11.30 | 205 | 区画整理道路 | 引石割・石割製石跡2基、縄文 土坑2基、ピット12基、溝・養育1基 | 調査報告書第14集 |
| 33 | 丸久保 13 地区 24 敷地 | 2000.8.29 - 8.31 | 128 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 34 | 丸久保 18 地区 15 敷地 | 2000.8.29 - 8.30 | 110 | 個人住宅 | ピット4 | 和內遺跡報告文 |
| 35 | 丸久保 23 地区 3-4 敷地 | 2000.12.7 - 12.9 | 139 | 個人住宅 | 溝1基、ピット1 | 和內遺跡報告文 |
| 36 | 丸久保 15 地区 21-22 敷地 | 2001.1.19 - 1.26 | 135 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 37 | 丸久保 15 地区 13-13 敷地 | 2000.12.11 | 149 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文 |
| 38 | 丸久保 284-1、285-1 | 2000.12.13 - 12.15 | 501 | 区画整理道路 | 縄文 土坑1 遺物無し | 調査報告書第14集 |
| 39 | 丸久保 4 地区 8-9 敷地 | 2001.3.22 - 3.27 | 317 | 個人住宅 | 縄文 竪穴1穴 | 調査報告書第14集 |
| 40 | 丸久保 270-3、270-4 | 2001.3.23、6.18 | 128 | 区画整理道路 | 遺構・遺物無し | 調査報告書第14集 |
| 41 | 丸久保 4 地区 6-7 敷地 | 2001.5.28 - 5.29 | 112 | 個人住宅 | 近世(以降)・溝1基、遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 42 | 丸久保 19 地区 10 敷地 | 2001.4.18 - 4.21 | 864 | 駐車場 | 近世(以降)・溝1基、遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 43 | 丸久保 15 地区 14-15 敷地 | 2001.5.22 - 5.25 | 142 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 44 | 丸久保 15 地区 9-11(12) 敷地 | 2001.5.10 - 6.29 | 747 | 養育 | 縄文 竪穴1穴1基、集石4基、ピット3基、溝2基 | 和內遺跡報告文1 |
| 45 | 丸久保 256-21 | 2001.6.11 | 100 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 46 | 丸久保 17 地区 3-4 敷地 | 2001.6.4 - 6.6 | 135 | 個人住宅 | 溝1基、縄文土器片2点、竪穴1点 | 和內遺跡報告文1 |
| 47 | 丸久保 31 地区 6-13 敷地 | 2001.10.11 - 10.20 | 1,203 | 店 舗 | 縄文 竪穴1穴1基、溝1基 | 和內遺跡報告文1 |
| 48 | 丸久保 18 地区 9-10 敷地 | 2001.12.12 - 12.29 | 518 | 分譲住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 49 | 丸久保 13 地区 7 敷地 | 2002.2.12 - 2.13 | 100 | 分譲住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文1 |
| 50 | 丸久保 3 地区 22 敷地 | 2002.9.24 | 102 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 51 | 丸久保 18 地区 11 敷地 | 2002.12.3 | 155 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 52 | 丸久保 4 地区 3 敷地 | 2003.2.6 - 2.7 | 64 | 個人住宅 | 引石、溝 | 和內遺跡報告文B |
| 53 | 丸久保 4 地区 10 敷地 | 2003.5.7 - 5.22 | 408 | 共同住宅 | ピット1 | 和內遺跡報告文B |
| 54 | 丸久保字大字区 272 (15 地区 1 敷地) | 2003.5.9 - 5.22 | 798 | 共同住宅 | 溝3基、ピット4基、竪穴1穴 | 和內遺跡報告文B |
| 55 | 丸久保字大字区 488 (15 地区 2 敷地) | 2003.6.9 - 6.12 | 365 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 56 | 丸久保字大字区 15 地区 12 敷地 | 2003.7.31 - 8.31 | 760 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 57 | 丸久保字大字区 260 地区 14 敷地 | 2003.9.29 - 10.11 | 133 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 58 | 丸久保 272-2 | 2004.4.13 - 4.14 | 558 | 分譲住宅 | 溝2 | 和內遺跡報告文B |
| 59 | 丸久保 272-1・9 | 2004.6.29 2004.7.12 - 7.21 | 1,804 | 店 舗 | 土坑4基、ピット8基、溝2基 | 和內遺跡報告文B・ 調査報告書第14集 |
| 60 | 丸久保 272-16 | 2004.7.22 - 24.21 | 337 | 個人住宅 | ピット1 | 和內遺跡報告文B |
| 61 | 丸久保 26 地区 | 2004.9.29 - 11.26 | 2,376 | 14層製石コンクリート 建物 | 縄文 土坑7基、ピット5基、溝6基、1-10(18 27 穴付)溝跡1 | 調査報告書第14集 |
| 62 | 丸久保 22-5-6 | 2004.10.12 - 10.15 | 220 | 宅地造成 | 溝3 | 和內遺跡報告文B |
| 63 | 丸久保 2-5-10-12 | 2006.2.1 | 115 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 64 | 丸久保 2-18-6 の一部 | 2006.10.12 - 10.20 2006.10.24 - 26 | 437 | 共同住宅 | 近世 養育1基、溝4基 | 和內遺跡報告文B |
| 65 | 丸久保 2-22-2、5-7 | 2008.1.18 - 28 | 260 | 小学校増築 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 66 | 丸久保 2-19-4、19-5 | 2008.5.22 - 6.11 | 862 | 分譲住宅建設 | 溝3基 | 和內遺跡報告文B |
| 67 | 丸久保 2-25-10、11 | 2009.11.9 | 492 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 和內遺跡報告文B |
| 68 | 丸久保 2-18-3 | 2010.11.22 - 26 2010.11.29 - 12.8 | 791 | 分譲住宅建設 | 縄文時代集石1基、近世(以降)溝2基、養育1基、本葬所 | 和內遺跡報告文B |



第16図 東久保遺跡遺構分布図 (1/2,000)

図・遺物出土状況図・遺構平面図・調査区域図の測量と写真撮影を行った。測量は平板測量で実測した。検出した遺構は縄文時代の集石土坑1基と中近世以降の溝跡2条、堀列1条、溝状土坑（イモビツ）である。

Ⅲ 遺構と遺物

(1) 集石土坑1

調査区の北東隅に位置する。畑の耕作（ゴボウ畝）に南北両側部分を壊されている。

集石は完形礫が密集し、土坑底部は被熱し一部赤化

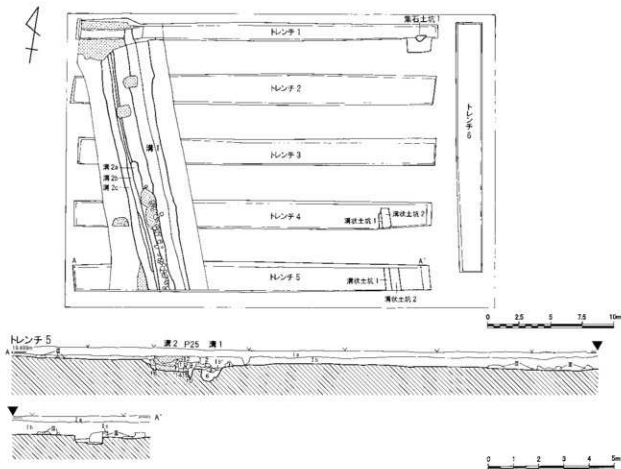
している。出土遺物はなかった。規模、出土礫は表6のとおり。

(2) 溝

調査区の西側に位置する。第6・9・14・64地点で検出した溝と連続する。

溝1は断面が四角く深い溝で、第64地点の溝4と同一溝である。溝2はa～cの3条に細分でき、第64地点の溝1～3と対応する。c→b→a(西から東)の順に新しくなり、溝1が最も新しい。

溝1の時期は出土遺物から近世。



土質（耕作土）

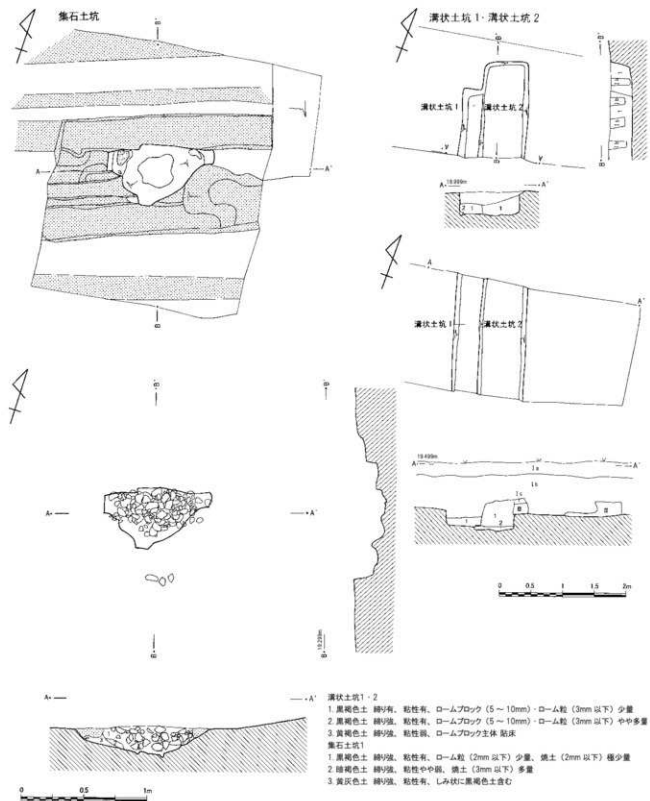
1 a. 黒褐色土 粘り強、粘性弱、近年の耕作土

1 b. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ソフトロームブロックやや多量、区画整理前の耕作土が

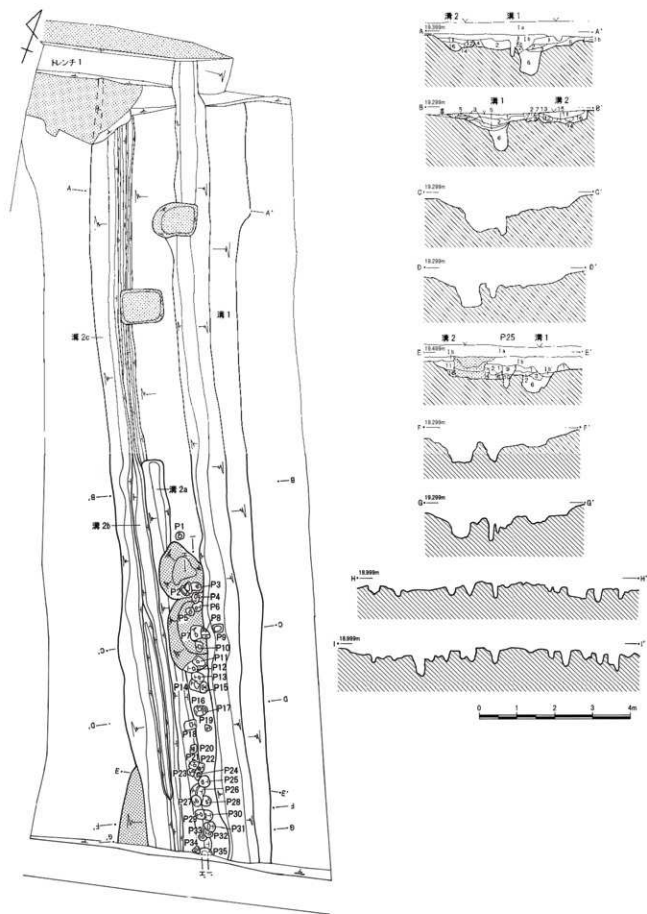
Ⅲ. ローム地山

1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（10cm以下）やや多量、ローム粒（1mm以下）多量（溝1）
2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（8cm以下）主体
3. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒（5mm以下）多量、層厚1.5～3cmで灰褐色のシルト質粘土層を2枚はさむ、ベースの土は、ローム粒（2mm以下）主体で粘性弱い
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（10cm大）ローム粒（5mm以下）やや多量
5. 暗褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（1～4cm）ローム粒（3mm以下）やや多量
6. 暗褐色土 粘り強、粘性弱、ロームブロック（最大13cm、平均1～5cm）多量
7. 暗褐色土 粘り中弱、粘性中弱、ソフトローム土主体、黒褐色土が混ざる（植物根多い）
8. 暗褐色土 粘り強、粘性弱、ソフトローム土主体のソフトな部分
9. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ソフトローム土（10cm）少量、ローム粒（3mm以下）やや多量（溝2）
10. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ローム粒（5mm以下）やや多量、1層と粘り強
11. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（10cm大）少し、ローム粒（3mm以下）やや多量（溝2）
12. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（10cm大）少し、ローム粒（5mm以下）やや多量（溝2a）
13. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（5～10cm）少量、2層と粘り強
14. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（1.5～3cm）ローム粒（3mm以下）やや多量（細かいローム粒を含まない点も層より5層に近い）（溝2b）
15. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（4cm以下）やや多量、ローム粒（5mm以下）多量
16. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック（1～4cm）多量、ローム粒（5mm以下）やや多量（溝2c）

第17図 東久保遺跡第68地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）



第18図 東久保遺跡第68地点集石土坑(1/30)、溝状土坑(1/60)



第19図 東久保遺跡第68地点溝・櫛列 (1/100)

(3) 柵列

調査区の西側に位置する。溝1と溝2の間に並列する。トレンチ5の土層観察では溝の埋没後に構築している。

(4) 溝状土坑

平面は細長い長方形、断面角型でイモ類を貯蔵するための「イモビツ」と思われる。溝状土坑2を溝状土坑1が切り、溝状土坑1の方が新しい。

第7表 東久保遺跡第68地点集石一覧表 (単位cm)

| No | 平面形態 | 土坑確認面 | 底面 | 深さ | 確認側 | 溝数 | 重量 (g) | 平均重量 (g) | 完形率 | | 未化 | | スス付着 | | 備考 | |
|----|------|---------|---------|----|---------|-----|--------|----------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------------------------------|
| | | | | | | | | | 個数 | 重量 | 個数 | 重量 | 個数 | 重量 | | 個数 |
| 1 | 楕円形 | 77 × 49 | 31 × 27 | 26 | 83 × 78 | 404 | 29358 | 72.6 | 35 | 6,168 | 176 | 279 | 23,188 | 72 | 5,787 | 南北両側は後部の踵足を受ける。確密生。底部炭化し未化、一部赤化する |
| | | | | | | | | | 8.7% | 21.0% | 69.1% | 79.0% | 17.8% | 19.7% | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

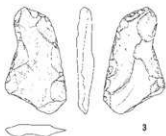
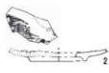
第8表 東久保遺跡第68地点土構一覧表 (単位cm)

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|----------------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 溝1 | 南北方向の直線21m、断面「菜研」 | 114 ~ 195 | 23 ~ 42 | 60 ~ 109 | 溝2より新 |
| 溝2a | 南北方向の直線21m、断面浅い「U」字形 | 15 ~ 62 | 5 ~ 12 | 26 ~ 50 | 溝2bより新 |
| 溝2b | 南北方向の直線21m、断面浅い「U」字形 | 12 ~ 44 | 4 ~ 29 | 28 ~ 45 | 溝2cより新 |
| 溝2c | 南北方向の直線21m、断面浅い「U」字形 | 45 ~ 83 | 11 ~ 83 | 13 ~ 41 | 最も古い |
| 溝状土坑1 | 長方形 | 60 × 600 | ~ 52 | × 35 | 溝状土坑2より新 |
| 溝状土坑2 | 長方形 | 75 × 650 | ~ 60 | × 40 | 溝状土坑1より古 |
| P1 | 円形 | 21 × 20 | 9 × 8 | 61 | 68 |
| P2 | 不整形 | 30 × 26 | 18 × 12 | 63 | |
| P3 | 方形 | (24) × 21 | 9 × 3 | 70 | |
| P4 | 楕円形 | 24 × 15 | 10 × 8 | 62 | |
| P5 | 円形 | 20 × 18 | 8 × 5 | 70 | |
| P6 | 方形 | 27 × 22 | 7 × 5 | 65 | |
| P7 | 方形 | 38 × 29 | 9 × 6 | 106 | |
| P8 | 三角形 | (27) × 23 | (21) × 12 | 87 | |
| P9 | 方形 | 26 × 21 | 19 × 15 | 108 | |
| P10 | 方形 | 22 × 17 | 9 × 7 | 69 | |
| P11 | 楕円形 | 33 × 21 | 6 × 4 | 68 | |
| P12 | 三角形 | 31 × 29 | 13 × 7 | 66 | |
| P13 | 方形 | 29 × (21) | 10 × 5 | 66 | |
| P14 | 方形 | 30 × 27 | 18 × 16 | 68 | |
| P15 | 不明 | 30 × (20) | 10 × 4 | 64 | |
| P16 | 方形 | 26 × 23 | 10 × 10 | 74 | |
| P17 | 不明 | 21 × (13) | 8 × 4 | 43 | |
| P18 | 方形 | 31 × 25 | 11 × 7 | 62 | |
| P19 | 三角形 | 18 × 14 | 3 × 2 | 53 | |
| P20 | 方形 | 20 × 17 | 13 × 3 | 54 | |
| P21 | 方形 | 25 × 20 | 9 × 7 | 63 | |
| P22 | 方形 | 20 × 18 | 9 × 3 | 64 | |
| P23 | 方形 | 20 × 20 | 8 × 3 | 61 | |
| P24 | 方形 | 25 × 19 | 14 × 2 | 62 | |
| P25 | 円形 | 32 × (30) | 11 × 4 | 81 | |
| P26 | 不明 | (35) × 35 | 30 × 4 | 75 | |
| P27 | 方形 | 29 × 26 | 16 × 7 | 79 | |
| P28 | 不明 | 27 × (23) | 10 × 4 | 63 | |
| P29 | 方形 | 24 × 22 | 11 × 4 | 81 | |
| P30 | 不明 | 25 × 21 | 9 × (4) | 75 | |
| P31 | 三角形 | 28 × 26 | 13 × 8 | 74 | |
| P32 | 不明 | 27 × (17) | 8 × 7 | 72 | |
| P33 | 円形 | 19 × 15 | 7 × 6 | 73 | |
| P34 | 三角形 | 22 × 17 | 10 × 9 | 68 | |
| P35 | 不明 | 31 × (19) | 16 × (12) | 53 | |

第9表 東久保遺跡第68地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 図版番号 | 掲載番号 | 遺物名 | 種別・器種 | 口径・長 | 底径・幅 | 器高・厚 | 技法/文様/その他 | 石材/推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存/備考 |
|------|------|-------|---------|--------|----------|------|--|----------|-------------|----------|
| 20図 | 1 | 溝1 | 陶器・皿 | (13.6) | 高台径(8.0) | — | 轆轤成形/灰釉/注No.1M | 瀬戸・美濃 | 不明 | 口縁破片 |
| | 2 | 溝1 | 陶器・皿 | — | 高台径(6.0) | — | 轆轤成形/染付け、畳付け無釉・砂付着、内面海浜風景文/注No.1M | 肥前 | 1630 ~ 1650 | 底部破片 |
| | 3 | 溝1 | 石器・打製石斧 | 10.9 | 6.4 | 1.8 | 重量119.1g/内輪敲打技法/注No.3トレ1M | 砂岩 | 縄文時代 | 刃部、基部一部欠 |
| | 4 | トレンチ3 | 土器・深鉢 | — | — | — | 輪積み成形/平截竹管の連続爪形文による区画を小形竹管の連続押引文で充填/にぶい褐色/砂粒(~1mm)多量含む/注No.3トレ | 不明 | 縄文時代中期前半 | 側面片 |

溝1



遺物外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第20図 東久保遺跡第68地点出土遺物 (1/4)

第4章 神明後遺跡第41地点の本調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禪寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010年3月現在36地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 本調査にいたる経過と調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2010年4月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、調査区西側隣接地で古代の住居跡や中世の溝跡・土坑等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年5月25日から6月7日まで行った。幅約2mのトレンチ7本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、縄文時代の集石と中世以降の溝跡・土坑・ピット等多数の遺構を検出したため遺構の取り扱いについて事業者と再協議した。その結果、原因者負担による本調査を実施することとなった。市教育委員会は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で、2010年6月15日から同年7月21日まで本調査を行った。

調査は遺構を確認した範囲の表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。調査区内には2m方眼のグリッドを設定し杭打ちを行っ



第21図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第10表 神明後遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間 ()は推調査 | 面積 (㎡) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|-----|---------------------------------|--|-----------|--------|---|-----------|
| 1 | 苗間 281-1 | 1993.5.6 ~ 5.11 | 615 | 共同住宅 | 遺構なし、平安時代須恵器片、陶器片 | 町内遺跡群Ⅲ |
| 2 | 苗間 295-2.299-3 | 1993.5.12 ~ 5.20 | 1,688 | 道路築造 | 落とし穴1、平安住居1軒(11号)、縄文土坑1、中・近世掘立柱建物跡、地下式竈1、井戸、堀 | 〃 |
| 3 | 苗間 309-12 | (1995.3.24 ~ 3.29) 1995.4.3 ~ 5.19 | 200 | 分譲住宅 | 縄文住居1軒(2号)、伏魔2、埋裏1、土坑2、ビット34他 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 4 | 苗間 302 | (1996.6.17 ~ 6.19) | 703 | 物置 | 遺構なし、縄文土器片 | 〃 |
| 5 | 苗間神明後 395-5 | (1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2 | 80 | 個人住宅 | 縄文住居跡1軒(3号)、土坑5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭土器 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 6 | 苗間 255.227-2 | (1997.9.29 ~ 9.30) | 150 | 個人住宅 | 土坑1、土器片・石器片 | 町内遺跡群Ⅶ |
| 7 | 苗間 260 | (1998.6.1 ~ 6.2) | 1,460 | 個人住宅 | 近世地下室1 | 町内遺跡群Ⅶ |
| 8 | 苗間 235-1 | (1998.7.13 ~ 7.24) | 458 | 共同住宅 | 集石土坑1、土坑2、ビット40、櫛列1、溝 | 〃 |
| 9 | 苗間 310-1 | (1998.9.1 ~ 9.11) 1998.9.14 ~ 10.15 | 219 | 共同住宅 | 縄文住居跡4、集石土坑1、落とし穴1、縄文土坑2、近世土坑1、井戸2、地下室1、ビット33 | 〃 |
| 10 | 苗間 298-1 | (1999.9.16) (1999.10.21) | 44 | 個人住宅 | 遺構なし、縄文土器片 | 町内遺跡群Ⅸ |
| 11 | 苗間 366 | 1999.10.22 ~ 10.26 | 239 | 個人住宅 | 土坑17、ビット7 | 〃 |
| 12 | 苗間 282.2・5 | (2000.3.6) | 211 | 共同住宅 | 遺構・遺物なし | 〃 |
| 13 | 苗間 302-1 | (2000.4.17 ~ 4.19) | 694 | 個人住宅 | 土坑12、ビット | 町内遺跡群Ⅹ |
| 14 | 苗間 252-2 | (2000.8.18 ~ 8.23) | 357 | 共同住宅 | 土坑1、近世掘立柱建物跡1、溝2、井戸1、櫛列、ビット38 | 〃 |
| 15 | 苗間 293 - 15 | (2001.4.11) 2001.4.12 ~ 4.13 | 163 | 個人住宅 | 集石土坑1(阿玉台期) | 町内遺跡群Ⅹ1 |
| 16 | 苗間 309-14 | (2001.7.23 ~ 7.24) 2001.7.25 ~ 9.3 | 165 | 個人住宅 | 縄文外埋裏4、土坑13、溝2、地下式竈1、地下室1、竪穴状遺構1、ビット38 | 〃 |
| 17 | 苗間 369-1 | (2002.3.28) | 581 | 個人住宅 | 近世溝 | 〃 |
| 18 | 苗間 304-1.303-6 | (2002.5.15 ~ 5.25) 2002.5.27 ~ 6.21 | 672 | 分譲住宅 | 縄文中期住居跡5軒(8～12号)、土坑、古代・中世堀跡 | 町内遺跡群ⅩⅡ |
| 19 | 苗間 264-4 | (2002.9.18 ~ 9.20) | 216 | 個人住宅 | 根切溝、溝4 | 〃 |
| 20 | 苗間 293-11 | (2003.1.14 ~ 1.15) | 143 | 個人住宅 | 中・近世溝2、ビット2 | 〃 |
| 21 | 苗間 283-1 | (2003.1.10 ~ 1.30) | 674 | 土地造成 | ビット7、井戸1、近世地下室2、土坑1 | 〃 |
| 22 | 苗間 235.2・3 | (2003.7.8 ~ 7.29) | 430 | 分譲住宅 | 井戸1、土坑10、ビット38、江戸後期陶磁器 | 〃 |
| 23 | 苗間 253 | (2004.4.9) | 62 | 個人住宅 | 地下室1、銭貨 | 〃 |
| 24 | 苗間神明後 293-4・10 | (2004.9.30 ~ 10.7) | 148 | 個人住宅 | 遺構・遺物なし | 〃 |
| 25 | 苗間 295-1 | (2004.9.30 ~ 10.7) | 660 | 店舗併用住宅 | 遺構・遺物なし | 〃 |
| 26 | 苗間神明後 301.303-3・4・5.304-1.303-7 | (2005.6.1 ~ 6.8) 2005.6.15 ~ 6.30 | 689 | 分譲住宅 | 縄文中期住居跡1軒(13号)中世地下式竈、近世土坑5、溝 | 調査会報告 18集 |
| 27 | 苗間 248-2.249-1 | (2005.7.20 ~ 25) 2005.7.27 ~ 7.29 | 385 | 共同住宅 | 縄文中期住居跡1軒(14号) | 〃 |
| 28 | 苗間神明後 306 - 1 | (2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5 | 2,171 | 宅地造成 | 縄文中期住居跡11軒(15～25号)、集石23、土坑5、落とし穴1、竪穴3、ビット、溝4、古代・中世堀跡1 | 市内遺跡群 3 |
| 29 | 苗間神明後 303-21.24 | (2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19 | 136 | 個人住宅 | ビット1、古代・中世堀跡1 | 〃 |
| 30 | 苗間神明後 303 - 1 | (2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 12.19 | 101 | 個人住宅 | ビット12 | 〃 |
| 31 | 苗間神明後 284 | (2007.8.3 ~ 7) | 499 | 個人住宅 | 土坑2 | 市内遺跡群 4 |
| 32 | 苗間神明後 247-2 | (2008.3.13) | 136 | 個人住宅 | 近・現代複層 | 〃 |
| 33a | 苗間 240-2 | (2008.4.25 ~ 5.16) | 298 | 個人住宅 | 落とし穴1、中世以降溝6、井戸2、土坑38、ビット16 | 市内遺跡群 6 |
| 33b | 苗間 240-2 | (2008.4.25 ~ 5.16) | 357 | 分譲住宅 | 〃 | 〃 |
| 34 | 苗間神明後 283-1.284-1の一部 | (2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 5.28 | 1,693 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡1軒(26号)、落とし穴1、集石3、ビット | 市内遺跡群 5 |
| 35 | 苗間神明後 293 番 6.20 | (2008.8.1) | 247 | 個人住宅 | 遺構・遺物なし | 市内遺跡群 6 |
| 36 | 苗間神明後 293-3 | (2008.9.2) | 165 | 個人住宅 | ビット1 | 〃 |
| 37 | 苗間 258-1の一部 | (2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30 | 120 | 個人住宅 | 縄文後期住居跡1軒 | 市内遺跡群 8 |
| 38 | 苗間神明後 293-1.292-13 | (2009.7.6 ~ 7) 2009.7.8 ~ 16 | 265 | 個人住宅 | 中・近世溝2条 | 〃 |
| 39 | 苗間神明後 264-1 | (2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1 | 378 | 共同住宅 | 中～近世溝2条、ビット28、落とし穴1基 | 市内遺跡群 7・8 |
| 40 | 苗間 309-1 | (2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15 | 156 | 個人住宅 | 縄文集石土坑1基、中世地下式竈3基、竪穴状遺構1基、土坑9基、ビット11基、溝1条 | 市内遺跡群 8 |
| 41 | 苗間神明後 298-1.299-1の各一部 | (2010.5.25 ~ 31) 2010.6.15 ~ 7.21 | 486 | 共同住宅 | 縄文時代集石土坑1基、中世の掘立柱建物跡1棟、竪穴建物1基、土坑14基、溝7条、木炭窯2基、ビット211基、溝状土坑11基、本調査(140㎡) | 市内遺跡群 9 |
| 42 | 苗間神明前 380-3 | (2010.6.1 ~ 2) | 312 | 宅地造成 | 遺構遺物なし(隣接地) | 未報告 |
| 43 | 苗間 292-14 | (2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22 | 107 | 個人住宅 | 中世～近世期ビット7基、本調査 | 未報告 |

た。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、土層図・遺物出土状況図・遺構平面図・調査区域図の測量と写真撮影を行なった。測量は遺り方測量と平板測量で実測した。検出した遺構・遺物は旧石器時代の石器、縄文時代の集石1基、中世の木炭窯2基・竪穴状遺構1基・掘立柱建物跡1棟・溝5条・土坑14基、ピット211基・溝状土坑(イモピツ)9基である。

III 遺構と遺物

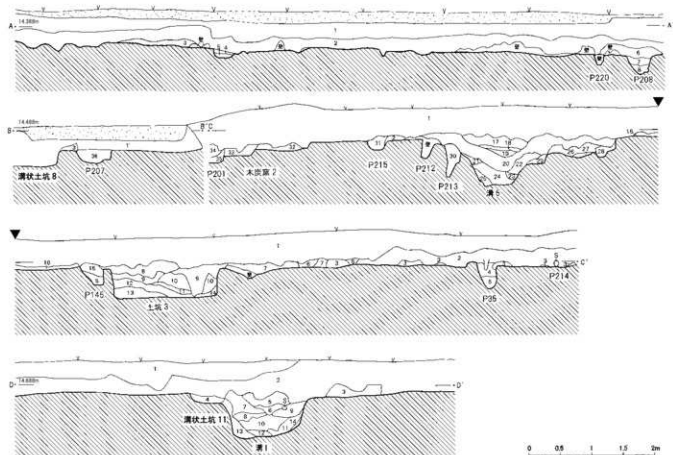
(1) 石器集中1

調査区の南西B-3区に位置する。ピット壁面のローム層中に黒曜石を検出したため、検出箇所を中心に3グリッドのロームを人力で掘り下げ、石器の分布を確認した。調査の結果、立川ローム第IV層より黒曜石製の石器2点を検出した。

なお、ローム層の層準を検討するため、立川ローム



第23図 神明後遺跡第41地点遺構配置図(1/300)



A-A'

1. 黒褐色土 締り強い、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(〜3mm)多量
2. 黒褐色土 締り強い、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(〜5mm)極多量
3. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(〜3mm)極多量
4. O-ム主体、締り有
5. 暗褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(〜5mm)多量
6. 褐色土 締り有、硬い、ローム粒(〜5mm)極多量
7. 暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(〜3mm)多量
8. 黒褐色土 締り有、ロームブロック主体

B-B'・C-C'

1. 黒褐色土 締り弱、黄土
- 1'. 黒褐色土 締り強い、黄土
2. 黒褐色土 締り弱、黄土、ロームブロック(10cm大が5〜10の塊)面状に入る
3. 黒褐色土 ソフトローム
4. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(〜5mm)極多量
5. 黒褐色土 締り弱、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(〜5mm)極多量、黒色土混入
6. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(〜3mm)少量、粘土多量
7. 暗褐色土 締りやや有、ローム粒(〜5mm)多量、粘土(〜3mm)、焼土、炭化物少量
8. 暗褐色土 締りやや有、ローム粒(〜1mm)少量
9. 黒褐色土 締り有、ローム粒(〜3mm)多量、炭化物(1mm)少量、軽土粒(〜3mm)多量
10. 黒褐色土 締り有、ロームブロック(〜30cm大)多量、ローム粒(〜5mm)極多量、粘土ブロック(〜3cm)多量、炭化物少量
11. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(〜5mm)、粘土(〜3mm)多量
12. 暗褐色土 締り中や有、ロームブロック(〜30cm大)多量、ローム粒(〜5mm)極多量、粘土(5〜10mm)多量
13. 暗褐色土 締り中や有、ロームブロック(10cm)多量、ローム粒(5mm〜)極多量、粘土(〜5mm)多量、黒色土ブロック(1cm大)少量
14. 暗褐色土 締り中や有、ローム粒(〜5mm)極多量
15. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(〜3mm)極多量
16. 暗褐色土 ソフトロームの混合土
17. 暗褐色土 締り中や有、ローム粒(1mm)少量
18. 褐色土 締り中や有、ローム粒主体、暗褐色土混入

19. 暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)極少量
 20. 暗褐色土 締り有、ローム粒(〜3mm)やや多量、炭化物極少量
 21. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(〜3mm)少量
 22. 暗褐色土 締りやや有、ローム粒(〜3mm)多量、炭化物少量
 23. 暗褐色土 締りやや有、ロームブロック少量、ローム粒(〜3mm)多量
 24. 褐色土 締り弱、ロームブロック(1〜30cm大)少量、ローム粒(〜5mm)極多量、粘土少量
 25. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(〜3mm)多量
 26. 暗褐色土 締りやや有、焼土粒(5mm〜)やや多量、炭化物(〜1cm大)多量
 27. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(〜3mm)少量、炭化物(〜1cm大)やや多量
 28. 褐色土 締り弱、ローム粒(〜5mm)多量
 29. 褐色土 締りやや有、ローム粒(〜5mm)極多量、黒色土混入
 30. 暗褐色土 締り有、ローム粒(〜5mm)極多量
 31. 黒褐色土 締りやや有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(〜5mm)極多量
 32. 黒褐色土 締り有、焼土(5mm〜)多量、炭化物(1cm〜)極多量
 33. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(〜30cm大)やや多量、ローム粒(〜5mm)極多量、炭化物少量
 34. 暗褐色土 締り有、ローム粒(〜3mm)多量
 35. 暗褐色土 締り有、ローム粒(〜5mm)極多量
 36. 暗褐色土 締り有、ローム粒(〜5mm)極多量
- D-D'
1. 黄土、ローム、瓦等
 2. 黒褐色土 締り弱、黄土
 3. 黒褐色土 締り有、ロームの混合土(交互層)
 4. 黒褐色土 締り有、ローム粒(〜5mm)多量
 5. 黒褐色土 締り中や有、ローム粒(〜5mm)多量
 6. 黒褐色土 締り中や有、ロームの混合土
 7. 黒褐色土 締り中や有、ローム粒(1mm)少量
 8. 黒褐色土 締り中や有、ローム粒(〜3mm)多量
 9. 暗褐色土 締り中や有、ローム粒(〜3mm)多量
 10. 黒褐色土 締り有、ロームブロック(10cm)少量、ローム粒(〜3mm)多量
 11. 暗褐色土 締りやや有、ロームブロック(10cm)やや多量、ローム粒(〜5mm)極多量
 12. 暗褐色土 締り中や有、ローム粒(〜5mm)極多量
 13. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(10cm)多量、ローム粒(5mm〜)極多量
 14. 褐色土 締り有、O-ム主体、黒褐色土混入

第 24 図 神明後遺跡第 41 地点調査区東・南・西壁土層図 (1/60)

第X層まで掘下げ、分層した上で5cm単位で土壌のサンプルを採取し、分析した。(附編参照)

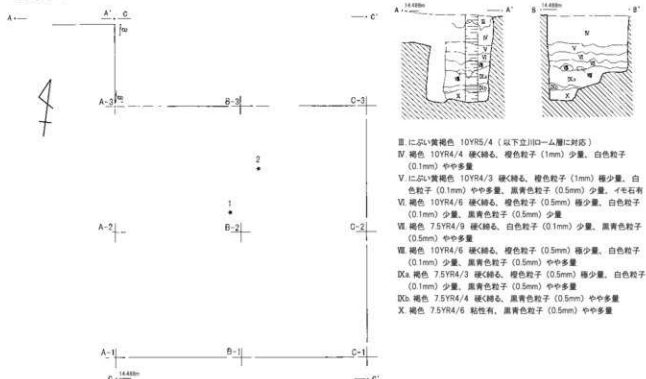
(2) 集石土坑 1

調査区の南西A-5区に位置する。

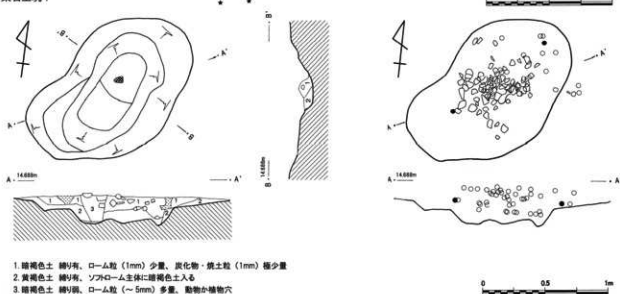
第12表 神明後遺跡第41地点集石一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 土坑確認面 | 底面 | 深さ | 縦範囲 | 横取 | 重量 (g) | 平均重量 (g) | 完形礫 | | 赤化 | | スス付礫 | | 備考 |
|-----|------|----------|---------|----|---------|-----|--------|----------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| | | | | | | | | | 個数 | 重量比 | 個数 | 重量比 | 個数 | 重量比 | |
| 1 | 楕円形 | 143 × 90 | 70 × 32 | 22 | 98 × 82 | 181 | 6,596 | 36 | 9 | 815 | 73 | 2,925 | 33 | 1,704 | 比較的礫密集。炭化材出土。 |
| | | | | | | | | | 5.0% | 12.4% | 40.3% | 44.3% | 18.2% | 25.8% | |

石器集中 1



集石土坑 1



第25図 神明後遺跡第41地点石器集中1 (1/60)・集石土坑1 (1/30)

(3) 木炭窯

①木炭窯 1

調査区の南側、B-2～F-1区にかけて位置する。土坑2・3と重複し、土坑3より新しく、土坑2に中央部分を分断される。

平面形態は東西に長い長方形で西側に煙道が、東側に焚口が付随する。窯体部の幅102cm・奥行き838cm・確認面からの深さ30cm前後である。床面は焚口側がわずかに低く、斜度は1%である。

主軸中央には浅い溝が焚口から煙道まで貫いている。溝の幅は25cm・床面からの深さは3～6cmである。焚口の手前には作業場と思われる平坦面が広がるが、土坑6及び溝5によって壊されている。

焚口は幅42cm・高さ20cm・奥行き12cm、断面楕円形のトンネル状を呈する。

煙道は奥壁の中心軸よりやや南側にあり、幅34cm・高さ22cm・奥行き50cmを測る。壁は酸化焙焼成している。

下層は木炭との混合土で部分的に木炭が残っている。煙道に近い側は床面の一部が酸化焙焼成で赤く焼け、覆土にも焼土粒が含まれる。

出土した木炭の総重量は4,528gである。

また、木炭の分析結果では、樹種がコナラ属コナラ節、AMS法による放射性炭素年代測定では560±20年BP(AD1310～1360年、AD1390～1420年)の結果が得られた。

②木炭窯 2

調査区の南側、I-2～I-1区にかけて位置する。土坑1・16やピットと重複し、土坑16より新しく、土坑1・P152～P153より古い。また、南側は調査区外へ延びる。

窯体部の幅96cm・検出した奥行き290cm・確認面からの深さ12cmである。

下層は木炭主体の混合土である。

出土した木炭の総重量は3,048gである。

また、木炭の分析結果では、樹種がコナラ属クヌギ節、AMS法による放射性炭素年代測定では600±20年BP(AD1300～1370年、AD1380～1410年)の結果が得られた。

(4) 掘立柱建物跡 1

1棟検出した。調査区南西側I-3区からI-1区に位置する。一間四方の東西方向に長い長方形を呈する。柱穴の芯々間で東西230×南北435cmを測る。土坑1・

土坑16より古い。

P3から底面に板状圧痕のあるカワラケが出土した。

出土遺物から時期は14世紀。

(5) 竪穴建物 (旧土坑8・9)

調査区西端E-4からE-2区に位置する。西側は第2地点の土坑19と連続する。同一規模・同一形態の土坑は第2地点でもう1基検出しており、南側に一部張出しの有る長方形竪穴状の遺構になる。全長423×幅240×深さ45cm、張り出し部分は奥行き170×幅135cmを測る。P89・P90より古い。主軸線上には柱穴が3基並ぶ。また、北側の床面には60×45cmの範囲に不定形な浅い掘り込みがあり、薄い炭化層の上に赤化した粘土の焼土跡を3カ所検出した。

(6) 土坑

14基検出した。

①土坑 1

調査区南側H-1区に位置する。東西方向の楕円形を呈する。溝状土坑1・溝5・P8・P21より古く、掘立柱建物跡(P3)・木炭窯2より新しい。カワラケ片が出土した。

②土坑 2

調査区南側H-1区に位置する。C-2区からE-2区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝状土坑2・P9・P14・P15・P16より古く、木炭窯1・土坑3・P10・P64～P75より新しい。カワラケ片、釘、刀子、スサ入り粘土塊が出土した。

③土坑 3

調査区南側D-2区からE-1区に位置し、南側の調査区域外へ延長する。方形もしくは長方形を呈する。土坑2・木炭窯1より古く、P125～P130より新しい。

④土坑 4

調査区南側F-2区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝状土坑3～5・土坑6・P18・P37・P38より古く、木炭窯1・土坑2・P17より新しい。スサ入り粘土塊が出土した。

⑤土坑 6

調査区南側F-2区からG-1区に位置する。南北方向の長方形を呈する。溝状土坑5・溝5・P20・P62より古く、木炭窯1(作業場)・土坑4・土坑13・P109より新しい。

⑥土坑 7

調査区中央E-5区からG-5区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝1・P78・P86より新しい。常

滑鉢片が出土した。

⑧土坑 10

調査区南側 D-3 区から E-3 区に位置する。東西方向の長方形を呈する。土坑 11・P93・P97 より古く、P92・P94 より新しい。

⑨土坑 11

調査区南側 C-4 区から D-3 区に位置する。南北方向の長方形を呈する。土坑 10・P96・P98～P100・P121～P123 より新しい。

⑩土坑 12

調査区南側 F-4 区から H-3 区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝 5・土坑 14・P186 より古く、P137・P140・P141・P176～P184 より新しい。銅銭が出土した。

⑪土坑 13

調査区南側 F-3 区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝 5・土坑 6 より古く、土坑 14・P133・P142・P151・P187～P192 より新しい。

⑫土坑 14

調査区南側 G-3 区～H-2 区に位置する。東西方向の長方形を呈する。溝 5・土坑 13・P22 より古く、土坑 12・P196 より新しい。青磁碗口縁片・常滑裏片・瀬戸緑釉皿片が出土した。

⑬土坑 15

調査区南側 J-2 区から J-1 区に位置する。不定形な楕円形で浅い鉢状を呈する。溝状土坑 7・8 より古く、ビットより新しい。常滑裏片が出土した。

⑭土坑 16

調査区南側 I-3 区～I-2 区に位置する。南北方向の長方形を呈する。木炭窯 2・土坑 14・P155 より古く、掘立柱建物跡 (P4)・P171～P175・P194 より新しい。土師器片・常滑裏片・瓦・瀬戸おろし皿片・焙烙片が出土した。

(7) 溝状土坑 (イモビツ)

平面は細長い長方形、断面角型でイモ類を貯蔵するための「イモビツ」と思われる。土坑や溝等よりも新しい。11 基検出した。

(8) ビット

211 基検出した。規模や新旧関係等は一覧表のとおりである。

(9) 溝

①溝 1

調査区の中央 A-6 区から J-4 区にかけて東西方向に

位置する。第 2 地点で検出した溝と連続する。第 2 地点からの総延長距離は 38m になる。断面形態は逆台形の箱築研で D-6 区で南側へ僅かに屈曲し、東側で立ち上がる。土坑 7 や溝状土坑と重複し、土坑などは溝の埋没後に構築されている。常滑の裏破片やカワラケが出土した。

土坑やビット等主要な遺構の大半が溝の南側に集中し、北側で検出する遺構は僅かである事から、屋敷地等の区画溝である可能性が高い。

②溝 2

調査区の東側、J-7 区から J-10 区にかけて南北方向に位置する。深さ 10 cm 前後の浅い溝で、北側で幅も狭くなり立ち消える。

③溝 3

調査区の東側、H-9 区から H-10 区にかけて南北方向に位置する。深さ 10 cm 前後の浅い溝で、北側で溝 4 に重なり立ち消える。

④溝 4

調査区の北側 A-12 区から H-12 区まで東西方向そこで直角に方向を変え H-14 区まで調査区域外へ延長する。深さ 15 cm 前後の浅い溝で、土層観察から、比較的新しい溝である。

⑤溝 5

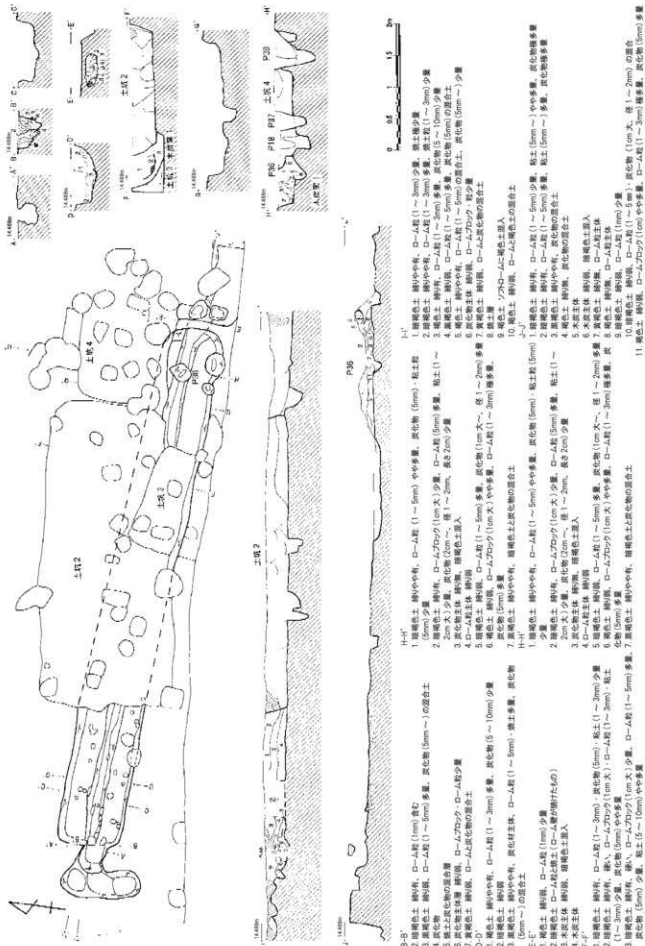
調査区の南側 G-3 区から G-1 区にかけ南北方向に位置する。土坑 1・6・12・14 と重複し、土坑埋没後に構築されている。断面は底幅の広い箱築研だが、立ち上がりには比べ確認面の傾斜は緩い。土坑の埋め土内の軟質土に構築された影響もあろう。

⑥溝 6

調査区の北側 A-10 区から F-10 区まで東西方向に位置する。深さ 20 cm 前後で、立ち上がりも垂直に近く、幅広のイモビツの呈をなす。土層観察から、比較的新しい溝である。

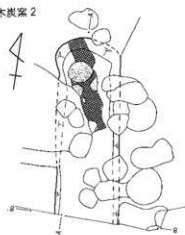
⑦溝 7

調査区の北側 A-9 区から C-9 区まで東西方向に位置する。深さ 30 cm 前後で、立ち上がりは垂直で、幅広のイモビツの呈をなす。土層観察から、比較的新しい溝である。



第 26 図 神明後遺跡第 41 地点木炭窯 1(1/60)

木炭窯 2



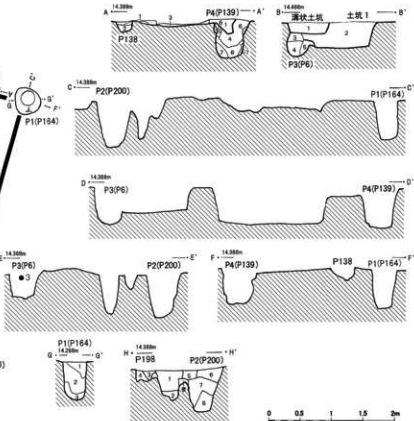
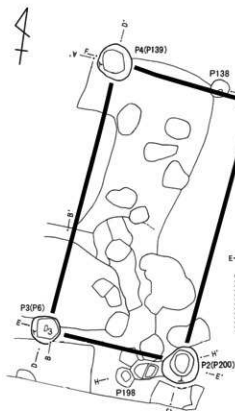
A-A'

18. 黒褐色土 締り有、ローム粒(～3mm)少量、焼土(5mm～)多量、炭化物(2cm～)極多量
 19. 黒褐色土 締り弱、炭化物主体、ローム粒、焼土粒含む、ベースは暗褐色土
 20. 黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1～3mm)多量、炭化物少量

B-B'

1. 黒褐色土 締り弱、表土
 32. 黒褐色土 締り有、焼土粒(5mm～)多量、炭化物(1cm～)極多量
 33. 暗褐色土 締りやや有、ロームブロック(～3cm大)やや多量、ローム粒(～5mm)極多量、炭化物少量

掘立柱建物跡 1



A-A'

1. 黒色土 締り有、ローム粒(1～3mm)極多量
 2. 黄褐色土 締り有、ソムロームに黒褐色土混入
 3. 黒褐色土 締り有、ロームと黒褐色土(1層)の混合土
 4. 黒褐色土 締り有、ローム粒(1～5mm)極多量(1層より多量)
 5. 黒褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(1～5mm)極多量、ローム粒(炭状)多量
 6. 黄褐色土 締り強い、ロームブロック主体、黒色土混入
 7. 黒褐色土 締り強い、黄褐色土ロームの混合土

B-B'

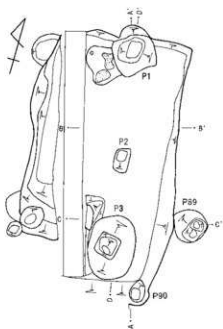
1. 黒褐色土 締り弱、ビニールごみ含む(炭状土坑)
 2. 暗褐色土 締りやや有、ロームブロック(1cm)少量、ローム粒(1～5mm)多量(土粒1)
 3. 褐色土 締りやや有、ローム粒(1～5mm)極多量(P3/P16)
 4. 黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1～5mm)多量(P3/P16)
 5. 暗褐色土 締りやや有、2層と同じで色が黒い(P3/P16)

G-G'

1. 褐色土 締り有、ローム粒(～5mm)と暗褐色土の混合土
 2. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(～5mm)極多量
 3. 暗褐色土 締り強い、ロームブロック(～3cm大)多量、ローム粒(～5mm)極多量
 H-H'

1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(～5mm)多量、炭化物少量
 2. 褐色土 締り弱、ローム粒主体
 3. 黒褐色土 締り有、ローム粒(5mm～)極多量、炭化物少量
 4. 褐色土 締り有、ロームブロック(～2cm大)少量
 5. 暗褐色土 締り有、ローム粒塊(2cm大)含む
 6. 暗褐色土 締り有、ローム粒(～3mm)少量
 7. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(～3mm)やや多量
 8. 黒褐色土 締り有、ロームブロック(～2cm大)やや多量、ローム粒(～3mm)極多量

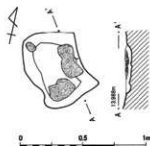
竪穴建物跡 1



A-A'・B-B'・C-C'

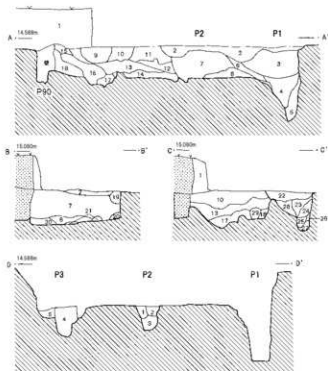
- 1 表土
- 2 黒褐色土 締りやや有、ローム粒 (1~3mm) 少量
- 3 暗褐色土 締り有、ローム粒 (1~5mm) 多量、炭土粒 (~5mm) 少量、炭化物 (~5mm)・粘土極少量
- 4 黒褐色土 締りやや有、ロームブロック (1cm) 極少量、ローム粒 (1~3mm) 少量
- 5 褐色土 締り弱、ローム粒主体、暗褐色土混入
- 6 暗褐色土 締り有、ローム粒 (5mm~) 多量、焼土粒・粘土粒 (1mm) 極少量
- 7 黒褐色土 締り有、ローム粒 (1~3mm) 多量、炭化物 (1mm)・粘土粒 (1cm 大) 極少量
- 8 褐色土 締り有、ロームブロック (1cm 大)・ローム粒 (1~3mm) 極多量
- 9 黒褐色土 締りやや有、ローム粒 (1~3mm) 炭化物 (1~10mm) 少量
- 10 暗褐色土 締りやや有、ローム粒 (1~3mm) 少量、炭化物 (1~5mm)・粘土粒 (~3mm) 極少量
- 11 暗褐色土 締りやや有、ローム粒 (1~5mm) 極多量、炭化物・粘土 (~3mm) 極少量
- 12 黒色土と暗褐色土の混合土 全てブロック状
- 13 暗褐色土 締り有、ローム粒 (1~5mm) 多量、粘土粒 (~3mm) 極少量
用器と若干サクサクする
- 14 褐色土 締り有、ロームブロック (1~5cm 大)・ローム粒 (1~5mm) 極多量、炭化物・粘土 (~5mm) 極少量
- 15 暗褐色土 締りやや有、ローム粒 (1mm)・炭化物・焼土粒 (1mm) 少量
- 16 暗褐色土 締り有、ローム粒 (5mm~) 多量、焼土粒 (~5mm) 中や多量、炭化物 (1mm) 極少量、粘土粒 (~5mm) 少量
- 17 黒褐色土 締りやや有、ローム粒 (1mm)・炭化物 (5mm)・焼土粒 (5mm) 少量

焼土跡



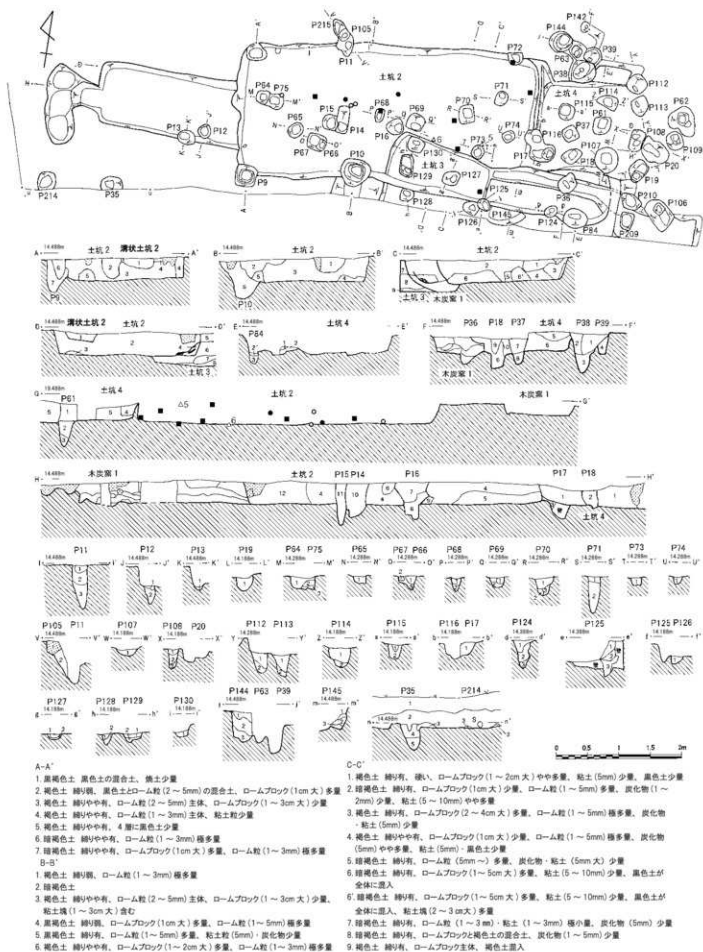
50

- 1 白~褐色土 締り弱いが6.5s、焼土・粘土
- 2 皮層 締り有、炭化物主体
- 3 褐色土 締り弱、ローム粒主体、炭化物混入



- 18 暗褐色土 締り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒 (~5mm) 極多量、炭土粒 (5mm)・炭化物・粘土粒 (1mm) 少量
- 19 黒褐色土 締り有、暗褐色土ブロック (10cm 大)、ローム粒 (1~3mm) 多量、炭化物 (1mm)・粘土粒 (1cm 大) 極少量
- 20 褐色土 締り有、ロームブロック (~3cm 大) の混合土
- 21 黒褐色土 締り有、ロームブロック (3cm 大) 多量、ローム粒 (1~3mm) 多量、炭化物 (1mm)・粘土粒 (1cm 大) 極少量
- 22 暗褐色土 締り有、ローム粒 (1~5mm) 極多量
- 23 暗褐色土とローム粒 (1~5mm) の混合土、ロームブロック (1cm 大) 多量
- 24 ロームブロック (1~3cm 大) 主体 締り有、黒褐色土混入
- 25 黒褐色土 締りやや有、ロームブロック (1cm 大) 多量
- 26 ロームブロック主体、粘土粒 (1cm 大) 少量、黒褐色土少量混入
- 27 ロームブロック主体 締り弱
- 28 23層と似るが硬く締る
- 29 黒褐色土 締り有、ローム粒 (1~3mm)・焼土粒・炭化物 (1mm)・粘土少量
- 30 黒褐色土 締り有、暗褐色土ブロック (5cm 大) 混入
- D-D'
- 1 褐色土 締り弱、ロームブロック (1cm 大) 多量、ローム粒 (~5mm) 極多量
- 2 黒褐色土 締り有、ローム粒 (1~8mm) 多量
- 3 褐色土 締り有、ロームブロック (1cm~)・ローム粒 (1~8mm) 極多量
- 4 暗褐色土 締り弱、ロームブロック (~3cm) 少量、ローム粒 (~5mm) 極多量
- 5 黒褐色土 締り弱、ロームブロック主体、赤褐色

第 28 図 神明後遺跡第 41 地点竪穴建物跡 1 (1/60)、焼土跡 (1/30)



第29図 神明後遺跡第41地点土坑・ピット①(1/60)

D-0'

1. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)種多量(溝状土坑2)

2. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、炭化物(1~2mm)少量、粘土(5~10mm)やや多量(土坑2)

3. ロームブロック(土坑2)

4. 暗褐色土 砂り有、硬い、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、炭化物(5mm)少量、粘土(5~10mm)やや多量(木皮室1)

5. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)種少量、炭化物(5mm)少量、粘土(1~3mm)種少量(以下土坑3)

6. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(1~30cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、粘土(1mm)含む

7. 褐色土 砂り有、ロームブロックの混合土、炭化物(1~5mm)少量

8. 黒褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒(1mm)少量

E-E'

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量、炭化物種多量、粘土(5mm~)多量

2. 黒褐色土 砂りやや有、炭化物の混合土

3. 黒褐色土 砂り有、炭化物の混合土 炭層と同砂り付

F-F'

1. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(5mm)少量

2. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~3mm)やや多量

3. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~5mm)多量

4. 暗褐色土 砂りやや有、ロームブロック(10cm大)、ローム粒(1~5mm)少量

5. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)やや多量、粘土粒(5mm)、焼土粒(3mm)少量

6. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒(5~10mm)、焼土粒(1mm)、炭化物少量

7. 黒褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~5mm)、粘土粒(5mm)少量

8. 黒褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)少量

9. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)やや多量、炭化物(5mm)少量

10. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1mm)少量 P37によって影響を受けた

G-G'

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)少量、炭化物、粘土粒少量

2. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)少量

3. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~3mm)多量

4. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量

5. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土(5~10mm)少量

H-H'

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土(5~10mm)少量

2. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1mm)少量

3. 褐色土 砂り有、ローム粒(5mm)種多量

4. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、炭化物(1~2mm)少量、粘土(5~10mm)やや多量

5. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(1~50cm大)多量、粘土(5~10mm)少量、黒色土が全体に混入

6. 暗褐色土 砂り有、硬い、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、炭化物(1~2mm)少量、粘土(5~10mm)やや多量

7. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)少量、粘土粒(3mm)少量

8. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)やや多量、炭化物、粘土粒(1mm)少量

9. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)少量

10. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)やや多量

11. 暗褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)やや多量

12. 褐色土 砂りやや有、ローム粒(2~5mm)主体、ロームブロック(1~30cm大)少量

P11(土坑2に伴う)

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)多量

2. 褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm)少量、ローム粒(1~5mm)種多量、炭状のソフロームブロック少量

3. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~5mm)多量、色調は1層より明るい

P12

1. 黒褐色土 砂り硬い、ロームブロックの混合土、炭化物少量

2. 黒褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)やや多量

P13

1. 褐色土 砂り有、ロームブロック主体、暗褐色土混入

P19

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)種多量

P64・75(土坑2内)

1. 褐色土 砂り有、ローム主体、ロームブロック(10cm大)種多量

2. 褐色土 砂り有、ロームブロックと暗褐色土の混合土

3. 黄褐色土 砂りやや有、ロームブロック主体

P65(土坑2内)

1. 褐色土 砂り有、ロームブロックと暗褐色土の混合土

P66・67(土坑2内)

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

2. 黒褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)多量、炭化物、粘土1層より大きく少量

P68(土坑2内)

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

2. 黄褐色土 砂りやや有、ロームブロック主体

P69(土坑2内)

1. ロームブロック

2. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

P70(土坑2内)

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

2. 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(1~20cm大)少量

3. 黄褐色土 砂りやや有、ロームブロック主体

P71(土坑2内)

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

2. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)、ロームブロック(1~50cm大)少量

P73・74(土坑2内)

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多量、炭化物、粘土粒少量

P105-(11)

1. 褐色土 砂り有、ロームブロック(1~30cm大)多量、鉄

2. 褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)少量

P107

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(5mm~)多量、粘土(5mm~)やや多量、焼土、炭化物少量

P108

1. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~3mm)少量

2. 褐色土 砂り硬い、ローム粒(1~3mm)種多量

3. ロームブロック主体 砂り硬い

P112-113

1. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~3mm)少量

2. ロームブロック主体 砂り硬い

P114

1. 暗褐色土 砂り有、砂り硬い、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~3mm)多量、粘土(5mm)少量

2. ロームブロック主体 砂り硬い

P115

1. 黒褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)少量

2. 黒褐色土 砂り硬い、ロームブロック(10cm大)の混合土

P116

1. 暗褐色土 砂りやや有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(1~5mm)種多量

P124

1. 黒褐色土 砂り有、ローム粒(1~1mm)多量

2. 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(1~20cm大)少量、ローム粒(1~3mm)種多量

P125

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~1mm)多量

2. 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(1~20cm大)少量、ローム粒(1~3mm)種多量

3. 暗褐色土 ローム粒(1~5mm)の混合土、ロームブロック(10cm大)、炭化物、粘土粒少量

P126

1. 暗褐色土 砂りやや有、ローム粒(1~1mm)少量

P127

1. 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(1~20cm大)少量、ローム粒(1~3mm)種多量

2. 暗褐色土 ローム粒(1~5mm)の混合土、ロームブロック(10cm大)、炭化物、粘土粒少量

P128-129

1. 暗褐色土 ローム粒(1~5mm)の混合土、ロームブロック(10cm大)、炭化物、粘土粒少量

2. 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(1~20cm大)少量、ローム粒(1~3mm)種多量

P130

1. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~1mm)多量

P144

1. 暗褐色土 砂り有、硬い、ローム粒(1~5mm)種多量

2. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)種多量

3. 褐色土 砂り有、硬い、ロームブロック(10cm大)多量

P145

1. 褐色土 砂り有、ローム粒主体、黒色土混入

2. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~3mm)種多量

3. 黒褐色土 砂り硬い、ローム粒(1~3mm)多量

P35-214

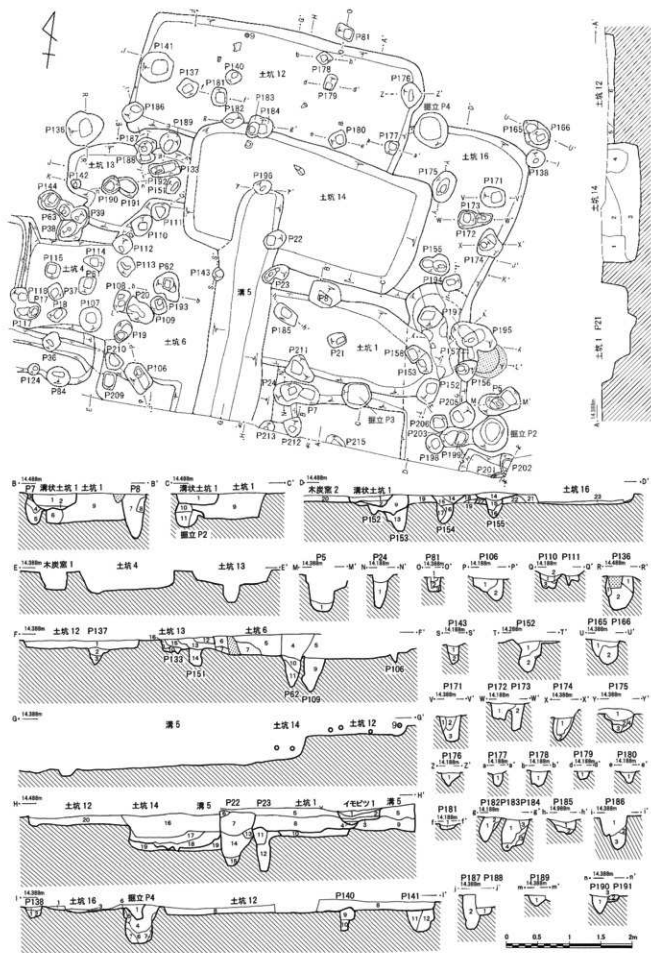
1. 灰土 黒褐色土 砂り有

2. 灰土 黒褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大が5~10の塊)炭状に混入

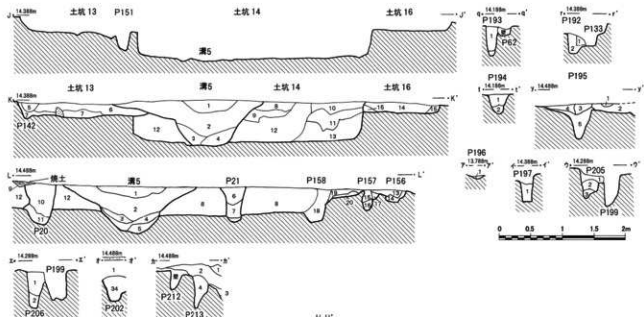
3. 黄褐色土 ソフローム

4. 暗褐色土 砂り有、ローム粒(1~5mm)種多量

5. 褐色土 砂り有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(1~5mm)多量、黒色土混入



第 31 図 神明後遺跡第 41 地点土坑・ピット② (1/60)



A-A'

1. 暗褐色土 締り肌、ロームブロック(30cm大-) 極多量
2. 褐色土 締り肌、ロームブロック(30cm大-) 極多量、暗褐色土混入
3. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(30cm大-) 主体
4. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 多量、粘土(1mm) 少量
5. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 多量、粘土(1mm) 少量、黒色土混入
6. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 中等多量、粘土(1mm) 少量
- B-B'-C-C'-D-D'
1. 黄褐色土 締り肌、ピニールごみ含む
2. 黄褐色土 締り肌、硬い、ローム粒(1〜5mm) 多量、イモビツの産の土、炭化物・粘土粒含む
3. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm以下) 多量
4. 褐色土 締り肌、ローム粒(0.5mm) 極多量
5. 褐色土 締り肌、ローム粒主体、ロームブロック少量
6. 暗褐色土 締り肌、ロームブロック(1cm大) 少量、ローム粒(1〜3mm) 多量
7. 暗褐色土 締り肌、硬い、ローム粒(1〜3mm) 多量、粘土粒(1mm) 極少量
8. 褐色土 締り肌、ローム粒主体、ロームブロック少量
9. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜3mm) 少量、ローム粒(1〜5mm) 多量
10. 褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 極多量
11. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量
12. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量
13. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 少量
14. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1mm)、焼土・炭化物少量
15. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 多量、炭化物(5mm) 中等多量
16. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 極多量、炭化物(5mm) 中等多量
17. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜3mm) 少量、粘土(30cm大) 少量
18. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(〜3mm) 少量、焼土(5mm-) 多量、炭化物(2cm-) 極多量
19. 黄褐色土 締り肌、炭化物主体、ローム粒・焼土粒含む、ベースは暗褐色土
20. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 多量、炭化物少量
21. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 少量、ローム粒(1〜3mm) 多量
22. 褐色土 締り肌、ローム粒主体、黒色土混入
23. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック・黒色土の混合土

F-F'

1. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大)・粘土ブロック(10cm大) 多量
2. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 多量、粘土(3mm) 少量
3. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 主体、焼土混入
4. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1cm大) 少量、粘土(1mm) 極少量
5. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量、粘土(5〜10mm) 少量、炭化物(〜3mm) 含む
6. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm)・粘土(1mm) 少量
7. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量、粘土(1〜2cm大) 少量
8. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量、粘土(5〜10mm) 少量
9. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 多量、ローム粒(〜5mm) 極多量
10. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 極多量
11. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm) 少量
12. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 中等多量、粘土(1mm) 少量
13. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 多量、粘土(1mm) 少量
14. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜3mm) 中等多量
15. 褐色土 締り肌、ローム粒(〜3mm) 極多量

H-H'

1. 黄褐色土 締り肌、ピニールごみ含む
2. 暗褐色土 締り肌
3. 暗褐色土 締り肌、ローム粒多量、黒(黒色)土塊、イモビツの産の土、炭化物・粘土粒含む
4. 暗褐色土 締り肌、ローム粒・黒色ブロック少量
5. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm) 少量
6. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 極多量
7. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm) 少量
8. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 中等多量、粘土粒(1〜3mm) 少量
9. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 極多量
10. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量、焼土粒少量
11. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量
12. 褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) の混合土
13. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1mm) 少量
14. 暗褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 少量、ローム粒(1〜5mm) 多量、炭化材少量
15. 黄褐色土 締り肌、ローム粒主体、混入無し
16. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量
17. 褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 極多量
18. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 多量、土が硬(水成)
19. 暗褐色土 締り肌、ロームブロック(3〜50cm大) の混合土
20. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大)・粘土ブロック(10cm大) 多量

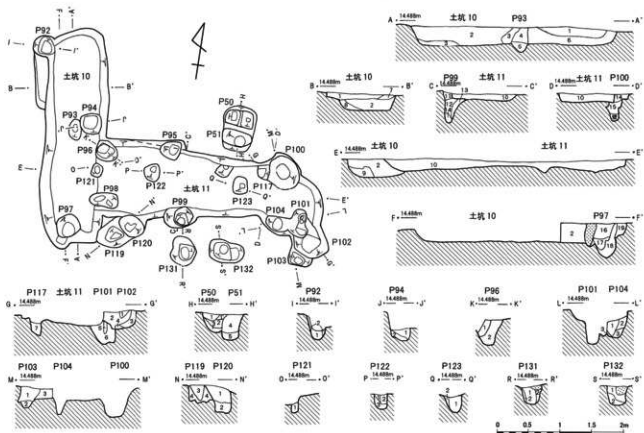
I-I'

1. 黒色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 極多量
2. 黄褐色土 締り肌、ソフトローム・黒褐色土混入
3. 黄褐色土 締り肌、ロームと黄褐色土(1層)の混合土
4. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 極多量(1層より多量)
5. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 少量、ローム粒(1〜5mm) 極多量、ローム粒(混状) 多量
6. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック主体、黒色土混入
7. 黄褐色土 締り肌、黄褐色土ロームの混合土
8. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大)・粘土ブロック(10cm大) 多量
9. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 多量、粘土(3mm) 少量
10. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 主体、褐色土混入
11. 黄褐色土 締り肌、暗褐色土の混合土、ローム粒(〜5mm) 極多量
12. 暗褐色土 締り肌、硬い、ロームブロック(10cm大) 少量、ローム粒(〜5mm) 極多量

K-K'

1. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜3mm) 極多量
2. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(1〜5mm) 多量、粘土(3mm) 少量
3. 暗褐色土 締り肌、ローム粒少量、粘土粒少量
4. 暗褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 少量、ローム粒(1〜5mm) 多量、炭化材少量
5. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 中等多量、黒色土ブロック(30cm大)、ロームブロック(30cm大) 含む
6. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 中等多量、粘土粒(1mm) 少量
7. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 主体、ロームブロック(10cm大) 多量
8. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 少量
9. 暗褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 少量
10. 褐色土 締り肌、ロームブロック(10cm大) 多量、ローム粒(〜5mm) 極多量、黒色土混入
11. 褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 主体、ロームブロック(10cm大) 多量
12. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(30cm大) 多量、暗褐色土混入
13. 黄褐色土 締り肌、ロームブロック(30cm大) 主体
14. 黄褐色土 締り肌、ローム粒(〜5mm) 中等多量
15. 褐色土 締り肌、ローム粒と黒色土の混合土

第 32 図 神明後遺跡第 41 地点土坑・ピット②土層図(1/60)



A-A' ~ F-F'

1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(1~20cm大)多量、ローム粒(1~5mm)極多量
2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(5mm~)極多量、粘土(粘土の塊状もの)、粘土(1~5mm)少量
3. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量
4. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1mm)少量
5. 黒褐色土 練り有、ロームブロックの混合土
6. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(50cm大)の混合土
7. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)多量、焼土(5mm)少量、粘土(1~5mm)やや多量
8. 褐色土 練り有、ローム粒主体
9. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)極多量
10. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm)少量、ローム粒(5mm~)極多量、粘土(5mm)少量
11. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)極多量、粘土(5mm)少量
12. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)極多量
13. 褐色土 練り有、ロームブロック主体
14. 褐色土 練り有、硬い、ローム粒(5mm~)極多量
15. 褐色土 練り有、硬い、ローム粒(5mm~)極多量
16. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量
17. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)極多量
18. 褐色土 練り有、ローム粒(10cm大)多量、ローム粒(1~5mm)極多量
19. 褐色土 練り有、硬い、ロームブロックと褐色土の混合土

G-G'

1. 黒褐色土 練り有、粘土粒(1~5mm)少量
2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)、炭化物少量・粘土粒(1~10cm)
3. 褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)極多量
4. ロームブロック 練り有
5. ロームブロック 練り有
6. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(1~5mm)極多量
7. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)やや多量、粘土少量

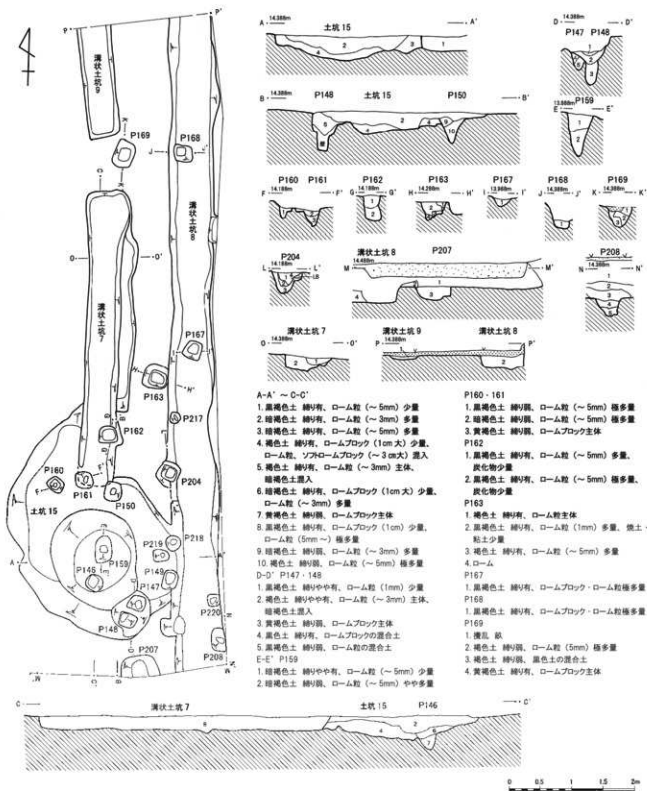
P50-51

1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(1~5cm)極多量
- 1' 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、ローム粒(1~5cm)極多量、粘土少量
2. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む
3. 褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土、粘土粒含む
4. 黒褐色土 練り有、やや硬い、ロームブロック(1~30cm大)多量、ローム粒(1~5mm)極多量、粘土粒(1mm)少量
5. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)多量

P92

1. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)少量
 2. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P94
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、粘土粒少量
 2. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P96
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土少量
 2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)・ローム粒(1~5mm)多量 P103(104・100)
 3. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)極多量、粘土少量
 4. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
 5. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒塊含む、黒褐色土ブロック P104(101)
- P104(101)
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒塊含む、黒褐色土ブロック
 2. ロームブロック主体 練り有
 3. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)極多量
 4. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P109-120
- P119-120
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、粘土粒少量
- P122
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)少量
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)少量、粘土少量
 3. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P123
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)多量、粘土粒少量
 2. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P131
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒塊含む、黒褐色土ブロック
 2. ロームブロック主体 練り有、硬い、黒褐色土混入
- P132
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~3mm)少量
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒(1~5mm)多量

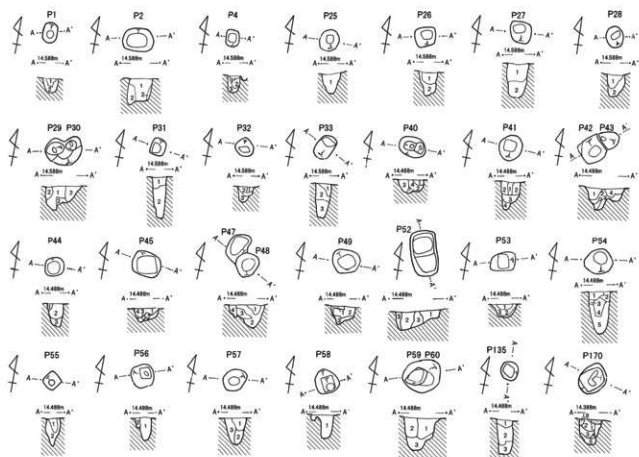
第33図 神明後遺跡第41地点土坑・ピット③土層図(1/60)



- P204
1. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (~3mm) や中多量
 2. 褐色土 締り弱、ローム粒主体
 3. 黄褐色土 締り有、ロームブロック主体
 4. 黒褐色土 締り弱、ローム粒多量
- M-M'
1. 黒褐色土 締り強い
 2. 黄褐色土 ソフトローム
 3. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 極多量
 4. 黒褐色土 硬く締る ローム粒 (5mm) 極多量、ロームブロック (10cm 大) 多量

- A-A' ~ C-C'
1. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 少量
 2. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (~3mm) 多量
 3. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 多量
 4. 褐色土 締り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒、ソフトロームブロック (~3cm 大) 混入
 5. 褐色土 締り有、ローム粒 (~3mm) 主体、暗褐色土混入
 6. 暗褐色土 締り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒 (~3mm) 多量
 7. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック主体
 8. 黒褐色土 締り有、ロームブロック (1cm) 少量、ローム粒 (5mm ~) 極多量
 9. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (~3mm) 多量
 10. 褐色土 締り弱、ローム粒 (~5mm) 極多量
- D-D' P147, 148
1. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (1mm) 少量
 2. 褐色土 締り有、ローム粒 (~3mm) 主体、暗褐色土混入
 3. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック主体
 4. 黒色土 締り有、ロームブロックの混合土
 5. 黒褐色土 締り弱、ローム粒の混合土
- E-E' P159
1. 暗褐色土 締りやや有、ローム粒 (~5mm) 少量
 2. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (~5mm) 中や多量
- P160 ~ 161
1. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (~5mm) 極多量
 2. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (~5mm) 極多量
 3. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック主体
- P162
1. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 多量、灰化物少量
 2. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 極多量、灰化物少量
- P163
1. 褐色土 締り有、ローム粒主体
 2. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (1mm) 多量、微土、粘土少量
 3. 褐色土 締り有、ローム粒 (~5mm) 多量
 4. ローム
- P167
1. 黒褐色土 締り有、ロームブロック・ローム粒極多量
- P168
1. 黒褐色土 締り有、ロームブロック・ローム粒極多量
- P169
1. 微乱 灰
 2. 褐色土 締り弱、ローム粒 (5mm) 極多量
 3. 褐色土 締り弱、黒色土の混合土
 4. 黄褐色土 締り有、ロームブロック主体

第34図 神明後遺跡第41地点土坑・ビット④土層図(1/60)



P1

1. 暗褐色土 締り強、ローム粒極少量

2. 褐色土 締り弱、ローム粒主体

P2

1. 褐色土 締り弱、ロームブロック(10cm大)少量、ローム粒の混合土

P4

1. 黄褐色土 締り強、黒色土混入、ローム主体

2. 黒色土 締り強、ローム粒(1~3mm)極少量

3. 黒色土 締り有、ロームブロック(10cm大)少量

P25

1. 黒色土 締り中やや有、ロームブロック・ローム粒少量

P26

1. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

2. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)少量

3. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量

P28

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

P29-30

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量

2. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

3. 暗褐色土 締り中やや有、ロームブロック(2~3cm大)多量

P31

1. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

2. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

P32

1. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

2. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

P33

P34

P35

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量

2. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量

3. 暗褐色土 締り弱、ロームブロック・ローム粒少量

P40

P41

P42

P43

P44

P45

P46

P47

P48

P49

P52

P53

P54

P55

P56

P57

P58

P59

P60

P135

P170

P41

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~3mm)少量

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土、粘土粒含む

3. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

4. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

P42-43

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

3. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

4. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~3mm)少量

P44

1. 締り中やや有、ローム粒主体

2. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)極少量、粘土粒含む

3. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

P45

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

2. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

3. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒少量

4. ソフトローム

P47-48

1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土、粘土粒含む

3. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)多量

4. 黄褐色土 締り有、ロームブロック(1~5cm大)多量、黒褐色土混入

P49

1. 褐色土 締り有、ロームブロック多量

2. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

3. 黄褐色土 締り中やや有、ロームブロック(1~5cm大)多量

4. ソフトローム

P52

1. 暗褐色土 締り有、ローム粒少量

2. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(10cm大)・粘土(5~10mm)多量

3. 暗褐色土 締り弱、炭化物(~5mm)少量、粘土(~5mm)多量

P53

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒含む

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土、粘土粒含む

3. ソフトローム

P54

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒少量

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)極少量、粘土粒少量

3. ロームブロック

P55

4. 黄褐色土 粘土ブロックの混合土

5. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)多量、粘土粒少量、1層が砂子(~5mm)大さい

P56

1. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(1~5mm)極少量

2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

3. 黄褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

4. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

5. 褐色土 ソフトローム

P57

1. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

2. 褐色土 締り弱、ローム粒極少量

3. 黄褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

P58

1. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

2. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

3. 黄褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)と黒色土の混合土

P59-60

1. 褐色土 締り弱、ロームブロック(10cm大)の混合土、ローム粒(~5mm)極少量、粘土無し

2. 褐色土 締り有、硬い、ロームブロック(10cm大)の混合土、ロームブロック少量

3. ロームブロック主体 締り弱

P135

1. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm)の混合土

2. 暗褐色土 締り中やや有、ローム粒(~3mm)少量

3. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック(~2cm大)少量、ローム粒(~3mm)極少量

P170

1. 混乱状

2. 褐色土 締り弱、ローム粒主体

3. 黄褐色土 締り強、ロームブロック主体、黒色土少量混入

4. 黒色土 締り有、ロームブロック・ローム粒多量

5. 褐色土 締り弱、ローム粒極少量

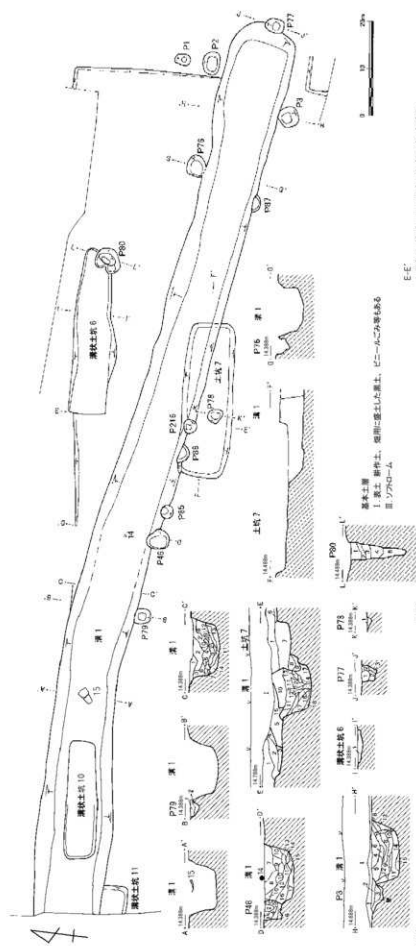
第35図 神明後遺跡第41地点ピット(1/60)

L-L'

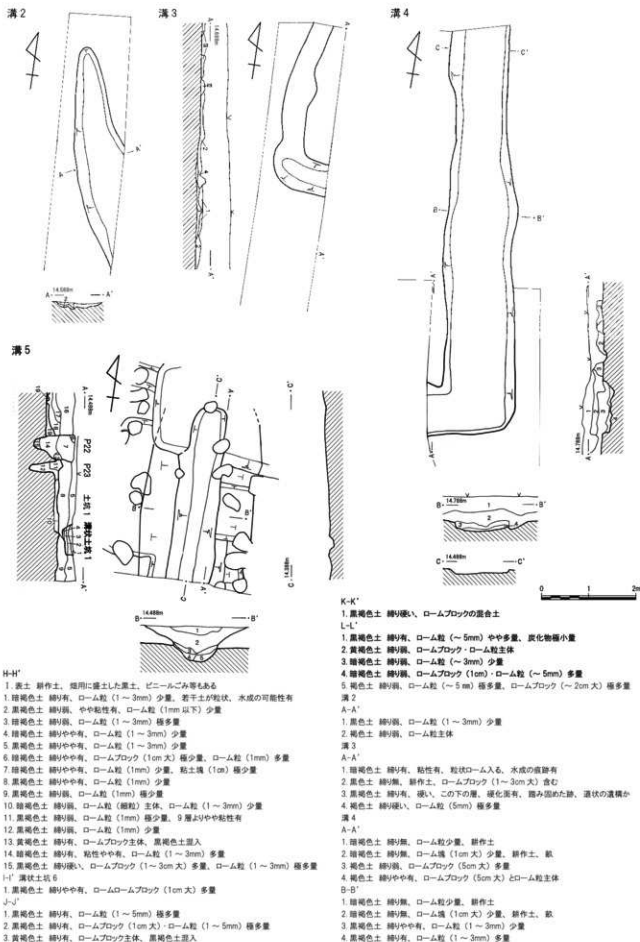
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1mm) 少量
 2. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1～3mm) やや多量、粘土粒 (1～3mm) 少量
 3. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1mm) 少量、2層よりやや茶色
 4. 暗褐色土 練り有、やや硬い、ローム粒 (1～3mm) 多量
 5. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1～5mm) 極多量
 6. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1～3mm) 少量
 7. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1～3mm) 多量
 8. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (1cm) 少量、ローム粒 (1～5mm) 多量
 9. 赤色土 練り有、黒色土が混じり
 10. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (3mm)・粘土粒 (1mm) 少量
 11. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大)・ローム粒 (1～5mm) 多量
 12. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1～5mm) 多量、粘土 (5～10mm) 少量
 13. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (5mm)、遊状 磁器
 14. 黄褐色土 練り有、ソフトローム状
 15. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1mm) 少量
 16. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
 17. 褐色土 練り有、ソフトローム状
 18. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm)・焼土粒・炭化物少量
 19. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量、焼土 (5mm～) 多量、炭化物 (2cm～) 極多量
 20. 黒褐色土 練り有、炭化物主体、ローム粒・焼土含む、ベースは暗褐色土 (19層)
- P5・24
1. 褐色土 練り有、ローム粒極多量
- P8
1. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 多量、粘土 (1cm～) 少量
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm)・粘土 (～3mm) 多量
 3. 黒褐色土 練り硬い、ローム粒 (～5mm) の混合土
- P106
1. 暗褐色土 練り硬い、ロームブロック (1cm 大) 極多量、炭化物・焼土・粘土少量
 2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P110・111
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒 (～5mm) 多量、粘土少量
 2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 極多量、ローム粒 (～5mm) 多量、粘土少量
 3. 褐色土 練り硬い、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P136
1. 黒褐色土 練り硬い、ローム粒 (5mm) の混合土
 2. 褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 多量、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P143
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 黄褐色土 練り有、ロームブロック主体
- P152
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 多量
 2. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P165・166
1. 黒褐色土 練り有、ローム遊状、ローム粒 (5mm) 多量
 2. 黒褐色土 練り硬い、ロームの混合土
- P171
1. 褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 極多量、ローム粒含む
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量
 3. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (～3cm 大) 多量、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P172・173
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P174
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量
 2. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (～3cm 大) 多量、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P175
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量
 3. 暗褐色土 練り有、ローム粒極多量
 4. 黄褐色土 練り有、ロームブロック主体
- P176
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロックの混合土、粘土少量
- P177
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック・ローム粒極多量

P178

1. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm)・粘土少量
- P179
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm)・粘土少量
- P180
1. 褐色土 練り有、黒色土の混合土
- P181
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P182・183・184
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (5mm) の混合土
 3. 暗褐色土 練り有、ロームブロックの混合土
 4. 暗褐色土 練り有、ロームブロックの混合土、粘土混入
- P185
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (～3cm 大) 多量、ローム粒 (～5mm) 極多量
 2. 褐色土 練り有、黒色土の混合土
- P186
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 暗褐色土 練り有、ロームブロックの混合土
 3. 黒褐色土 練り有、1層よりローム粒少量
- P187・188
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック (1cm～)・ローム粒 (5mm～) 極多量
 2. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (1cm～)・ローム粒 (5mm～) 極多量
- P189
1. 暗黒褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm)・粘土少量
- P190・191
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量
 2. 黒色土 練り硬い
 3. 黒色土 練り硬い、ロームの混合土
- P192・193
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
 2. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P193・62
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P194
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量
 2. 黄褐色土 練り有、ロームブロック主体
- P195
1. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (1mm)・焼土・炭化物少量
 2. 黒褐色土 練り有、炭化物主体、ローム粒・焼土含む、ベースは暗褐色土
 3. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1mm) 少量
 4. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (～3cm 大) 少量、ローム粒 (～5mm) 多量
 5. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P196
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量
- P197
1. 黒褐色土 練り有、ロームブロック少量、ローム粒 (～3mm) 極多量、炭化物含む
- P202
1. 礫土 ローム、瓦等
 34. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 多量
- P205・199
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量
 2. 黒褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量、粘土粒少量
 3. 褐色土 練り有、ロームブロック・ローム粒主体
- P206・199・203
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量、粘土粒少量
 2. 暗褐色土 練り有、ロームブロック (1cm 大) 少量、ローム粒 (～5mm) 極多量
- P212
- 壁
- P213
1. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (1mm) 少量
 2. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) やや多く、炭層少量
 3. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～3mm) 少量
 4. 暗褐色土 練り有、ローム粒 (～5mm) 極多量

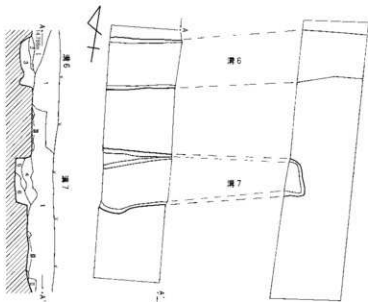


第37図 神明後遺跡第41地点溝1・土坑・ピット (1/80)



第38図 神明後遺跡第41地点溝2~5(1/80)

溝 6・7



A-A'

1. 黒褐色土 締り弱、ビニールごみ含む
2. 暗褐色土 締り弱
3. 暗褐色土 締り弱、ローム粒多量、薄く、黒色土塊、イモビツの底の土、炭化物、粘土粒含む
4. 暗褐色土 締り弱、ローム粒・黒色ブロック少量
5. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1mm)少量
6. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)極多量
7. 暗褐色土 締りやや弱、ローム粒(1mm)少量
8. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)中や多量、粘土粒(1~3mm)少量
9. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)極多量
10. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)多量、焼土粒少量
11. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)多量
12. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)の混合土
13. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1mm)少量
14. 暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(1~5mm)多量、炭化材少量
15. 黒褐色土 締り弱、ローム粒主体、置入土無し
16. 暗褐色土 締り中や弱、ローム粒(1~5mm)多量
17. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)極多量
18. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)多量、土が粒状(水成)
19. 暗褐色土 締り弱、ロームブロック(3~5cm大)の混合土

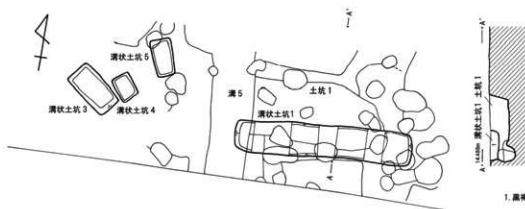
B-B'

1. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1mm)少量
2. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)中や多量、粘土粒(1~3mm)少量
3. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1mm)少量、2層よりやや灰色
4. 暗褐色土 締り弱、やや硬い、ローム粒(1~3mm)多量
5. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)極多量

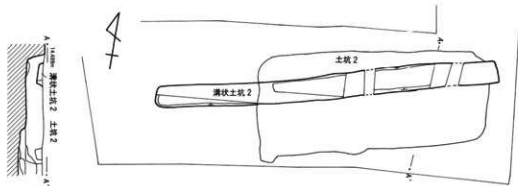
溝 6・7 A-A'

1. びら穴、ビニール出土
2. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)少量
3. 褐色土 締り中やや弱、黒色土の混合土、ロームブロック(1~3cm大)多量、ローム粒(1~5mm)極多量
4. 黒色土 締り中やや弱、ローム粒(1~3mm)多量
5. 黒色土 締り弱、ロームブロック(1~3cm大)・ローム粒(1~5mm)多量
6. 暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(1~5mm)極多量

溝状土坑 1~5



1. 黒褐色土 締り弱、ビニールごみ含む



1. 暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1cm大)少量、ローム粒(1~5mm)極多量

0 1 2m

第 39 図 神明後遺跡第 41 地点溝 6・7・溝状土坑 1~5(1/80)

第13表 神明後遺跡第41地点遺構一覧表 (単位cm)

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 | | | | | | |
|-------|---------------------------------|-------------|-------------|------------|---|----|----------------------------|----------|---------|-----------|-----------|
| 本炭窯1 | 隅丸長方形 竪口 煙道 | 838 × 102 | 810 × 80 | 30 | 年代測定結果 AD1310-1360、 AD1390-1420 | | | | | | |
| | | 42 × 12 | | 20 | | | | | | | |
| | | 34 × 50 | | 22 | | | | | | | |
| 本炭窯2 | 隅丸長方形 | (290) × 96 | (215) × 80 | 12 | 年代測定結果 AD1380-1370、 AD1380-1410 | | | | | | |
| 竪立柱P1 | 楕円形 | 42 × 38 | 23 × 23 | 60 | 旧P164 打製石斧1 | | | | | | |
| 竪立柱P2 | 楕円形 | 57 × (56) | 29 × 22 | 74 | 旧P200 | | | | | | |
| 竪立柱P3 | 方形 | 46 × 42 | 34 × 33 | 56 | 旧P6、 カワラケ1 | | | | | | |
| 竪立柱P4 | 方形 | 54 × 54 | 36 × 33 | 63 | 旧P139 | | | | | | |
| 竪穴建物 | 長方形 | 423 × 240 | 380 × 200 | 45 | 旧8・9号土坑 縄文土器3、カ ワラケ5、天目 1、土製品1 | | | | | | |
| | | | | | | P1 | 方形 | 63 × 60 | 26 × 20 | 139 | 旧P83カワラケ1 |
| | | | | | | P2 | 方形 | 39 × 24 | 18 × 13 | 40 | 旧P118 |
| | | | | | | P3 | 隅丸方形 | 102 × 74 | 17 × 9 | 104 | 旧P134 |
| 溝1 | 東西南北 の直線 19.1m、断面 逆台形。 | 115 ~ 147 | 67 ~ 100 | 59 ~ 69 | 縄文土器10、磨 石1、カワラケ2、 常滑器3、在地 跡1、粘土塊1 | | | | | | |
| | | | | | | 溝2 | 東北方向の直 線4.7m、断面 逆台形。 | 35 ~ 106 | 9 ~ 75 | 9 ~ 12 | 粘土塊1 |
| 溝3 | 東北方向の直 線4.7m、断面 逆台形。 | 40 ~ 67 | 23 ~ 37 | 4 ~ 11 | 縄文土器3 | | | | | | |
| 溝4 | 南北方向に 8.7m。 | 108 ~ 153 | 76 ~ 120 | 11 ~ 34 | | | | | | | |
| 溝5 | 南北方向に 3.7m。 | 70 ~ 96 | 30 ~ 49 | 65 ~ 71 | 縄文土器5、土 師器1、カワラ ケ1 | | | | | | |
| 溝6 | 東西南北に 8.8m。 | 95 ~ 110 | 90 | 24 | | | | | | | |
| 溝7 | 東西南北に 4.5m。 | 75 ~ 138 | 62 ~ 88 | 33 | | | | | | | |
| 土坑1 | 楕円形 | (287) × 135 | (260) × 105 | 44 | 縄文土器1、カ ワラケ2、土器1 | | | | | | |
| 土坑2 | 長方形 | 467 × 213 | 460 × 198 | 42 | 縄文土器2、カワ ラケ2、釘1、刀 子1、粘土塊8 | | | | | | |
| 土坑3 | 方形 | 163 × 85 | 156 × 72 | 18 | | | | | | | |
| 土坑4 | 長方形 | (165) × 142 | (160) × 124 | 34 | 縄文土器3、粘 土塊2 | | | | | | |
| 土坑5 | | | | | 本炭窯1作業場 | | | | | | |
| 土坑6 | 長方形 | 280 × 一 | 271 × 一 | 17 | | | | | | | |
| 土坑7 | 長方形 | 325 × 108 | 308 × 86 | 66 | 常滑器1 | | | | | | |
| 土坑8 | | | | | 竪穴建物へ変更 | | | | | | |
| 土坑9 | | | | | 竪穴建物へ変更 | | | | | | |
| 土坑10 | 長方形 | 339 × 98 | 310 × 73 | 35 | 縄文土器1 | | | | | | |
| 土坑11 | 長方形 | (355) × 125 | (343) × 109 | 22 | 縄文土器2 | | | | | | |
| 土坑12 | 長方形 | 452 × 192 | 420 × 171 | 32 | 縄文土器2粘土 塊1、錢貨1 | | | | | | |
| 土坑13 | 長方形 | (189) × 140 | (178) × 110 | 31 | | | | | | | |
| 土坑14 | 長方形 | 390 × 200 | 350 × 163 | 63 | 縄文土器1、常 滑器1、青磁碗1、 瀬戸輪軸皿1 | | | | | | |
| 土坑15 | 楕円形 | 350 × (248) | 100 × 87 | 50 | 縄文土器2、常 滑器1、本炭 | | | | | | |
| 土坑16 | 長方形 | 284 × (206) | 262 × (196) | 17 | 縄文土器1、土 師器1、常滑器 1、瓦1、瀬戸 御皿1、粘着1 | | | | | | |
| 溝敷柱1 | 長方形 | 376 × 71 | 359 × 65 | 24 | 縄文土器1、肥 前染付碗1 | | | | | | |
| 溝敷柱2 | 長方形 | 707 × 56 | 695 × 43 | 18 | 縄文土器1、カワ ラケ1常滑器1 | | | | | | |
| 溝敷柱3 | 長方形 | 196 × 55 | 90 × 42 | 12 | 天目茶碗1 | | | | | | |

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|--------|------|-------------|------------|----|----------------------|
| 溝状土坑4 | 長方形 | 51 × 38 | 43 × 30 | 6 | |
| 溝状土坑5 | 長方形 | 79 × 42 | 68 × 36 | 13 | |
| 溝状土坑6 | 長方形 | (350) × 92 | (346) × 72 | 10 | |
| 溝状土坑7 | 長方形 | (468) × 57 | (458) × 42 | 27 | 瀬戸輪軸杵1 |
| 溝状土坑8 | 長方形 | (1300) × 77 | 一 × 56 | 27 | 肥前染付3、丹波 漆1、瀬戸灰桶1 |
| 溝状土坑9 | 長方形 | (176) × 55 | (170) × 39 | 10 | |
| 溝状土坑10 | 長方形 | 243 × 67 | 241 × 59 | 18 | |
| 溝状土坑11 | 長方形 | (60) × 55 | (50) × 50 | 16 | |
| P1 | 方形 | 27 × 25 | 14 × 13 | 21 | |
| P2 | 方形 | 45 × 42 | 17 × 15 | 43 | |
| P3 | 方形 | 43 × 40 | 14 × 13 | 18 | 溝1より新 |
| P4 | 方形 | 25 × 20 | 13 × 12 | 28 | |
| P5 | 方形 | 67 × 38 | 11 × 5 | 69 | |
| P6 | 欠 | | | | 竪立柱P3 |
| P7 | 不明 | (34) × 31 | 24 × 16 | 44 | 溝状1より古 |
| P8 | 方形 | 52 × 42 | 24 × 10 | 76 | 土坑1より新 |
| P9 | 方形 | 34 × 33 | 17 × 14 | 54 | 土坑2より新 |
| P10 | 三角形 | 48 × 43 | 16 × 14 | 50 | 土坑2より古 |
| P11 | 不明 | 31 × 33 | 12 × 11 | 71 | カワラケ2 |
| P12 | 方形 | 20 × 18 | 14 × 11 | — | |
| P13 | 方形 | 29 × 21 | 15 × 12 | — | |
| P14 | 方形 | 44 × 25 | 19 × 14 | 25 | 土坑2より新 |
| P15 | 方形 | 24 × 24 | 19 × 14 | 38 | 土坑2より新 |
| P16 | 方形 | 24 × 22 | 13 × 12 | 29 | 土坑2より新 粘土塊1 |
| P17 | 不整形 | 39 × 30 | 13 × 10 | 28 | 土坑4より古 板1 |
| P18 | 方形 | 27 × 20 | 16 × 11 | 24 | 土坑4より新 |
| P19 | 方形 | 33 × 25 | 11 × 10 | 41 | |
| P20 | 方形 | 46 × 34 | 29 × 12 | 27 | 土坑6より新 |
| P21 | 方形 | 28 × 20 | 13 × 9 | 19 | 土坑1より新 |
| P22 | 方形 | 36 × 27 | 15 × 13 | 35 | 土坑14より新 |
| P23 | 不整形 | 45 × 26 | 8 × 4 | 79 | 溝5より古 |
| P24 | 不明 | (44) × 37 | 13 × 11 | 70 | |
| P25 | 隅丸方形 | 34 × 30 | 13 × 12 | 36 | |
| P26 | 方形 | 34 × 29 | 19 × 14 | 41 | |
| P27 | 方形 | 33 × 32 | 19 × 13 | 57 | |
| P28 | 隅丸方形 | 32 × 27 | 16 × 9 | 37 | |
| P29 | 楕円形 | 29 × 20 | 11 × 6 | 40 | |
| P30 | 方形 | 26 × 20 | 9 × 5 | 35 | |
| P31 | 方形 | 28 × 23 | 16 × 13 | 70 | |
| P32 | 方形 | 30 × 26 | 14 × 9 | 26 | |
| P33 | 方形 | 40 × 27 | 24 × 15 | 47 | |
| P34 | 欠 | × | × | | |
| P35 | 不明 | 35 × (21) | 14 × 14 | 66 | |
| P36 | 方形 | 29 × 25 | 14 × 5 | 23 | 本炭窯1より古 |
| P37 | 方形 | 23 × 23 | 13 × 12 | 33 | 土坑4より新 |
| P38 | 方形 | 40 × 35 | 7 × 4 | 66 | 土坑4より新 |
| P39 | 不明 | 31 × (26) | 7 × 3 | 64 | P38より古 |
| P40 | 方形 | 42 × 31 | 7 × 4 | 22 | |
| P41 | 隅丸方形 | 40 × 36 | 18 × 17 | 44 | |
| P42 | 方形 | 41 × 38 | 19 × 15 | 37 | |
| P43 | 三角形 | 30 × 27 | 8 × 6 | 30 | |
| P44 | 方形 | 31 × 29 | 20 × 19 | 29 | |
| P45 | 方形 | 47 × 37 | 32 × 29 | 19 | |
| P46 | 方形 | 47 × 44 | 38 × 25 | 46 | 溝1より新 |
| P47 | 不明 | 46 × 32 | 33 × 21 | 19 | |
| P48 | 方形 | 38 × 36 | 23 × 20 | 38 | |
| P49 | 方形 | 45 × 36 | 26 × 23 | 32 | |
| P50 | 方形 | 51 × 44 | 5 × 5 | 39 | |
| P51 | 方形 | 46 × 34 | 17 × 17 | 42 | |
| P52 | 方形 | 72 × 41 | 31 × 25 | 40 | |

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|------|---------|---------|-----|------------------|
| P 53 | 方形 | 38×30 | 23×18 | 23 | |
| P 54 | 方形 | 44×37 | 22×19 | 70 | |
| P 55 | 方形 | 25×24 | 9×9 | 45 | |
| P 56 | 方形 | 35×35 | 7×5 | 37 | |
| P 57 | 方形 | 38×32 | 18×13 | 44 | |
| P 58 | 方形 | 39×36 | 12×12 | 47 | |
| P 59 | 方形 | 30×25 | 21×20 | 54 | |
| P 60 | 隅丸方形 | 50×37 | 25×(13) | 37 | |
| P 61 | 方形 | 28×26 | 17×12 | 42 | |
| P 62 | 不明 | 41×(27) | 12×10 | 51 | 土坑6より新 |
| P 63 | 方形 | (29)×27 | 9×6 | 49 | |
| P 64 | 方形 | 22×21 | 10×10 | 23 | 土坑2より古 |
| P 65 | 円形 | 25×22 | 14×11 | 12 | 土坑2より古 |
| P 66 | 方形 | 18×(12) | 10×7 | 24 | 土坑2より古 |
| P 67 | 方形 | 30×26 | 16×16 | 12 | 土坑2より古 |
| P 68 | 方形 | 22×13 | 14×8 | 24 | 土坑2より古 |
| P 69 | 方形 | 27×26 | 16×11 | 17 | 土坑2より古 |
| P 70 | 方形 | 29×25 | 16×14 | 30 | 土坑2より古 |
| P 71 | 方形 | 21×19 | 9×7 | 63 | 土坑2より古 |
| P 72 | 方形 | 23×18 | 14×13 | 18 | 土坑2より古 |
| P 73 | 方形 | 21×18 | 13×12 | 14 | 土坑2より古 |
| P 74 | 方形 | 21×16 | 12×7 | 13 | 土坑2より古 |
| P 75 | 方形 | 24×24 | 15×13 | 22 | 土坑2より古 |
| P 76 | 方形 | 46×39 | 31×26 | 28 | |
| P 77 | 方形 | 50×31 | 18×15 | 32 | |
| P 78 | 方形 | 31×28 | 20×19 | 7 | 土坑7より古 |
| P 79 | 方形 | 34×31 | 16×15 | 21 | |
| P 80 | 不整形 | 54×49 | 19×9 | 129 | 溝状6より古 礎文土器1 |
| P 81 | 方形 | 28×22 | 15×12 | 27 | |
| P 82 | 欠 | × | × | | |
| P 83 | | | | | 竪穴建物 P1 |
| P 84 | 隅丸方形 | 36×31 | × | 66 | |
| P 85 | 円形 | 28×26 | 18×16 | 26 | |
| P 86 | 不明 | 42×(21) | 30×(16) | 19 | 土坑7より古 |
| P 87 | 不明 | 36×(17) | 27×(12) | 22 | |
| P 88 | 欠 | × | × | | |
| P 89 | 方形 | 55×53 | 11×9 | 65 | 竪穴建物より新 |
| P 90 | 楕円形 | 36×22 | 18×12 | 25 | 竪穴建物より新 |
| P 91 | 方形 | 57×47 | 11×6 | 23 | |
| P 92 | 方形 | 28×27 | 22×17 | 40 | 土坑10より古 カワラケ1 |
| P 93 | 楕円形 | 32×20 | 11×8 | 12 | 土坑10より新 |
| P 94 | 方形 | 33×32 | 24×20 | 24 | 土坑10より古 |
| P 95 | 方形 | 34×28 | 17×13 | 13 | |
| P 96 | 楕円形 | 38×30 | 16×15 | 50 | 土坑11より古 |
| P 97 | 方形 | 39×33 | 23×20 | 28 | 土坑10より新 |
| P 98 | 方形 | 45×24 | 19×6 | 39 | 土坑11より古 |
| P 99 | 不明 | 52×30 | 16×11 | 45 | 土坑11より古 |
| P 100 | 円形 | 55×52 | 22×18 | 51 | 土坑11より古 |
| P 101 | 不明 | 44×24 | 4×4 | 53 | |
| P 102 | 不明 | 54×51 | 25×25 | 28 | |
| P 103 | 不明 | 37×27 | 13×8 | 35 | |
| P 104 | 不明 | 35×26 | 18×15 | 45 | |
| P 105 | 方形 | 25×20 | 10×7 | 64 | |
| P 106 | 方形 | 50×31 | 11×9 | 45 | |
| P 107 | 円形 | 40×36 | 17×17 | 14 | |
| P 108 | 方形 | 35×20 | 10×10 | 29 | |
| P 109 | 方形 | 28×25 | 11×8 | 55 | 土坑6より古 土坑土器1 |
| P 110 | 三角形 | 35×29 | 16×12 | 23 | |
| P 111 | 方形 | 29×28 | 18×17 | 20 | |
| P 112 | 方形 | 29×28 | 11×5 | 42 | |
| P 113 | 方形 | 28×28 | 18×5 | 38 | |

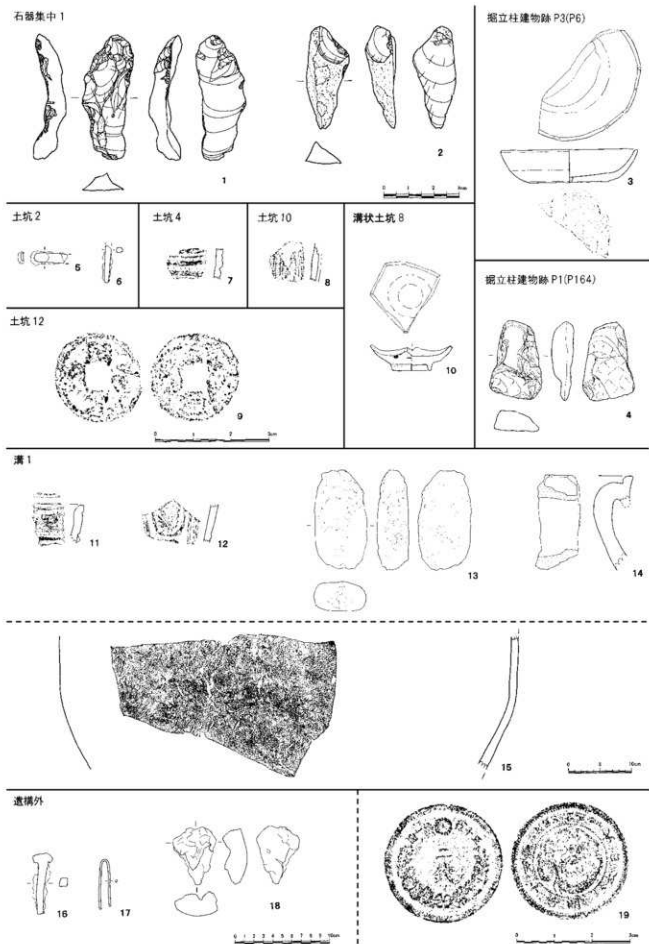
| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|------|-----------|---------|----|------------------|
| P 114 | 三角形 | 34×22 | 13×13 | 43 | |
| P 115 | 方形 | 26×23 | 15×15 | 24 | |
| P 116 | 方形 | 27×20 | 10×10 | 18 | |
| P 117 | 方形 | 23×19 | 15×15 | 37 | |
| P 118 | | | | | 竪穴建物 P2 |
| P 119 | 不明 | 45×(41) | 21×8 | 29 | |
| P 120 | 楕円形 | 43×30 | 16×13 | 48 | 礎文土器1、須磨1 |
| P 121 | 方形 | 19×17 | 11×8 | 29 | 土坑11より古 |
| P 122 | 方形 | 28×25 | 14×8 | 28 | 土坑11より古 |
| P 123 | 方形 | 28×24 | 7×6 | 44 | 土坑11より古 |
| P 124 | 方形 | 24×21 | 7×6 | 16 | |
| P 125 | 方形 | 19×16 | 13×8 | 13 | 土坑3より古 |
| P 126 | 五角形 | 26×22 | 11×6 | 15 | 土坑3より古 |
| P 127 | 方形 | 24×21 | 13×8 | 10 | 土坑3より古 |
| P 128 | 不明 | 20×(20) | 19×9 | | 土坑3より古 |
| P 129 | 方形 | 33×20 | 10×6 | 18 | 土坑3より古 |
| P 130 | 方形 | 27×23 | 11×5 | 21 | 土坑3より古 |
| P 131 | 楕円形 | 48×40 | 19×12 | 35 | |
| P 132 | 方形 | 55×35 | 14×13 | 39 | |
| P 133 | 方形 | 24×22 | 20×13 | 26 | 土坑13より古 |
| P 134 | | | | | 竪穴建物 P3 |
| P 135 | 方形 | 29×29 | 20×16 | 64 | |
| P 136 | 方形 | 58×52 | 26×20 | 52 | |
| P 137 | 方形 | 28×28 | 18×11 | 31 | 土坑12より古 |
| P 138 | 円形 | 31×28 | 9×5 | 22 | |
| P 139 | | | | | 竪立柱 P4 |
| P 140 | 方形 | 24×21 | 9×9 | 34 | 土坑12より古 |
| P 141 | 方形 | 52×48 | 26×24 | 39 | 土坑12より古 礎文土器1 |
| P 142 | 円形 | 15×14 | 5×5 | 6 | 土坑13より古 |
| P 143 | 方形 | 19×17 | 12×12 | 31 | |
| P 144 | 円形 | 35×35 | 16×13 | 61 | |
| P 145 | 不明 | (57)×(27) | 46×(19) | 24 | 土坑3より古 |
| P 146 | 方形 | 27×24 | 18×17 | 26 | 土坑15より古 打製石斧1 |
| P 147 | 方形 | 29×23 | 14×9 | 58 | 土坑15より古 |
| P 148 | 方形 | 27×23 | 17×10 | 21 | 土坑15より古 |
| P 149 | 方形 | 32×22 | 18×14 | 19 | 土坑15より古 |
| P 150 | 方形 | 29×27 | 9×8 | 38 | 土坑15より古 |
| P 151 | 方形 | 27×20 | 16×5 | 33 | 土坑13より古 |
| P 152 | 方形 | 40×30 | 17×17 | 47 | 木炭窯2より新 |
| P 153 | 方形 | 31×23 | 13×10 | 26 | 木炭窯2より新 |
| P 154 | 方形 | 36×36 | 20×14 | 35 | 木炭窯2より新 |
| P 155 | 楕円形 | 48×31 | 11×4 | 26 | 土坑16より古 |
| P 156 | 三角形 | 34×32 | 17×9 | 34 | |
| P 157 | 不明 | 24×(20) | (18)×10 | 40 | |
| P 158 | 方形 | 27×25 | 19×13 | 25 | 土坑1より古 |
| P 159 | 方形 | 43×26 | 12×11 | 75 | 土坑15より古 礎文土器1 |
| P 160 | 方形 | 26×20 | 6×6 | 30 | 土坑15より古 |
| P 161 | 方形 | 28×26 | 10×6 | 27 | 土坑15より古 |
| P 162 | 方形 | 30×27 | 23×18 | 24 | 溝状7より古 |
| P 163 | 方形 | 40×39 | 21×14 | 24 | 礎文土器1 |
| P 164 | | | | | 竪立柱 P1 |
| P 165 | 方形 | 23×19 | 16×13 | 33 | |
| P 166 | 不明 | 40×39 | 14×9 | 35 | |
| P 167 | 方形 | 28×28 | 17×16 | 16 | 溝状8より古 |
| P 168 | 方形 | 27×24 | 16×14 | 14 | 溝状8より古 |
| P 169 | 方形 | 43×31 | 21×17 | 33 | 礎文土器1 |
| P 170 | 方形 | 47×40 | 24×12 | 41 | カワラケ1 |
| P 171 | 方形 | 39×33 | 17×17 | 47 | 土坑16より古 |
| P 172 | 方形 | 30×27 | 15×12 | 27 | 土坑16より古 |
| P 173 | 方形 | 25×21 | 7×6 | 43 | 土坑16より古 |
| P 174 | 台形 | 44×39 | 10×8 | 39 | 土坑16より古 |

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|------|---------|---------|----|---------|
| P 175 | 方形 | 49×42 | 15×7 | 29 | 土坑16より古 |
| P 176 | 方形 | 33×31 | 19×7 | 41 | 土坑12より古 |
| P 177 | 方形 | 21×21 | 13×11 | 28 | 土坑12より古 |
| P 178 | 方形 | 20×20 | 12×11 | 27 | 土坑12より古 |
| P 179 | 方形 | 26×18 | 10×10 | 13 | 土坑12より古 |
| P 180 | 方形 | 28×23 | 14×12 | 19 | 土坑12より古 |
| P 181 | 方形 | 29×25 | 18×15 | 14 | 土坑12より古 |
| P 182 | 方形 | 29×25 | 9×7 | 46 | 土坑12より古 |
| P 183 | 不明 | 35×(19) | 9×9 | 53 | 土坑12より古 |
| P 184 | 不明 | 31×(22) | 17×12 | 44 | 土坑12より古 |
| P 185 | 方形 | 40×23 | 17×12 | 25 | |
| P 186 | 圓丸方形 | 35×27 | 17×11 | 54 | 土坑12より新 |
| P 187 | 方形 | 33×27 | 12×8 | 57 | 土坑13より古 |
| P 188 | 不明 | 28×(14) | 15×(10) | 16 | 土坑13より古 |
| P 189 | 円形 | 35×32 | 20×11 | 25 | 土坑13より古 |
| P 190 | 方形 | 28×26 | 15×12 | 31 | 土坑13より古 |
| P 191 | 不明 | (39)×28 | (29)×17 | 11 | 土坑13より古 |
| P 192 | 方形 | 23×22 | 12×5 | 34 | 土坑13より古 |
| P 193 | 不明 | 28×(22) | 11×8 | 47 | |
| P 194 | 方形 | 31×23 | 14×9 | 32 | 土坑16より古 |
| P 195 | 不明 | 57×(38) | 11×6 | 53 | |
| P 196 | 圓丸方形 | 27×23 | 9×5 | 7 | 土坑14より古 |
| P 197 | 不明 | 46×(24) | (18)×18 | 46 | |
| P 198 | 方形 | 30×29 | 14×14 | 20 | |

| No | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|------|----------|----------|----|------------------|
| P 199 | 方形 | 22×19 | 19×13 | 48 | |
| P 200 | | | | | 掘立柱P2 |
| P 201 | 不明 | (21)×(7) | (18)×(6) | 6 | 本炭窯2より新 縄文土器1 |
| P 202 | 不明 | 32×(19) | 14×(11) | 34 | |
| P 203 | 方形 | 52×32 | 24×15 | 48 | |
| P 204 | 方形 | 38×33 | 15×15 | 37 | |
| P 205 | 方形 | 37×36 | 20×14 | 49 | |
| P 206 | 五角形 | 30×29 | 19×18 | 64 | |
| P 207 | 不明 | 62×(34) | 26×(26) | 23 | |
| P 208 | 不明 | 37×(22) | 14×8 | 30 | 溝状8より古 |
| P 209 | 方形 | 27×20 | 20×14 | 43 | |
| P 210 | 方形 | 34×25 | 19×16 | 21 | |
| P 211 | 方形 | 47×37 | 19×18 | 29 | |
| P 212 | 方形 | 30×27 | 11×9 | 36 | |
| P 213 | 不明 | 23×(14) | 6×(4) | 59 | 溝5より古 |
| P 214 | 不明 | 27×27 | 21×16 | 23 | |
| P 215 | 不明 | 13×(14) | 17×(6) | 14 | |
| P 216 | 方形 | 30×27 | 12×11 | 25 | |
| P 217 | 方形 | 17×16 | 9×3 | 52 | 溝状8より古 |
| P 218 | 方形 | 23×23 | 9×8 | 37 | 土坑15より古 |
| P 219 | 方形 | 25×20 | 6×5 | 45 | 土坑15より古 |
| P 220 | 方形 | 19×19 | 11×8 | | 溝状8より古 |

第14表 神明後遺跡第41地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 図号 | 掲載番号 | 遺構名 | 種別・器種 | 口径・長 | 底径・幅 | 器高・厚 | 技法/文様/その他 | 石材/推定産地 | 推定年代・時期 | 残存/備考 |
|---------|------|------------------|----------|--------|--------|------|--|---------|-------------|---------|
| 40 図 | 1 | 石器集中1 | 石器・調整削片 | 4.87 | 1.84 | 1.28 | 重量6.2g/右側辺は打点側、左側辺は末端側から削片剥離後、縦長削片を調整する。左側辺は打点側から側辺に向かって調整されている。/注No.1 | 黒曜石 | 旧石器時代 | |
| | 2 | 石器集中1 | 石器・削片 | 4.02 | 1.71 | 1.18 | 重量4.9g/右側面を打面とする。右側面を調整後、縦長削片を調整する。/注No.2 | 黒曜石 | 旧石器時代 | |
| | 3 | 掘立柱建物跡P3(旧P6) | 土器・カワラケ | (14.6) | 8.3 | 3.5 | 轆轤成形、回転未切り/内面見込みを横方向に指推する。底面に板状土層/褐色/砂粒(～5mm)/注No.P6 No.1 | 不明 | 14世紀 | 1/2以下残存 |
| | 4 | 掘立柱建物跡P11(旧P164) | 石器・打製石斧 | 8.08 | 5.50 | 2.36 | 重量114.3g/肉輪敲打技法による/注No.P164 | 片岩 | 縄文時代 | 完形 |
| | 5 | 土坑2 | 鉄製品・刀子 | (3.82) | 1.38 | 1.00 | 重量9.2g/鍛造/注No.2D No.3 | 不明 | 不明 | 柄部のみ |
| | 6 | 土坑2 | 鉄製品・釘 | (4.00) | 0.94 | 0.68 | 重量4.2g/鍛造/注No.2D No.2 | 不明 | 不明 | 頭部欠 |
| | 7 | 土坑4 | 土器・深鉢 | — | — | — | 轆轤み成形/隆部内陥へ、細い平載竹管による押し引き文を平行して施文/に深い黄褐色/砂粒(～1mm)多量、輝石含む/注No.4D No.2 | — | 縄文中期・新石器 | 胴部片 |
| | 8 | 土坑10 | 土器・深鉢 | — | — | — | 轆轤み成形/隆部内陥へ、細い平載竹管による押し引き文を平行して施文/明赤褐色/砂粒(～3mm)多量/注No.10D No.1 | — | 縄文中期・新石器 | 胴部片 |
| | 9 | 土坑12 | 鉄製品・銅貨 | 外径2.36 | 孔径0.68 | 0.14 | 重量1.27g/鍛造/柳葉鉄「開元通寶」/注No.12D No.2 | 不明 | 不明 | |
| | 10 | 溝状土坑8 | 磁器・丸壺 | — | 4.2 | — | 轆轤成形/染付け。見込み蛇の目輪割ぎ。登付無輪/高台二重垂輪。梅樹文/注No.イモビツ8 | 鹿胎 | 1750～1860 | 底部片 |
| | 11 | 溝1 | 土器・深鉢 | — | — | — | 轆轤み成形/隆部内陥へ、細い平載竹管による押し引き文/褐色/砂粒(～2mm)多量、雲母含む/注No.M1 H4 | — | 縄文中期・新石器 | 口縁部片 |
| | 12 | 溝1 | 土器・深鉢 | — | — | — | 轆轤み成形/隆部内陥へ、細い平載竹管による押し引き文/褐色/砂粒(～3mm)多量、雲母含む/注No.M1 H3 | — | 縄文中期・新石器 | 口縁部片 |
| | 13 | 溝1 | 石器・敲石、磨石 | 10.64 | 5.72 | 3.40 | 重量330.4g/表と裏面に一部磨り面が残るが、側面全て敲打により凹凸になる。/注No.M1 | 閃緑岩 | 縄文時代 | 完形 |
| | 14 | 溝1 | 焼締め陶器・甕 | — | — | — | 紐轆み成形/折り返し口縁/に深い赤褐色/砂粒(～5mm)/注No.M1 No.2 | 常滑 | 14世紀 | 口縁部片 |
| | 15 | 溝1 | 焼締め陶器・甕 | — | — | — | 紐轆み成形/に深い赤褐色/砂粒(～5mm)/注No.M1 H2 | 常滑 | 不明 | 胴部片 |
| | 16 | トレンチ8 | 鉄製品・釘 | (6.54) | 2.21 | 1.14 | 重量21.2g/鍛造/捨釘/注No.8トレンチ1 | — | 不明 | 下端部欠 |
| | 17 | トレンチ2 | 銅製品・銅鍔 | 5.22 | 1.28 | 2.00 | 重量3.7g/二つ折り。両端部とも切断痕/注No.2トレンチ | — | 不明 | |
| | 18 | トレンチ8 | 洋・銅形鍛冶洋 | (5.7) | (4.3) | 2.6 | 重量72.6g/底面に土砂付着/注No.8トレンチ2 | — | 不明 | |
| | 19 | トレンチ3 | 銅貨・銅貨 | 3.20 | — | 0.26 | 重量13.6g/鋳造/表面「二錢 五十枚 換一圓」裏面「2SEN・大日本・明治十年・」(龍はいわゆる波ウロコ)/注No.3トレンチ | — | 明治10年(1877) | 完形 |



第40図 神明後遺跡第41地点出土遺物 (1/1・2/3・1/4・1/6)

附編 自然化学分析 神明後遺跡第 41 地点における樹種同定及び放射性炭素年代 (AMS 測定)

株式会社古環境研究所

1. 樹種同定

(株) 加速器分析研究所

1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を推測する手がかりとなる。

神明後遺跡第 41 地点の発掘調査では、中世以降とみられる層準において、土坑 16 基、ピット 214 基、溝 5 本とともに 2 基の木炭窯が出土した。ここでは、木炭窯より検出された炭化材について樹種同定を行い、当時の木材利用を検討した。

2. 試料

試料は、神明後遺跡第 41 地点において出土した木炭窯 1 と木炭窯 2 より検出された炭化材 2 点である。

3. 方法

試料を割折して新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（年目と同義）、接線断面（板目と同義）の基本三断面の切片を作製し、落射顕微鏡によって 50～1000 倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4. 結果

表 1 に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を図版に示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

表 1 神明後遺跡における樹種同定結果

| 試料 | 結果 (学名/和名) | |
|--------------------|-------------------------------|----------|
| 木炭窯 1 (木炭カマ 1 R 南) | <i>Quercus sect. Prinus</i> | コナラ属コナラ節 |
| 木炭窯 2 (炭集中 B 区) | <i>Quercus sect. Aegilops</i> | コナラ属クヌギ節 |

コナラ属コナラ節 *Quercus sect. Prinus* ブナ科 写真 1

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～3 配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が、火炎状に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものど大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ 15 m、径 60 cm ぐらいに達する。材は強韌で弾力に富み、建築材などに用いられる。

コナラ属クヌギ節 *Quercus sect. Aegilops* ブナ科 写真 2

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～3 配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものど大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ 15 m、径 60 cm に達する。材は強韌で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

5. 所見

神明後遺跡第41地点で出土した2基の木炭窯より検出された炭化材について樹種同定を行った。その結果、木炭窯1より出土した炭化材はコナラ属コナラ節、木炭窯2より出土した炭化材はコナラ属クヌギ節であった。コナラ属コナラ節は、ミズナラなどの冷温帯落葉広葉樹林の主要構成要素や暖温帯性のナラガシワ、二次林要素でもあるコナラなどが含まれる。コナラ属クヌギ節にはクヌギとアベマキがあり、温帯に広く分布する落葉高木である。コナラ節やクヌギ節のコナラ垂属の木材は、概して弾力に富んだ強い材で、さらにコナラ属はアカガシ垂属も含め薪炭によく用いられる材である。コナラ節もクヌギ節も二次林種でもあることから、二次林化した里山の木材が使われたと考えられる。いずれの樹種も当時遺跡周辺に生育し、近隣地域よりもたらされたと考えられる。

参考文献

佐伯浩・原田浩（1985）針葉樹材の細胞。木材の構造，文永堂出版，p.20-48。

[#2847]

佐伯浩・原田浩（1985）広葉樹材の細胞。木材の構造，文永堂出版，p.49-100。

島地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧。雄山閣，p.296。

山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成。植生史研究特別第1号，植生史研究会，p.242。

神明後遺跡の炭化材



横断面 ————— : 0.4mm



放射断面 ————— : 0.2mm



接線断面 ————— : 0.2mm

1. 木炭窯1（木炭カマ1 R南）

コナラ属コナラ節



横断面 ————— : 0.4mm



放射断面 ————— : 0.2mm



接線断面 ————— : 0.2mm

2. 木炭窯2（炭集中 B区）

コナラ属クヌギ節

II. 放射性炭素年代測定

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (^{14}C) の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器附着炭化物などが測定対象となり、約6万年前までの年代測定が可能である。

ここでは、神明後遺跡第41地点の発掘調査において出土した2基の木炭窯の年代を明らかにする目的で、それぞれの木炭窯より出土した炭化物を対象に加速器分析法による放射性炭素年代測定を実施した。

2. 試料と方法

測定試料は、中世以降とされる木炭窯1と木炭窯2より出土した炭化物2点である。測定試料の情報、調整データは表1のとおりである。試料は調整後、加速器質量分析計 (パレオ・ラボ、コンパクト AMS: NEC 製 1.5SDH) を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

表1 測定試料及び処理

| 試料名 | 地点 | 対象物 | 前処理・調整 | 測定法 |
|------|------------|-----|-------------------|-----|
| No.1 | 第41地点、木炭窯1 | 炭化材 | 超音波洗浄, 酸-アルカリ-酸処理 | AMS |
| No.2 | 第41地点、木炭窯2 | 炭化材 | 超音波洗浄, 酸-アルカリ-酸処理 | AMS |

※ AMS (Accelerator Mass Spectrometry) は加速器質量分析法

3. 測定結果

表2に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、 ^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲を示す。また、図1には暦年較正結果を示す。暦年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (年 BP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2% であることを示すものである。なお、暦年較正の詳細は以下の通りである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 \pm 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal3.10 (較正曲線データ: IntCal09) を使用した。なお、1 σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ 暦年代範囲は 95.4% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

表2 測定結果

| 試料名 | 測定% (PED) | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) | 暦年較正用年代 (年 BP) | ^{14}C 年代 (年 BP) | 暦年代 (西暦) | |
|------|--------------|------------------------------|-------------------|------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | | | | 1 σ (68.2% 確率) | 2 σ (95.4% 確率) |
| No.1 | 17587 | -26.79 \pm 0.25 | 558 \pm 18 | 560 \pm 20 | AD1325-1345 (24.9%) | AD1310-1360 (41.6%) |
| | | | | | AD1395-1415 (43.3%) | AD1390-1420 (53.8%) |
| No.2 | 17588 | -28.37 \pm 0.19 | 600 \pm 18 | 600 \pm 20 | AD1305-1330 (26.8%) | AD1300-1370 (74.2%) |
| | | | | | AD1335-1360 (28.9%) | AD1380-1410 (21.2%) |
| | | | | | AD1385-1400 (12.4%) | |

BP: Before Physics (Present), BC: 紀元前, AD: 紀元

4. 所見

神明後遺跡第41地点で検出された木炭窯2基について、加速器質量分析法(AMS法)により放射性炭素年代測定を行った。その結果、木炭窯1では 560 ± 20 年BP(2 σ の暦年代でAD1310~1360年、AD1390~1420年)木炭窯2では 600 ± 20 年BP(同AD1300~1370年、AD1380~1410年)の年代値が得られた。

文献

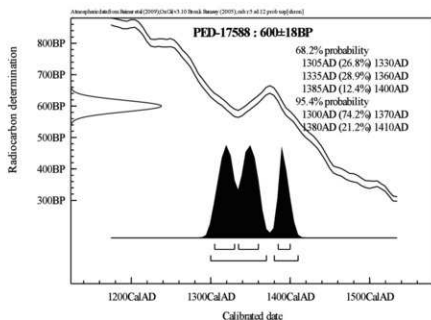
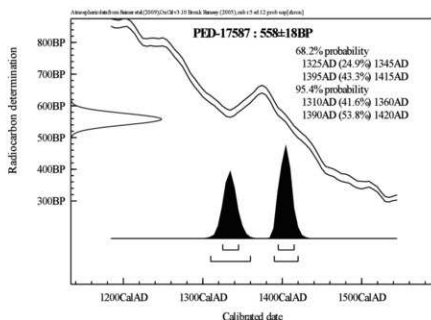
Bronk Ramsey C. (1995) Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy, The OxCal Program, Radiocarbon, 37(2), 425-430.

Bronk Ramsey C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43 (2A), 355-363.

Paula J Reimer et al. (2004) IntCal 04 Terrestrial radiocarbon age calibration, 26-0 ka BP, Radiocarbon 46, 1029-1058.

尾崎大真 (2005) INTCAL98からIntCal04へ。学術創成研究費 弥生農耕の起源と東アジア $\delta^{13}C$ -炭素年代測定による高精度編年体系の構築一, p.14-15.

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の14C年代, 3-20.



神明後遺跡第 41 地点のローム層序対比

パリオ・サーヴェイ株式会社

はじめに

ふじみ野市に所在する神明後遺跡は、武蔵野台地北部を構成する台地の一つである大井台に位置する。大井台は、それぞれ南西-北東方向に流下して荒川低地に注ぐ、台地北側の福岡江川と台地南側の砂川堀の 2 本の河川に挟まれた低位の段丘であり、段丘内にはそれら 2 本の河川と平行して、さかい川が流れている。福岡江川の左岸側および砂川堀の右岸側の各段丘は、大井台よりも 5m ほど高い段丘が広がっている。久保(1988)や貝塚ほか編(2000)などによる地形分類図では、大井台は立川面に区分されており、その両側の高位段丘は武蔵野面の M2 面に区分されている。なお、立川面については、上位より約 4 万年前の Tc1 面、約 3～2 万年前の Tc2 面、約 2～1.5 万年前の Tc3 面に細分されている(貝塚ほか編,2000)が、大井台の立川面の詳細な地形面対比は確認されていない。神明後遺跡は、さかい川右岸の大井台平坦面上に位置している。

神明後遺跡第 41 地点の発掘調査では、立川ローム層の標準層位の IV 層に相当するとされた層位より、黒曜石製の石器が出土したことから、その層序の確立が課題とされている。本報告では、発掘調査で検出されたローム層を対象として重鉱物・火山ガラス比分析を行うことにより、神明後遺跡第 41 地点における立川ローム層の層序対比を行う。重鉱物分析では、当社による武蔵野台地の立川ローム層の多くの分析例と比較することにより、層序の詳細な対比が可能である。また、火山ガラス比分析では、立川ローム層中に堆積する火山ガラス質テフラである立川ローム層上部ガラス質火山灰(UG:山崎,1978)と始良 Tn 火山灰(AT:町田・新井,1976)の各テフラに由来する火山ガラスの量比の層位的な変化を求め、その降灰層準を推定し、対比指標とする。

1. 試料

試料は、ブレ基本土層という名称で作成された断面の東西断面より採取された。断面は、検出面より深度約 1.4m まであり、発掘調査所見により、立川ローム層の標準層位に従った層位名が付され、上位より、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅹ a、Ⅹ b、Ⅹ の各層が分層されている。Ⅲ層は多孔質なロームからなるいわゆるソフトローム層であり、Ⅴ、Ⅶ、Ⅹ a、Ⅹ b の各層は、色調の暗い層位いわゆる暗色帯に相当する。分析時の観察では、Ⅹ a 層の試料が最も暗い色調を呈し、Ⅶ層はそれよりやや明るく、Ⅴ層とⅩ b 層は同程度でⅦ層よりもやや明るい。

試料は、Ⅲ層とされた検出面から断面最下部のⅩ層まで厚さ 5cm で連続に、試料番号 1～28 までの 28 点が採取された。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した図 1 に柱状図として併記する。

本分析では、立川ローム層の明確な対比指標の一つとして知られている標準層位のⅤ層直上に認められる輝石の量比の層位的な極大層準(小林ほか,1971)の検出を目的として試料番号 8、10、12 の 3 点を対象に重鉱物分析を行い、UG の検出を目的として試料番号 1、3、AT の検出を目的として、試料番号 14、16、18 の合計 5 点の試料を対象に火山ガラス比分析を行う。

2. 分析方法

試料約 40g に水を加え、超音波洗浄装置を用いて粒子を分散し、250 メッシュの分析篩上に水洗して粒径が 1/16mm より小さい粒子を除去する。乾燥させた後、篩別して、得られた粒径 1/4mm/1/8mm の砂分を、ポリタングステン酸ナトリウム(比重約 2.96 に調整)により重液分離し、得られた重鉱物を偏光顕微鏡下にて 250 粒に達するまで同定する。同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒は「その他」とする。

火山ガラス比分析は、重液分離により得られた軽鉱物中の火山ガラスとそれ以外の粒子を、偏光顕微鏡下にて 250 粒に達するまで計数し、火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、その形態によりバブル型、中間型、軽石型の 3 つの型に分類する。各型の形態は、バブル型は薄手平板状あるいは泡のつぎ目をなす部分である Y 字状の高まりを持つもの、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは塊状のもの、軽石型は表面に小気泡を非常に多く持つ塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

3. 結果

結果を表 1、図 1 に示す。重鉱物組成は試料番号 8、10、12 の 3 点ともほぼ同様であり、斜方輝石が最も多

く、少量のカンラン石、単斜輝石および不透明鉱物を含む組成である。3点のなかで詳細に見るならば、試料番号10はカンラン石が他の2点よりも多く、試料番号12は斜方輝石が他の2点よりも多い。

表1. 重鉱物・火山ガラス比分析結果

| 層名 | 試料番号 | カンラン石 | 斜方輝石 | 単斜輝石 | 角閃石 | 不透明鉱物 | その他 | 合計 | パブル型火山ガラス | 中間型火山ガラス | 軽石型火山ガラス | その他 | 合計 |
|------|------|-------|------|------|-----|-------|-----|----|-----------|----------|----------|-----|-----|
| III | 1 | — | — | — | — | — | — | 0 | 2 | 8 | 9 | 231 | 250 |
| | 3 | — | — | — | — | — | — | 0 | 8 | 7 | 4 | 231 | 250 |
| IV | 8 | 20 | 145 | 42 | 0 | 42 | — | 1 | 250 | — | — | — | 0 |
| IV-V | 10 | 31 | 148 | 39 | 0 | 32 | — | 0 | 250 | — | — | — | 0 |
| V | 12 | 17 | 164 | 38 | 3 | 25 | — | 3 | 250 | — | — | — | 0 |
| VI | 14 | — | — | — | — | — | — | 0 | 53 | 0 | 10 | 187 | 250 |
| VII | 16 | — | — | — | — | — | — | 0 | 39 | 0 | — | 1 | 210 |
| | 18 | — | — | — | — | — | — | 0 | 20 | 0 | 6 | 224 | 250 |

火山ガラス比では、試料番号1と試料番号3に微量の中間型と軽石型が含まれ、試料番号14、16、18には中量～少量のパブル型火山ガラスが含まれる。試料番号1と試料番号3を比較すると、中間型と軽石型の量比が極めて僅かであるが下位の試料の方が少なく、また供伴するパブル型は下位の試料の方が多い。試料番号14、16、18の3点間の比較では、パブル型火山ガラスは明らかに下位ほど少なくなっている。

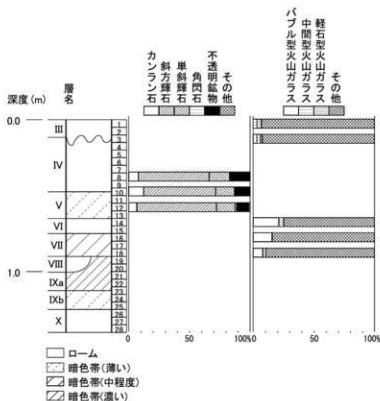


図1. プレ基本土層東西断面の重鉱物組成および火山ガラス比

4. 考察

武蔵野台地の立川ローム層において対比指標となる重鉱物組成の層位的な変化は、カンラン石と斜方輝石の量比が負の相関関係によって変化することにより認識される。しかし、今回の分析のように斜方輝石の60%前後の量比に対してカンラン石が10%前後という一方的な組成では、互いの量比の変化は認め難い。このようにカンラン石が低率である重鉱物組成を示す立川ローム層の例は、浦和市以北の大宮台地における立川ローム層上部に認めることができる。堀口・河原塚(1979)は、これを「大里ローム層」とよび、斜方輝石と単斜輝石の両輝石の由来を浅間火山の噴出物であると考え、大里ローム層は浅間火山の噴出物からなる火山灰層であるとした。現在では、ローム層は、噴火時に降り積もった火山灰層ではなく、噴火時の火山灰と噴火の休止期に堆積した火山噴出物を主体とする風成塵の両者が母材となって形成された累積成の土壌であると考えられている(例えば鈴木1995など)から、大里ローム層は、浅間火山の噴出物を主体とする風成塵を母材とする土壌であると考えられる。地形区分上は武蔵野台地上に位置する神明後遺跡ではあるが、浅間火山と富士山の両火山との地理的位置を考慮すると、V層からIV層にか

けてのローム層は、大宮台地の大里ローム層と同様に浅間火山の噴出物を主たる母材としていられると考えられる。そのため、富士山の噴出物を主たる母材とする標準的な武蔵野台地の立川ローム層の重鉱物組成とは異なる組成を示していると考えられる。したがって、今回の分析結果からは、標準層位のV層直上の輝石の極大層準を見出すことはできない。ただし、より詳細な試料間隔による分析とより広範な層位における重鉱物組成の層位的変化を確認することができれば、対比指標に相当する重鉱物組成が見出せる可能性はあると考えられる。

火山ガラス比分析では、VI層に多く含まれ、そこから下位に向かって減少するバブル型火山ガラスが検出された。この火山ガラスは、形態と産出層位から、ATに由来すると考えられる。土壤中に特定テフラが混交して産出する場合は、テフラ最濃集部の下限がそのテフラの降灰層準にほぼ一致すると考えられている(早津(1988))。今回の分析では最濃集部はおそらく試料番号14付近と考えられるから、その下限は試料番号16付近とされる。これに従えば、ATの降灰層準は、試料番号16付近すなわちVII層上部に推定される。これまでの当社における武蔵野台地のローム層の分析例では、標準層位のVI層とVII層の層界ないしはVII層の最上部にATの降灰層準が推定されることが多い。また、当社では、大井台上に位置する本村遺跡および砂川堀右岸の武蔵野面上に位置する東台遺跡において火山ガラス比分析によるATの降灰層準を推定しているが、これらの例においてもVII層の最上部付近に推定された。これらを標準とすれば、今回の断面におけるVI層とVII層は、ほぼ標準層位のVI層とVII層に対比されると考えて良い。

なおATの噴出年代は、80年代後半から90年代にかけて行われた放射性炭素年代測定(例えば松本ほか(1987)、村山ほか(1993)、池田ほか(1995)など)や2000年代に行われた放射性炭素年代測定(宮入ほか(2001)、Miyairi et al(2004)など)から、放射性炭素年代ではおよそ2.5万年前頃にまとまる傾向にある。一方、最近の海底コアにおけるATの発見から、その酸素同位体ステージ上における層準は、酸素同位体ステージ2と3との境界付近またはその直前であるとされ、その年代観は2.5~3.2万年前におよぶとされている(町田・新井,2003)。町田・新井(2003)は、ATの放射性炭素年代を暦年に換算することがまだ困難であると述べているが、上述の海底コアの年代観も考慮すれば、暦年ではおよそ2.6~2.9万年前頃になるであろうとしている。

試料番号1と試料番号3に微量認められた中間型および軽石型火山ガラスは、その形態と産出層位からUGに由来すると考えられる。今回の火山ガラスの産状では、濃集層準を認めることはできないが、試料番号1から試料番号3に向けて僅かでも減少することから、濃集層準は試料番号1よりも上位にあると考えられる。したがって、今回の断面におけるUGの降灰層準も、試料番号1以上の層位に推定される。これまでの分析例では、UGの降灰層準は、標準層位のIII層上部に推定されることが多いから、今回の断面におけるIII層も、標準層位のIII層にほぼ対比されると考えられる。

以上に述べた今回の断面のIII層とVI層およびVII層の対比結果から、重鉱物組成では対比のできなかった、その間に挟まれるIV層とV層も、標準層位の同名層にほぼ対比されると考えて良い。今後は、大井台における分析例を蓄積し、大井台の立川ローム層における重鉱物組成の層位的変化を確認して、より詳細で確実な対比を検討する必要がある。

引用文献

- 早津賢治,1988,テフラおよびテフラ性土壌の堆積機構とテフロクロノロジー-ATにまつわる議論に關係して-,考古学研究,34,18-32.
 堀口萬吉・河原塚順司,1979,大宮台地南部の大里ローム層について,埼玉大学教養部紀要(自然科学篇),15,1-11.
 池田晃子・奥野 充・中村俊夫・岡井正明・小林哲夫,1995,南九州,始良カルデラ起源の大隅降石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器質量分析法による¹⁴C年代,第四紀研究,34,377-379.
 日塚賢平・小池一之・遠藤邦彦・山崎晴雄・鈴木毅彦編,2000,日本の地形4 関東・伊豆小笠原,東京大学出版会,349p.
 小林康雄・小田静夫・羽鳥謙三・鈴木正男,1971,野川先土器時代遺跡の研究,第四紀研究,10,231-252.
 久保純子,1988,相模野台地・武蔵野台地を刻む谷の地形-風成テフラを供給された名残川谷の地形-,地理学評論,61,25-48.
 町田 洋・新井朋夫,1976,広域に分布する火山灰-始良 Tn火山灰の発見とその意義-,科学,46,339-347.
 町田 洋・新井朋夫,1992,火山灰アトラス,東京大学出版会,276p.
 町田 洋・新井朋夫,2003,新編 火山灰アトラス,東京大学出版会,336p.
 松本英二・前田保夫・竹村忠二・西田史朗,1987,始良 Tn火山灰の14C年代,第四紀研究,26,79-83.
 宮入陽介・吉田邦夫・宮崎ゆみ子・小原圭一・兼岡一郎,2001,始良 Tn火山灰のC-14年代のクロスチェック(演習),地球惑星科学学会合同大会予稿集(CD-ROM),2001,Qm-010.
 Miyairi,Y.,Yoshida,K.,Miyazaki,Y.,Matsuzaki,H.,Kaneoka,L.,2004,Improved ¹⁴C dating of a tephra layer(AT tephra,Japan) using AMS on selected organic fractions.Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B 223-224,555-559.
 村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村 真・安田尚登・平 朝彦,1993,四国沖ビストンコア試料を用いたA T火山灰噴出年代の再検討-タンデムトロン加速器質量分析法による浮遊性有孔虫の14C年代-,地質学雑誌,99,787-798.
 鈴木毅彦,1995,いわゆる火山灰土(ローム)の成因に関する一考察-中部・関東に分布する火山灰土の層厚分布-,火山,40,167-176.
 山崎晴雄,1978,立川断層とその第四紀後期の運動,第四紀研究,16,231-246.

図版1 重鉱物・火山ガラス



1.重鉱物(プレ基本土層東西断面IV-V層:10)



2.重鉱物(プレ基本土層東西断面V層:12)



3.UGの火山ガラス(プレ基本土層東西断面III層:1)



4.ATの火山ガラス(プレ基本土層東西断面VI層:14)

Ol:カンラン石. Opx:斜方輝石. Cpx:単斜輝石. Op:不透明鉱物. Vg:火山ガラス.
Qz:石英. Pl:斜長石.

0.5mm



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡全景



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡竈遺物出土状況



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡竈完掘



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡完掘



松山遺跡第 54 地点 H38 号住居跡



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡完掘



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡竈遺物出土状況



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡竈完掘



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡粘土溜



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡完掘



松山遺跡第 54 地点調査区全景



松山遺跡第 54 地点調査風景

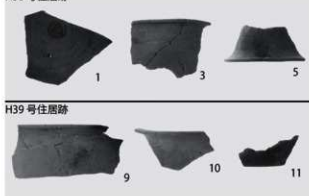


松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡出土遺物 No.2



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡出土遺物 No.4・6

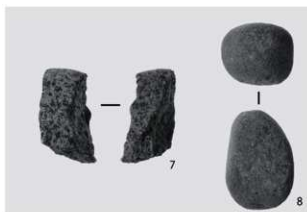
H38 号住居跡



H39 号住居跡



松山遺跡第 54 地点出土遺物 No.1・3・5・9～11



松山遺跡第 54 地点 H37 号住居跡出土遺物 No.7・8



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡出土遺物 No.14



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡出土遺物 No.15



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡出土遺物 No.19



松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡出土遺物 No.21



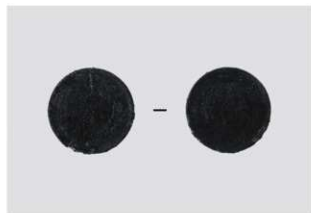
松山遺跡第 54 地点 H39 号住居跡出土遺物 No.17



松山遺跡第 54 地点出土遺物 No.12・13・16・20・22



松山遺跡第 54 地点遺構外出土遺物 No.18



松山遺跡第 54 地点遺構外出土遺物 No.23



東久保遺跡第 68 地点全景



東久保遺跡第 68 地点集石土坑 1



東久保遺跡第 68 地点集石土坑 1



東久保遺跡第 68 地点集石土坑 1 完掘



東久保遺跡第 68 地点溝 1・2



東久保遺跡第 68 地点柵列



東久保遺跡第 68 地点溝 1 土層



東久保遺跡第 68 地点溝 1・2 土層



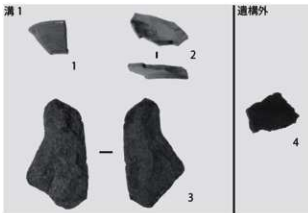
東久保遺跡第 68 地点溝状土坑 1・2



東久保遺跡第 68 地点作業風景



東久保遺跡第 68 地点作業風景



東久保遺跡第 68 地点出土遺物



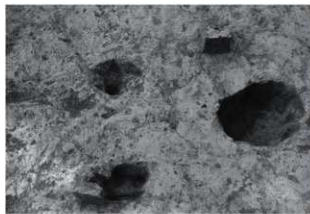
神明後遺跡第 41 地点全景 (北から)



神明後遺跡第 41 地点全景 (西から)



神明後遺跡第 41 地点基本土層



神明後遺跡第 41 地点石器集中



神明後遺跡第 41 地点石器集中調査風景



神明後遺跡第 41 地点集石



神明後遺跡第 41 地点集石完掘



神明後遺跡第 41 地点掘立柱建物 1



神明後遺跡第 41 地点掘立柱建物 1



神明後遺跡第 41 地点掘立柱建物 1 ビット 3 遺物出土状況



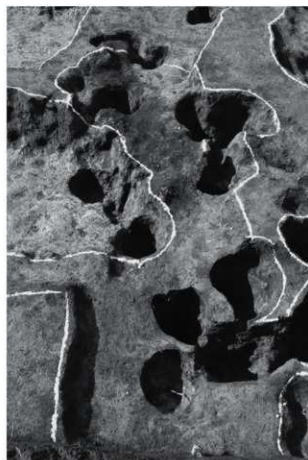
神明後遺跡第 41 地点木炭窯 1



神明後遺跡第 41 地点木炭窯 1 焚口



神明後遺跡第 41 地点木炭窯 1 木炭層・煙道



神明後遺跡第 41 地点木炭窯 2



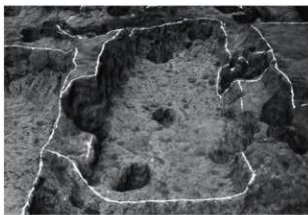
神明後遺跡第 41 地点木炭窯 1



神明後遺跡第 41 地点竪穴建物 1



神明後遺跡第 41 地点竪穴建物 1



神明後遺跡第 41 地点土坑 1



神明後遺跡第 41 地点土坑 2



神明後遺跡第 41 地点土坑 3



神明後遺跡第 41 地点土坑 4



神明後遺跡第 41 地点土坑 6



神明後遺跡第 41 地点土坑 7



神明後遺跡第 41 地点土坑 10



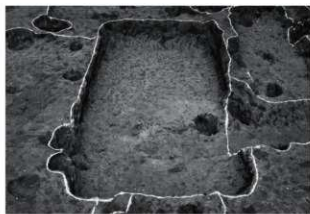
神明後遺跡第 41 地点土坑 11



神明後遺跡第 41 地点土坑 12



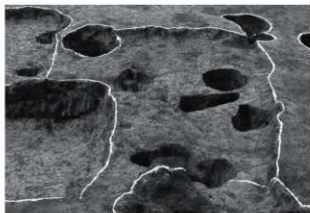
神明後遺跡第 41 地点土坑 13



神明後遺跡第 41 地点土坑 14



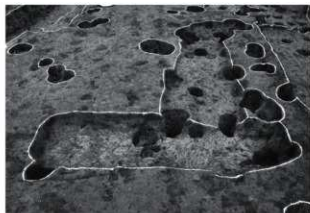
神明後遺跡第 41 地点土坑 15



神明後遺跡第 41 地点土坑 16



神明後遺跡第 41 地点土坑 1、12、14



神明後遺跡第 41 地点土坑 10、11



神明後遺跡第 41 地点土坑 12、14



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 1



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 2



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 3 ~ 5



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 6



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 7



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 8



神明後遺跡第 41 地点溝状土坑 9



神明後遺跡第 41 地点溝 1



神明後遺跡第 41 地点溝 1



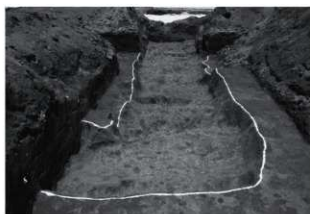
神明後遺跡第 41 地点溝 1 遺物出土状況



神明後遺跡第 41 地点溝 2



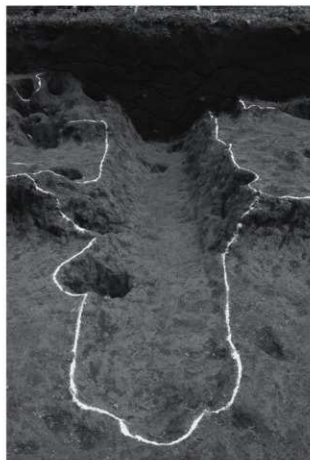
神明後遺跡第 41 地点溝 3



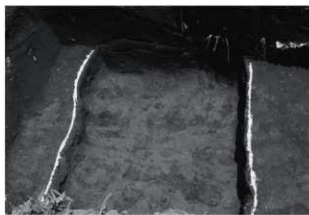
神明後遺跡第 41 地点溝 4



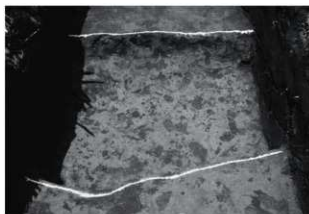
神明後遺跡第 41 地点溝 5 (南から)



神明後遺跡第 41 地点溝 5(北から)



神明後遺跡第 41 地点溝 6



神明後遺跡第 41 地点溝 7



神明後遺跡第 41 地点調査風景



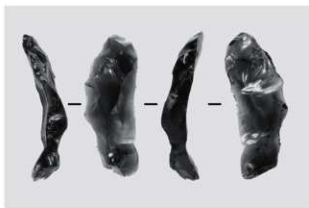
神明後遺跡第 41 地点調査風景



神明後遺跡第 41 地点調査風景



神明後遺跡第 41 地点調査風景



神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.1



神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.2



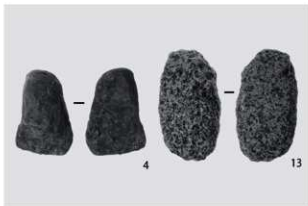
神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.5~8・10~12・14・16~18



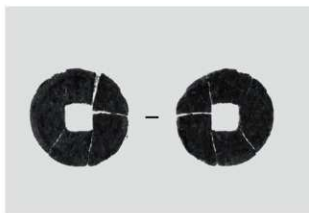
神明後遺跡第 41 地点出土遺物



神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.15



神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.4・13



神明後遺跡第 41 地点出土遺物 No.9



神明後遺跡第 41 地点遺構外出土遺物 No.19

報告書抄録

| 書名 | 市内遺跡群 9 | | シリーズ名 | ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 10 集 | | |
|---|---|--------|--------------|--|------|--------|
| 編集者 | 高崎直成 | | 著者 | 高崎直成 | | |
| 編集機関 | ふじみ野市教育委員会 | | 所在地 | 〒 356-8501 ふじみ野市福岡一丁目1番1号 TEL 049 (261) 2611 | | |
| 発行日 | 2013年(平成25年)3月31日 | | | | | |
| 所収遺跡地点名 | 所在地 | 市町村コード | 北緯 | 調査開始 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 遺跡コード | 東経 | 調査終了 | ㎡ | 調査担当者 |
| 種別 // 主な時代・主な遺構・主な遺物 | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |
| まつやま 松山遺跡 第54地点 | さいたまけんふじみのしつぎ 埼玉県ふじみ野市築地3丁目1-6 | 112453 | 35° 52' 22" | 20101004 | 540 | 宅地造成 |
| | | 25-010 | 139° 31' 46" | 20101105 | | 越村寛 |
| 集落跡 // 奈良時代・竪穴住居跡3軒・須恵器、土師器、石器、鉄釘、銭貨 | | | | | | |
| 古代集落の南西部にあたり、本遺跡では住居跡が比較的集中して検出された。H39号住居跡の竪は土師器甕を利用する。 | | | | | | |
| ひがしくぼ 東久保遺跡 第68地点 | さいたまけんふじみのしなましんめいろうしろ 埼玉県ふじみ野市ふじみ野2丁目 18-13 | 112453 | 35° 51' 48" | 20101122 | 791 | 分譲住宅建設 |
| | | 30-009 | 139° 30' 52" | 20101126 | | 越村寛 |
| 集落跡 // 縄文時代・集石土坑1基・縄文土器 / 近世・溝4条、柵列・縄文土器、縄文時代石器、近世陶磁器 | | | | | | |
| 本遺跡における縄文時代の集石土坑は合計6カ所で15基検出。いずれも本遺跡より北側に分布する。周辺で縄文時代の遺構分布を検討していく必要がある。溝は隣接する6・64地点から連続する土地境の溝。 | | | | | | |
| しんめいろうしろ 神明後遺跡 第41地点 | さいたまけんふじみのしなましんめいろうしろ 埼玉県ふじみ野市苗間神明後 298-1、299-1の各一部 | 112453 | 35° 51' 39" | 20100615 | 486 | 共同住宅建設 |
| | | 30-041 | 139° 31' 42" | 20100721 | | 高崎直成 |
| 集落跡 // 旧石器時代・石器集中1 / 集石土坑1基 / 中世・木炭窯2基、掘立柱建物跡1棟、竪穴建物1棟、土坑13基、ピット214基、溝2条・中世陶磁器、カワラケ、銭貨、鉄製品 / 近世以降溝5条、溝状遺構11基・近世陶磁器・銭貨 | | | | | | |
| 区画溝で囲われた中世屋敷地。掘立柱建物跡からは板状圧痕のある14世紀代のカワラケが出土。西側の第2地点と同一形態の竪穴建物を検出した。木炭窯や土坑群等中世遺構を検討するうえで貴重な調査。旧石器時代の遺構は本遺跡初検出。 | | | | | | |

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第10集

埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群9

2013年3月20日印刷

2013年3月25日発行

発 行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1丁目1番1号

TEL 049-220-2088

FAX 049-261-9750

印 刷 関 東 図 書 株 式 会 社
